

中頓別町立中学校改修工事

[illegible]

08 合成高分子系
ルーフィングシ
ート防水

材料
ルーフィングシートの厚み（J I S A 6008）
・ S－F1 ※ 1.2mm ・ 加硫ゴム系シート防水 1.7mm 接着工法
・ S－F2 ※ 2.0mm
・ S－M1 ※ 1.5mm
・ S－M2 ※ 1.5mm
・ S－M3 ※ 1.2mm
・ 絶縁用シートの材質 ※ 発泡ポリエチレンシート
新規防水の種類（表3.5.1～2）（3.5.3）

工法	種別	施工箇所
・ POS ・ POS1 ・ S3S ・ S3S1 ・ M4S ・ M4S1	・ S－F1 ・ S－F2 ・ S－M1 ・ S－M2 ・ S－M3	・ S1－F1 ・ S1－F2 ・ S1－M1 ・ S1－M2 ・ S1－M3

脱気装置は製造所の仕様による
S I 工法の断熱材 種類及び厚さ ※ 図示による
P Cコンクリート部材下地の目地処理（接着工法）及び入隅部の増強（3.5.4）※ 図示による

⑨ 塗膜防水

新規防水の種類（3.6.3）
ウレタン系塗膜防水（表3.6.1）

工法	種別	施工箇所
・ POX ※ L4X ・ 図示	・ X-1 ※ X-2	

脱気装置 ・ 設ける ※ 設けない 脱気装置は製造所の仕様による

10 浸透性塗布
防水

浸透性塗布防水の種類

種別	施工箇所

11 特殊防水

特殊防水の種類 ※製造所 ※施工業者は指定業者の責任施工

種別	施工箇所
亀裂閉閉性樹脂（PTX-B2）	EVビット（BFLまで）

12 施工票

工事完了後監督職員の指示する場所に取り付ける
施工票の形状等 真鍮板、黒地、クリア焼付け塗り、85mm×125mm
施工票の記入項目 タイトル、施工年月日、種別、施工業者

13 防水保証年限

※ アスファルト防水 改質アスファルトシート防水
・ 合成高分子系ルーフィング防水 塗膜防水 ・ ・ ・ ・ ・ 10年

14 シーリング

材料の種類、寸法及び施工箇所（3.7.2）（3.7.3）（表3.7.1）

耐久性区分	シーリングの種類	断面（mm）	施工箇所
8020	1成分形変成シリコン系 1成分形ポリサルファイド系 2成分形ポリサルファイド系 1成分形ポリウレタン系 2成分形ポリウレタン系		
9030	1成分形変成シリコン系 2成分形変成シリコン系（MS-2） 1成分形ポリサルファイド系 2成分形ポリサルファイド系 2成分形アクリルウレタン系 1成分形ポリウレタン系	15 x 10	
10030	2成分形シリコン系（SR-2） 1成分形シリコン系低モジュラス	10 x 10	
9030 G	1成分形シリコン系高モジュラス		

試験 ・ 引張接着性試験 ※ 簡易接着性試験（3.7.8）

15 とい

材料 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白）（J I S G3452）（3.8.2）
工法 降雨に対する養生 ・ 行う（図示による） ・ 行わない（3.8.3）
防露巻き ・ 行う ・ 行わない（表3.8.3）

16 アルミニウム
製笠木

材料（3.9.2）
※ オープン形式 ※ 押出し250形 ・ 押出し300形 ・ 押出し350形（表3.9.1）
・ 板材折り曲げ形 幅 板厚 ※ 2.0mm
表面処理 ※ A-1種 ・ B-1種
既存笠木等の撤去及び新規アルミニウム製笠木の地下補修工法（3.9.3）
※ 既存取外し、再取付

8 章

金属工事

01 あと施工
アンカー

金属拡張アンカー（標14.1.3）

種別	ねじ径（mm）	施工箇所
・ 打込み方式	・ 心棒打ち打込み式 ・ 内部コーン打込み式 ・ 本体打込式 ・ スリープ打込み式	
・ 締付け方式	・ コーンナット式 ・ ダブルコーン式 ・ ウェッジ式	

※接着系アンカー

種別	ねじ径（mm）	施工箇所
※ カプセル型	・ ポリエステル系 ※ エポキシアクリレート系 ・ エポキシ系 ・ ビニルウレタン系 ・ 無機系（ ）	
・ 注入型	・ カートリッジ ・ 現場調査	

施工前の確認
コンクリートの健全性、コンクリート中の鉄筋、配筋等の埋め込み
金物の存在を確実に把握する。
引抜き耐力の確認試験 ※ 行う ・ 行わない（標14.1.3）
※ 目視、接触 ・ 非破壊試験 ・ 破壊試験

材種 ・ SUS316 ※ SUS304 ・ SUS（標14.2.1）
種類 ※ H L 仕上げ 施工箇所 ：
・ Na2B 仕上げ 施工箇所 ：
・ No.1 施工箇所 ：

表面処理の種類（標14.2.2）（標表14.2.1）
種類 ・ A－種 施工箇所 ：
・ B－種 施工箇所 ：
・ C－種 施工箇所 ：
・ 焼付塗装 施工箇所 ：

表面処理の試験 ・ 行う ※ 行わない

亜鉛めっきの種類（標14.2.3）（標表14.2.2）

種別	表面処理方法	めっきの種類	記号	最小板厚（mm）	施工箇所
・ A ・ B ※ C	溶融亜鉛めっき	2種	HDZ55 HDZ45 HDZ35	4.5以上 3.2以上 1.6以上	
・ D ・ E ・ F	電気亜鉛めっき	CM2C	5級 4級 3級	－ － －	

溶融亜鉛めっきの亜鉛付着量試験 ・ 行う ※ 行わない
電気亜鉛めっきの皮膜厚さ、塩水噴霧試験 ・ 行う ※ 行わない

⑮ 軽量鉄骨天井
下地

⑯ 軽量鉄骨
壁下地

07 金属成形板
張り

08 アルミニウム
製笠木

材料 押出形材はJ I S H4100のA6063Sによる。
部材の種類 ・ 250形 ・ 300形 ・ 350形（標14.7.2）（標表14.7.1）
役物 ※ 製造所の仕様による
表面処理 ※ A-1種 ・ B-1種
固定金具等は図示による（標14.7.3）
避雷導体 ・ あり ・ なし（板厚2.0mm以上）

⑨ 手すり

10 タラップ

11 EXP. J

9 章

左官工事

⑪ モルタル塗り

既製目地 ※ あり（形状、位置は図示による。） ○ なし（標15.3.1～5）
仕上げの種類（標15.3.4）
※ 金ごて 施工箇所： 図示
※ 木ごて 施工箇所：
・ はけ引き 施工箇所：
床目地の設置 ・ あり ・ なし 工法 ・ 押し目地

02 防水モルタル塗り

施工箇所：

03 床コンクリート
直均し仕上げ

04 モルタルシーリング材
塗り

種類 ・ せっこう系 ・ セメント系（標15.5.1～5）（標表15.5.1）
施工箇所：
塗り厚さ ※ 10.0mm ・

05 仕上塗材
仕上げ

種別及び種類（標15.6.1～7）（標表15.6.1）

名称	種類（呼び名）	仕上	工法	備考
薄付け仕上塗材	・ 内装薄塗材E ・ 外装薄塗材E	・ 砂壁状じゅらく ・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状	※ 吹付け ・ ローラー	汚れ止めクリア JISA6909
厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材C	・ 吹放し凸部処理 ・ ひき起し凸部処理	吹付け こて塗り	JISA6909
・ 外装厚塗材E	吹放し凸部処理	吹付け		
複層仕上塗材	※ 複層塗材E ・ 複層塗材RE ・ 複層塗材RS	・ ゆず肌状 ・ 凸部処理 ※ 吹放し模様	ローラー 吹付け	JISA6909
その他の仕上塗材	・ 無機可とう型 外装薄塗材	ゆず肌状	※ 吹付け ・ ローラー	

ホルムアルデヒドの放散量については、1章 一般事項（18 揮発性有機化合物対策）による
複層仕上塗材の耐水性 ・ 耐候形1種 ・ 耐候形2種 ※ 耐候形3種
複層仕上塗材の上塗材の種類 ※ 水系アクリルのつやあり
内部仕上に使用する塗材の溶媒は水系とする。
防火材料の指定 ※ あり ・ なし

06 ロックウール
吹付け

吹付け材の種類（標15.12.1～4）

種類	色彩	厚さ（mm）
・ 一般用	・ 着色 ・ 原色	・ 10 ・ 15 ・ 20

ロックウール及び接着剤のホルムアルデヒドの放出量については、1章 一般事項（18 揮発性有機化合物対策）による

10 章

外壁改修工事

01 外壁改修工法
の種類

（a）コンクリート打放し仕上げ外壁（4.1.4）
（1）ひび割れ部改修工法
※ 樹脂注入工法 ・ 1カットシール材充填工法
・ シール工法
（2）欠損部改修工法
※ 充填工法
（b）モルタル塗り仕上げ外壁
（1）ひび割れ部改修工法
※ 樹脂注入工法
・ 1カットシール材充填工法
・ シール工法
（2）欠損部改修工法
・ 充填工法
・ モルタル塗替え工法
（3）浮き部改修工法
・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法
・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法
・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法
・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法
・ 充填工法
・ モルタル塗替え工法
（c）タイル張り仕上げ外壁
（1）ひび割れ部改修工法
・ 樹脂注入工法
・ 1カットシール材充填工法
・ タイル張替え工法
（2）欠損部改修工法
・ タイル部分張替え工法
・ タイル張替え工法
（3）浮き部改修工法
・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法
・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法
・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法
・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法
・ 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法
・ タイル部分張替え工法
・ タイル張替え工法
（4）目地改修工法
・ 目地ひび割れ部改修工法
・ 伸縮目地改修工法
（d）塗り仕上げ外壁
・ 薄付け仕上塗材塗り
・ 厚付け仕上塗材塗り
・ 複層仕上塗材塗り
・ 可とう形改修用仕上塗材塗り
・ 各種塗料塗り
・ マスチック塗材塗り

02 工種別使用
材料

（a）樹脂注入工法（4.2.2）
エポキシ樹脂（J I S A 6024） ・ 低粘度形（0.2mm未満） ・ 中粘度形（0.2mm以上）
（b）1カットシール材充填工法
・ シーリング ・ 1成分形ポリウレタン系
・ 2成分形ポリウレタン系
・ 可とう性エポキシ樹脂
・ ポリマーセメントモルタル
（c）シール工法
・ パテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂
（d）充填工法
・ エポキシ樹脂モルタル
○ ポリマーセメントモルタル
（e）アンカーピンニング注入工法
アンカーピン材質 ※ ステンレス（S U S 304）4mmφ 丸棒の全ネジ切り長さ ・ 50 ・ 70 ・ 100
（f）注入口付アンカーピンニング注入工法
アンカーピン材質 ※ ステンレス（S U S 304）6mmφ 長さ
（g）モルタル塗替え工法
・ 既製目地材 形状 ※ 図示による
（h）タイル張替え工法
接着剤の種類
※ ポリマーセメントモルタル ・ エポキシ樹脂 ・ ウレタン樹脂
・ 変成シリコン樹脂
タイルの形状
寸法 ・
きじの質 ・
色 ・ 標準色 ・ 特注色
役物 ・
タイルの見本焼き ・ する ・ しない
（i）目地改修工法（3.7.2）（表3.7.1）
シーリング ※ 2成分形ポリサルファイド系シーリング
・
（j）塗り仕上げ
仕上塗材（J I S A 6909）
種別及び種類（表4.2.4）

名称	種類（呼び名）	仕上	工法	備考
薄付け仕上塗材	・ 外装薄塗材S I ・ 外装薄塗材E	・ 砂壁状 ・ 直色骨材 砂壁状	※ 吹付け ・ ローラー ・ こて塗り	汚れ止クリア JISA6909
厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材C ・ 外装厚塗材S I ・ 外装厚塗材E	・ 吹放凸部処理 ・ ひき起し凸部処理 ・ 平坦状 ・ 凸凹状 ・	吹付け こて塗り こて塗り	JISA6909
複層仕上塗材	・ 複層塗材S I ・ 複層塗材E ・ 複層塗材R E ・ 複層塗材R G	・ ゆず肌状 ・ 凸部処理 ・ 凸凹模様 ・	ローラー 吹付け	JISA6909 下地処理共
その他の仕上塗材	・ 石目調防水形 複層塗材 ・ 防水形複層塗材E	・ 凸凹模様 ・ 凸凹模様	吹付け（目地工法） 吹付け	

複層仕上塗材の上塗材の種類（表4.2.5）
※ 水系アクリルのつやあり ・ 水性シリコン（2回塗）
防火材料の指定 ※ あり ・ なし
（a）樹脂注入工法 ※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法（4.3.4）
・ 自動式エポキシ樹脂注入工法
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法
（b）自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
注入間隔 ※ 200から300mm
注入量 c c
（c）自動式エポキシ樹脂注入工法
注入間隔 mm
（d）機械式エポキシ樹脂注入工法
注入間隔 mm
（e）コア抜き取りによるひび割れ部の注入状況の検査 ・ する ・ しない
抜き取り部分の補修方法
（a）アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法（4.4.10）
浮き部分に対するアンカーピン本数
※ 16 本／㎡（一般部分）
※ 25 本／㎡（指定部分）
アンカーピン固定用エポキシ樹脂充填量 ※ 25ml／孔
（b）アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法（4.4.11）
アンカーピン本数、注入口の箇所数（表4.4.3）

アンカーピン本数（本／㎡）	注入口の箇所数（個／㎡）
一般部分	一般部分
指定部分	指定部分
※ 13	※ 20
※ 20	※ 12
※ 12	※ 20

エポキシ樹脂注入量 ※ 25ml／孔

03 コンクリート
打放し仕上げ
外壁の改修

04 モルタル塗り
仕上げ外壁
の改修

OKADA
DESIGN
OFFICE

一級建築士事務所 北海道知事登録（石）第323号

株式会社 岡田 設計

管理建築士
一級建築士
第314057号
岡田 幸生

設計者
一級建築士
第314057号
岡田 幸生

法適合設計者(確認者)
構造一級建築士
第 号
設備一級建築士
第 号

校 園

担 当

TITLE
中頓別町立中学校改修工事

DRAWING NAME
改 修 工 事 特 記 仕 様 書 3

設計図

DRAWING NO.
A－O O 3

DRAWING DATE.
2024. 07

SCALE
NO SCALE

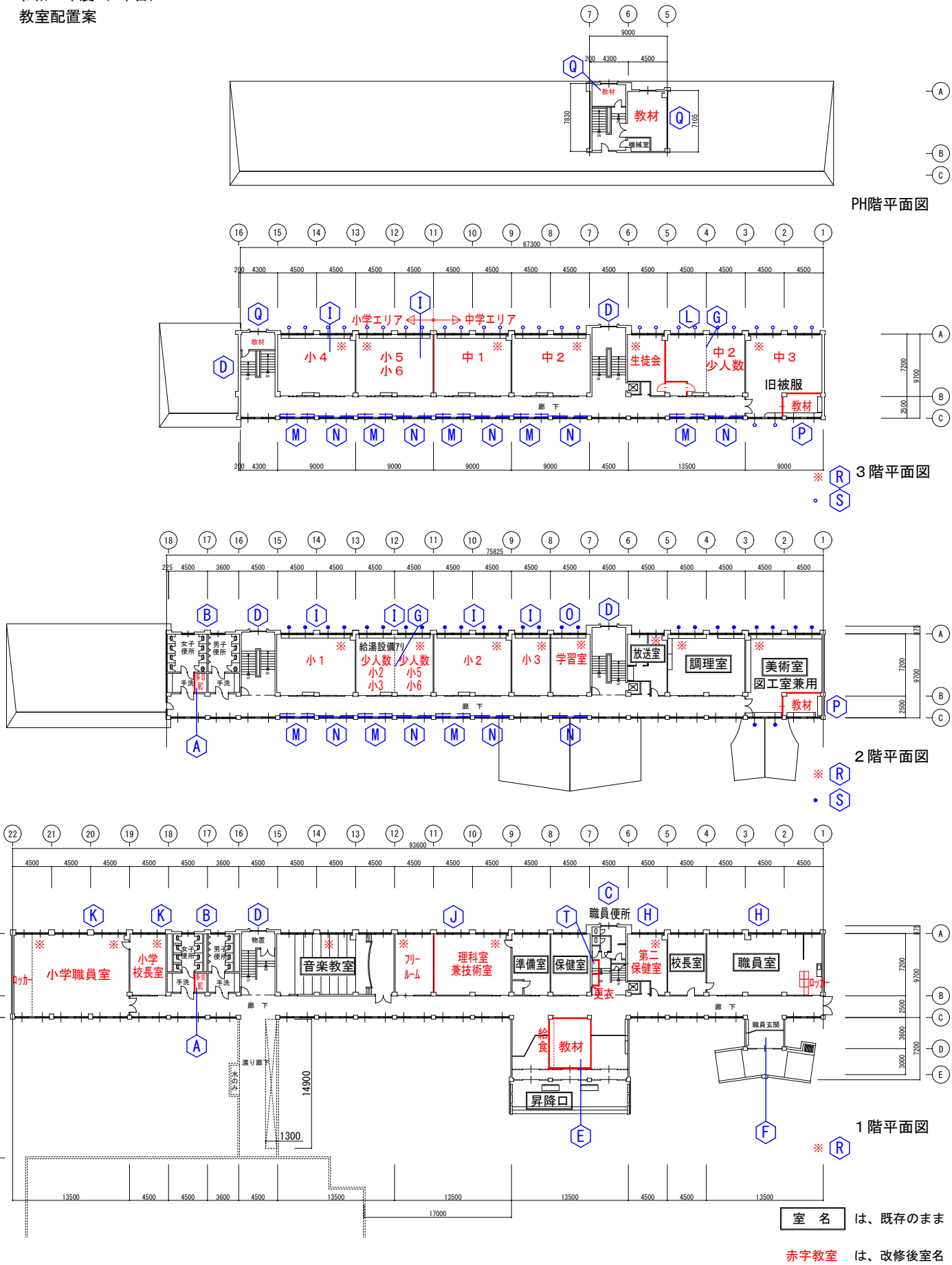
BUSINESS NO.

09 溶接金網	網目の形状、寸法 (mm) 鉄線の径 ・ 100×100 ・ 150×150 規格番号 J I S G3551	(8. 2. 2)	16 鉄筋の加工及び組立	鉄筋の継手 (構造図による) ※ 重ね継手 D16以下 ※ ガス圧接継手 D19以上 (S D295Aは圧接不可) ・ 特殊な継手 (・ 機械式継手 ・ 溶接継手) 継手種類の適用部位 ※ 構造特記による。 最小かぶり厚さ及び配筋、補強筋は構造特記又は図示による。 ガス圧接 圧接作業は工事に相応したJ I S Z3881による技量を有する圧接技量者とする。 抜取試験 ・ 超音波探傷試験 (J I S Z3062)	(8. 3. 1～2)	15 章	環境配慮改修工事	(a) アスベスト含有吹き付け材の封じ込め処理及び囲い込み処理工事 (9. 1. 1) ・ 図示による (b) 仕上げ工事 (9. 1. 1) アスベスト含有建材除去後の仕上げ ※ 図示による (c) 施工調査 分析によるアスベスト含有の調査 ※ 含有調査済：含有建材等は、図示による。 ・ 含有調査： ケ所 調査部位： ○下記はみなし建材として処理する。 ヅ/ライト吹付	(d) アスベスト含有成形板の集積、運搬等 (1) 除去したアスベスト含有成形板の集積及び積み込みに当たっては、高所より投下しないことその他、粉じんの飛散防止に努める。 (2) 破砕されたアスベスト含有成形板は、湿潤化の上、丈夫なビニル袋に入れる等、飛散防止の措置を講ずる。 密封処理 (二重袋梱包) (3) 除去したアスベスト含有成形板を搬出するまでの間、現場内に保管する場合は、一定の保管場所を定め、他の内装材等と分別して保管するものとし、シートで覆う等、飛散防止措置を講ずる。また、保管場所には、アスベスト等の保管場所であることの表示を行う。 (4) アスベスト含有成形板の運搬に当たっては、運搬車両の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努める。 建物内部に使用する建材、製品のホルムアルデヒド放散量については、1章一般事項 (24「揮発性有機化合物対策」)、19章内外装工事 (1「材料」) による。	
10 あと施工アンカー	・ 金属拡張アンカー 種 別 ・ 打込み方式 ・ 心棒打ち打込み式 ・ 内部コーン打込み式 ※ 本体打込式 ・ スリーブ打込み式 ・ 締付け方式 ・ コーナット式 ・ テーパーボルト式 ・ ダブルコーン式 ・ ウェッジ式	(8. 2. 4)	17 コンクリートの製造及び品質管理	気温による温度補正 普通ポルトランドセメント、混合セメントA種の温度補正補正值 (T) 3N/mm2 (期間) 6N/mm2 (期間) ただし、ラップルコンクリート、捨コンクリートは除く 寒中コンクリート 適用期間 (標6. 11. 1) 初期養生 ※ 圧縮強度が5N/mmに達するまで (標6. 11. 4) ・ 打設日から 日間 強度管理の材齢 ・ 28日 (標6. 11. 6) ※ 91日以内かつ420° D・D以下 コンクリートの塩化物量 ※ 0.3kg/m3以下 (8. 6. 4)	(8. 3. 5)	02 アスベスト含有吹き付け材の除去	分析方法は、JIS A1481「建材製品中のアスベスト含有率測定法」とする。 アスベスト粉じん濃度測定 ※ 行う ・ 行わない 濃度測定： ケ所 調査部位： 除去工事共通事項 (9. 1. 2) (a) 専門工事業者 アスベスト含有建材の除去を直接行う専門工事業者については、工事に相応した技術を有することを証明する資料を提出すること。 (b) 石綿作業主任者 (9. 1. 2) アスベスト含有建材の除去にあたっては、石綿障害予防規則 (平成17年厚生労働省令第21号。) に基づき選定すること。なお石綿作業主任者は、石綿作業主任者技能講習修了者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。 (c) 除去作業者 アスベスト含有建材の除去に従事する作業者 (以下「除去作業者」という) は、石綿障害予防規則に基づく特別教育を受けた者とする。 また、除去作業者は、一般健康診断、石綿健康診断、じん肺健康診断を受診した者とし、肺機能に異常がない者とする。 (d) 特別管理産業廃棄物管理責任者 特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を選任し管理させる。 (ただしアスベスト含有成形版の処理工事を除く) (e) 表示及び掲示 「建築物の解体等の作業に関するお知らせ」を周辺住民の見やすい場所に掲示する。	20 章	ユニット及びその他工事	①材 料 2. フリーアーク セスフロア 工法 ・ パネル工法 ・ 溝工法 (標20. 2. 2) 構成材の材質 ・ アルミ系 ・ スチール系 ・ 有機質 3. 移動間仕切 パネル表面仕上げ、寸法、形状は図示による。 (20. 2. 4) ④トイレブース パネル表面材 ○メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板 (20. 2. 5) 5. 階段滑り止め 材種 ※ステンレス鋼 (SUS304) ・ アルミニウム合金 (20. 2. 6) 材質 ・ ビニルタイヤ又はゴムタイヤ入り (・ 内部 ・ 外部)
11 コンクリートの材料	あと施工アンカーの耐力 (構造図による) 引張耐力 ・ (金属系) KN ※ (接着系) せん断耐力 ・ (金属系) KN ※ (接着系) 埋込み配管等の探査 範囲 ・ (8. 12. 4) 方法 ・ ※ 行う ・ 行わない 引抜き耐力の確認試験 (8. 12. 7) セメントの種類 (8. 2. 5) (表8. 2. 3) ※ 普通ポルトランドセメント ・ 混合セメントA種 ・ 早強ポルトランドセメント 骨材の種類 粗骨材 ※ 砂利 ※ 砕石 ・ 高炉スラグ ・ 電気炉酸化スラグ ・ 混合材 細骨材 ※ 砂 ・ 砕砂 ・ 高炉スラグ ・ 電気炉酸化スラグ ・ フェロニッケルスラグ及び銅スラグ ・ 混合材 骨材の品質 砂利、砕石、砂、砕砂のアルカリシリカ反応性の区分 ※ A ・ B 高炉スラグ粗骨材の絶対密度等の区分 ※ N ・ L 電気炉酸化スラグ粗骨材の絶対密度等の区分 ※ N ・ L 混和剤 J I S A6204によるA E剤、A E減水剤及び高性能A E減水剤とする。 性能による区分 ※ 標準形 ・ 促進形 ・ 遅延形 (8. 2. 5) (8. 5. 8) 塩化物イオン量による区分 ※ I 種 ・ II 種 ・ III種	(8. 2. 5)	18 鉄骨の工作	鉄骨の製作精度は日本建築学会「建築工事標準仕様書鉄骨工事」 (J A S S6) 付則6. 「鉄骨精度検査基準」による。 柱底均しモルタルの材料 ・ モルタル (セメント1：砂2) ※ 無収縮モルタル 鉄骨の仮組 ・ 行う ※ 行わない (8. 2. 10) すべり係数試験 ※ 行う ・ 行わない (8. 13. 10) (8. 14. 2) 溶接技能力は工事に相応した試験等による技量を有する者とする。 (8. 15. 2～3) 溶接部の試験の種類 (8. 15. 12) ※ 超音波探傷試験 施工場所：主架構の完全溶込溶接部 (試験は8. 13. 11(b)による) ・ J I S Z2343-1、J I S G0565による試験 ・ 放射線透過試験 ・ マクロ試験 塗 料 ※ A種 ・ 1種 ・ 2種 (8. 17. 4) ・ B種 J I S K5621 1種 (表7. 3. 2) 工 程 ※ A種 (屋外) ・ B種 (屋内) (表7. 3. 3) 素地ごしらえ ・ R A種 ※ R B種 ・ R C種 (表7. 2. 3) 耐火被覆の種類 (8. 18. 1～9)	(8. 3. 8)	03 アスベスト含有保温材等の除去	(a) 除去の工法 (9. 1. 3) ※ 粉じん飛散抑制剤等で湿潤化後除去 (b) 除去物及び汚染物の処理 (9. 1. 3) 処理方法、処分場所等への処理条件は下記のとおりとする。なお、変更が生じた場合は、監督職員と協議を行うこと。 (1) 処理方法 ※ 密封処理 (二重袋梱包) ・ セメント固化 (2) 処分施設へ搬出 (調書を監督職員に提出する。) ・ 受入先 (c) 除去したアスベスト含有吹付け材を搬出するまでの間、現場内に保管する場合は、一定の保管場所を定め、他の内装材等と分別して保管するものとし、シートで覆う等、飛散防止措置を講ずる。また、保管場所には、アスベスト等の保管場所であることの表示を行う。	21 章	ユニット及びその他工事	⑥黒板及び ホワイトボード ○鋼製黒板 ・ 木製黒板 ・ 曲面黒板 ・ ホワイトボード (20. 2. 8) 寸法は図示による。 ⑦鏡 JIS R3202による。 厚さ ※5mm (20. 2. 9) 8. ブラインド 使用箇所 図示 形式 ・ 横形ブラインド ・ 縦形ブラインド (20. 2. 12) 材種 ※アルミニウム合金 ・ クロス
12 型枠	打増し厚さ ※ 20mm ・ mm ・ 図示による (8. 7. 8) ひび割れ誘発目地 ※ 位置、形状及び寸法は図示による。 せき板の材料 (8. 2. 7) ※ 合板せき板 (コンクリート型枠用合板の日本農林規格) 厚さ12mm 材 質 塗 装 施工箇所 ・ ラワン合板 ・ あり ・ なし (B-C) ※ 複合合板 ・ あり ※ なし (B-C) ・ 床型枠用鋼製デッキプレート (建設技術評価品又は同等品) ・ 厚さ mm ・ (施工箇所) ・ その他のせき板 ・ (施工箇所)	(8. 2. 7)	19 高力ボルト接合	耐火被覆の種類 種 別 材料及び工法 備 考 ・ ラス張りモルタル塗 ・ 耐火材吹付け ・ ロックウール ・ 乾式 ・ 湿式 ・ 耐火板 張り ・ 耐火材巻付け	(8. 2. 6)	04 アスベスト含有成形板の除去	(a) 除去の工法 (9. 1. 4) ※ 粉じん飛散抑制剤等で湿潤化後除去 (手ばらし) ○ウォータージェット工法 (b) 除去物及び汚染物の処理 (9. 1. 4) 処理方法、処分場所等への処理条件は下記のとおりとする。なお、変更が生じた場合は、監督職員と協議を行うこと。 (1) 処理方法 ※ 密封処理 (二重袋梱包) ・ セメント固化 (2) 処分施設へ搬出 (調書を監督職員に提出する。) ・ アスベスト含有保温材等 ・ 受入先 (a) アスベスト成形板の仕様 (9. 1. 5) ※ 石綿系 石綿板 板 厚さ 6 mm ・ 押出成形セメント版 厚さ mm ・ ビニル床タイル 厚さ mm 処理を行う範囲は、図示による。 (b) 除去の工法 (9. 1. 5) ※ 湿潤化後除去 (手ばらし) ・ (c) 除去物及び汚染物の処理 (9. 1. 5) 処理方法、処分場所等への処理条件は下記のとおりとする。なお、変更が生じた場合は、監督職員と協議を行うこと。 ・ 処分施設へ搬出 (調書を監督職員に提出する。) ・ 非飛散性アスベスト成形板 ・ 受入先	22 鉄骨の耐火被覆	23 既存部分の撤去等	⑧カーテン レール 使用箇所 第二保健室 (20. 2. 14) 材種 アルミ 形状寸法 固定吊り棒 (静音性)、天井直付型 (静音性)
13 鋼材の種類	鋼材の種類 (構造図による) (8. 2. 8) (表8. 2. 7) 規格番号、名称 種類の記号 施工箇所 ※ J I S G3136 SN ※ 400 B 建築構造用圧延鋼材 ※ 490 B ・ J I S G3101 SS ・ 400 ・ 490 図示による 一般構造用圧延鋼材 ・ J I S G3106 SM ・ 400 A、B、C 溶接構造用圧延鋼材 ・ 490 A、B、C ・ J I S G3350 S S C400 一般構造用軽量形鋼 ・ J I S G3466 S T K R400 図示による 一般構造用角型鋼管 鋼材の断面形状及び寸法は図示による。	(8. 2. 8)	24 現場打ちコンクリート壁の増設	既存部分の撤去等 既存仕上げ及び既存構造体の撤去範囲 ※ 図示による 既存構造体コンクリート面の目荒らしの程度 ※ 柱及び梁 ※ 平均深さ10mm、打継ぎ面の3/4 ※ 既存壁 ※ 平均深さ10mm、打継ぎ面の1/3 割裂補強筋 ※ スパイラル筋 ・ はしご筋 打込み工法 ※ 流込み工法 ・ 圧入工法 (8. 21. 1～10) ブレース設置後の仕上げ ※ 図示による (8. 22. 1～9) コンクリート又はグラウト材の厚さ ※ 60mm以上 (8. 23. 1～7) 打込み工法 ※ 流込み工法 ・ 圧入工法 連続繊維補強のひび割れ部改修工法 ※ 樹脂注入工法 ・ 図示による 柱の隅角部の面取りの大きさ ※ 図示による 連続繊維補強材の強度試験 ・ 行う ・ 行わない	(8. 2. 9)	25 鉄骨ブレースの設置	(a) アスベスト成形板の仕様 (9. 1. 5) ※ 石綿系 石綿板 板 厚さ 6 mm ・ 押出成形セメント版 厚さ mm ・ ビニル床タイル 厚さ mm 処理を行う範囲は、図示による。 (b) 除去の工法 (9. 1. 5) ※ 湿潤化後除去 (手ばらし) ・ (c) 除去物及び汚染物の処理 (9. 1. 5) 処理方法、処分場所等への処理条件は下記のとおりとする。なお、変更が生じた場合は、監督職員と協議を行うこと。 ・ 処分施設へ搬出 (調書を監督職員に提出する。) ・ 非飛散性アスベスト成形板 ・ 受入先	26 柱補強工事	27 耐震スリット新設	⑨家具移設 既存小学校より下足入れ等を移設し利用をする 距離：既存小学校～工事場所 (中学校) 1.5km 形状寸法は図示
14 高力ボルト	※ トルシア形高力ボルト (指定又は認定品) ・ J I S形高力ボルト (J I S B1186) ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト (指定又は認定品) 高力ボルト径は図示による。 仮組 ・ 行う ※ 行わない すべり係数試験 ※ 行う ・ 行わない	(8. 2. 9)	28 免震改修・制震改修	既存鉄骨の撤去範囲及び撤去方法、処置 ※ 図示による (8. 26. 1～17) 防錆処置は製造所の仕様による。 (8. 22. 8) 免震材料設置後の仕上げ ※ 図示による (8. 26. 13) 検査 項目： (8. 26. 16) 数量：	(8. 2. 10)	26 柱補強工事	(a) アスベスト成形板の仕様 (9. 1. 5) ※ 石綿系 石綿板 板 厚さ 6 mm ・ 押出成形セメント版 厚さ mm ・ ビニル床タイル 厚さ mm 処理を行う範囲は、図示による。 (b) 除去の工法 (9. 1. 5) ※ 湿潤化後除去 (手ばらし) ・ (c) 除去物及び汚染物の処理 (9. 1. 5) 処理方法、処分場所等への処理条件は下記のとおりとする。なお、変更が生じた場合は、監督職員と協議を行うこと。 ・ 処分施設へ搬出 (調書を監督職員に提出する。) ・ 非飛散性アスベスト成形板 ・ 受入先	27 耐震スリット新設	28 免震改修・制震改修	⑨家具移設 既存小学校より下足入れ等を移設し利用をする 距離：既存小学校～工事場所 (中学校) 1.5km 形状寸法は図示
15 連続繊維シート	連続繊維補強材 (8. 2. 13) 連続繊維シート ※ 行わない 工法 ・ シート工法 ・ テープ工法 ・ ストランド工法 シートの引張強度及びヤング係数は構造特記による。	(8. 2. 13)								

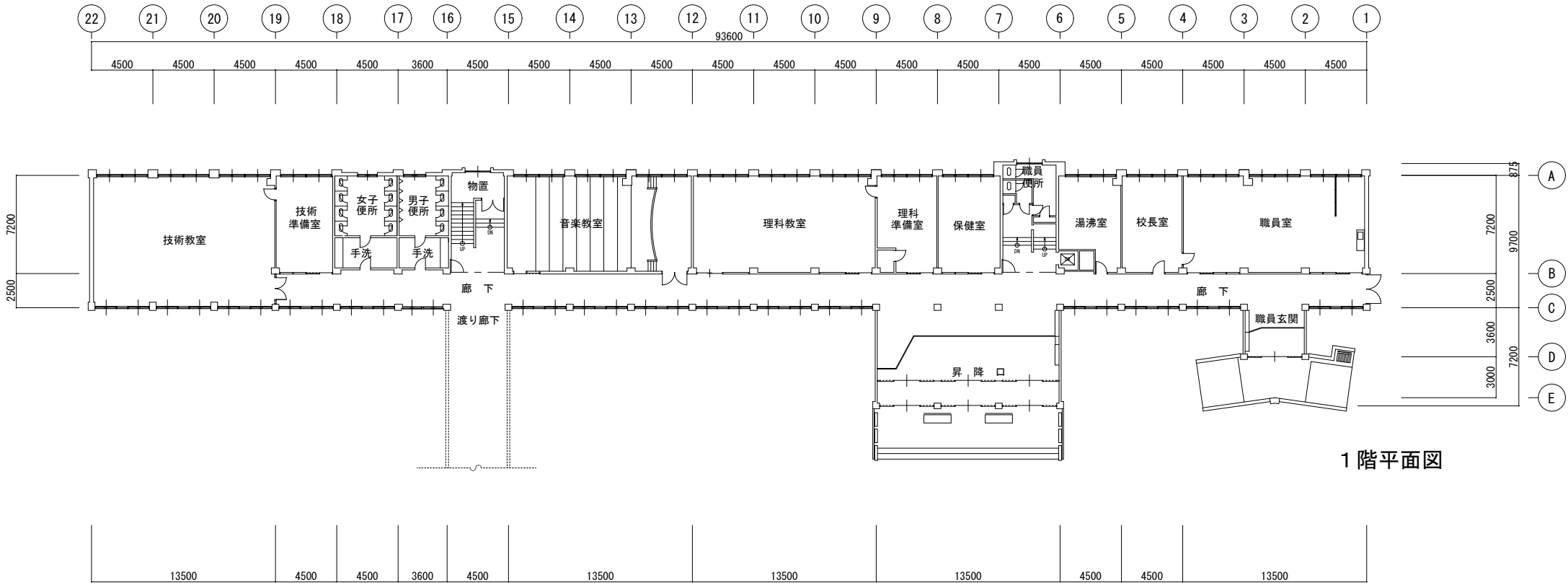
OKADA DESIGN OFFICE	一級建築士事務所 北海道知事登録 (石) 第323号	管理建築士	設計者	法適合設計者(確認者)	検図	担当	TITLE	DRAWING NAME	DRAWING NO.
株式会社 岡田 設計		一級建築士 第314057号 岡田 幸生	一級建築士 第314057号 岡田 幸生	構造一級建築士 第 号			中頓別町立中学校改修工事	改 修 工 事 特 記 仕 様 書 6	A-O O 6
				設備一級建築士 第 号				設計図	DRAWING DATE.
									2024. 07
								SCALE	BUSINESS NO.
								NO SCALE	

記号	改修内容
A	1F・2F女子トイレ手洗い部分に多目的WCを設置 ① 間仕切り壁新設
B	各階生使用トイレ ① 和式便器を 洋式に改修 ③ ①改修に伴い床仕上げ改修 ② トイレース やり替え
C	職員トイレ ① 和式便器を 洋式に改修 ③ 女子トイレ 便器増設 ⑤ 手洗い器、かみ 撤去、新設 ⑦ 照明器具 撤去、新設 ② ①改修に伴い床仕上げ改修 ④ 小便器 やり替え ⑥ 間仕切り壁 撤去、新設
D	① 階段手摺に、落下防止のパネル取付 ② 片側手摺 新設
E	昇降口 改修 ① 小学校の下足入れを再利用 ③ 教材室を設ける ② 中学生用下足入れも再利用 ④ 給食置場を設ける
F	① 小学校職員用下足箱 移設 (既存下足入れ再利用)
G	特別支援教室 ① アロケーション新設 (2F、3F 2か所)
H	ロッカールームを第2保健室 改修 ① ロッカーを職員室に移設 ② 内壁 塗装やり替え ③ 電機温水器(設備) 新設
I	各教室の改修 ① 内壁の塗装やり替え
J	理科室の改修 ① 実験テーブルは3台を残し撤去する ③ フォーム新設の為、間仕切り壁(遮音仕様) 新設 ② 実験テーブルのガス、給排水の撤去補修
K	1F技術室を小学職員室へ 技術準備室を小学校長室に改修 ① 技術室の内壁、床仕上げのやり替え ② 準備室の内壁、床仕上げのやり替え ③ ロッカースペースを設ける
L	3Fコンピュータ室の改修 ① 間仕切り壁を新設して生徒会室、特別支援教室を設ける
M	2, 3階廊下に図書コーナーを設ける
N	廊下窓下にコート掛け 整備 (90ヶ所分フック新設)
O	2F教材室を特別支援教室へ改修 内壁、床のやり替え ① 収納棚 撤去 ② 内壁仕上げのやり替え
P	3F被服室と、2F美術室内に教材室を設ける 間仕切り設置
Q	PH階の書庫、暗室 及び3階物置を教材室に利用
R	FF暖房新設 ① 1階は建具改修
S	2階以上教室に手摺 新設 ① FL+1200
T	更衣室新設

令和6年度(1年目)
教室配置案

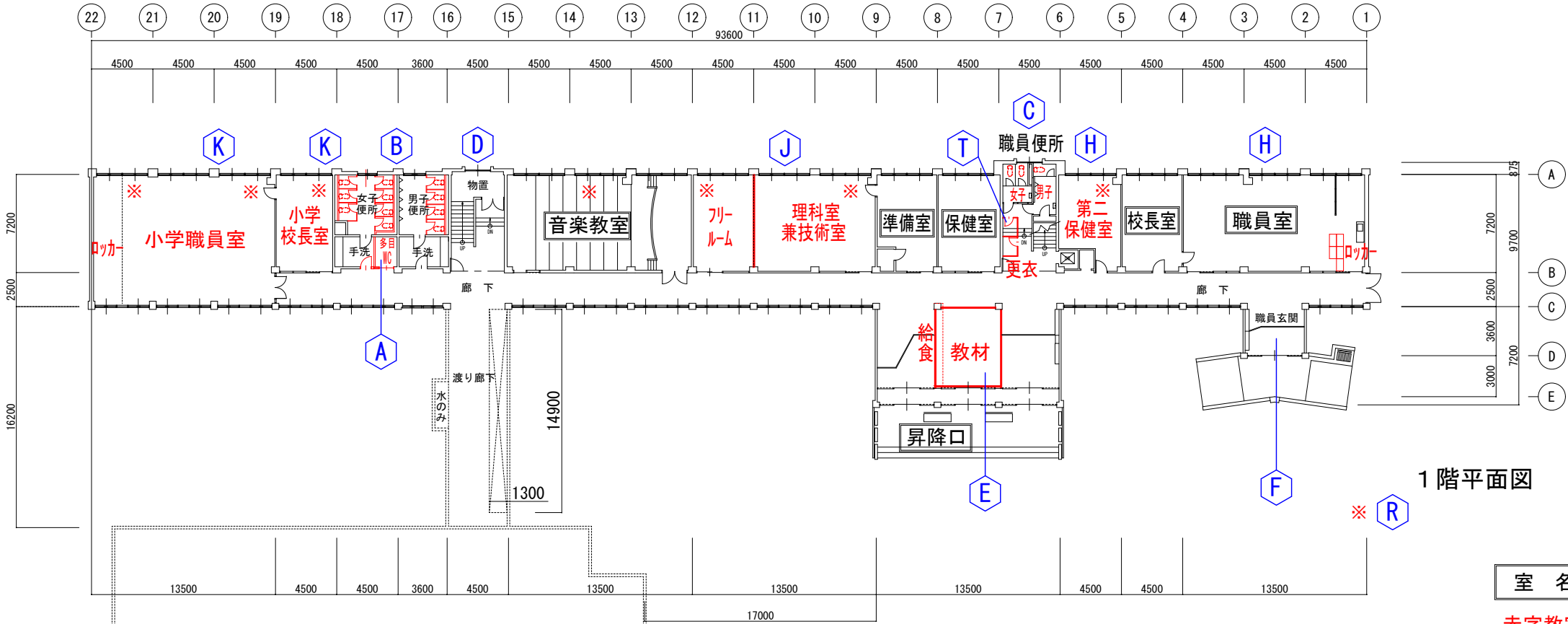


改修前



1階平面図

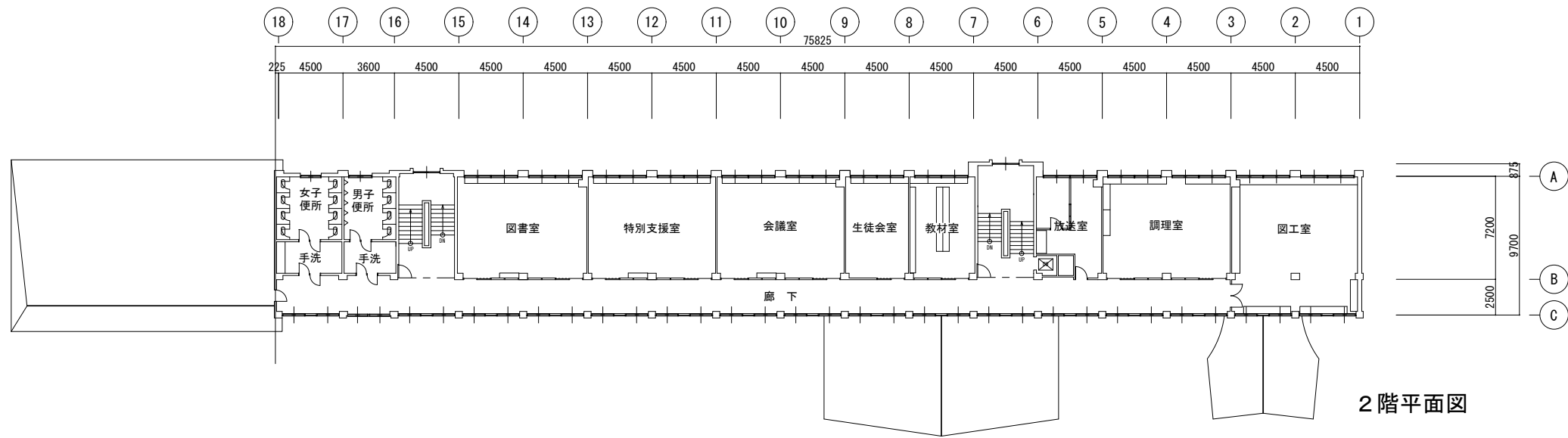
令和6年度(1年目)
教室配置案



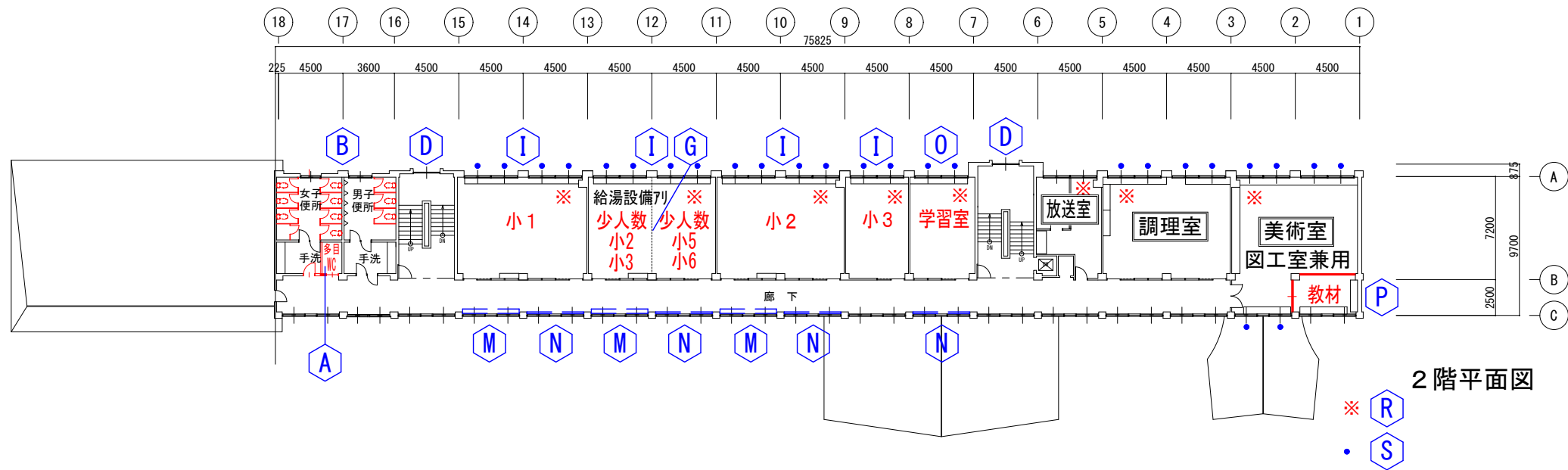
1階平面図

室名 は、既存のまま
赤字教室 は、改修後室名

改修前



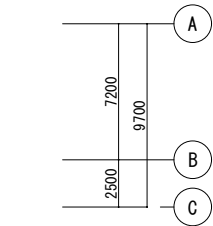
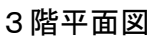
令和6年度(1年目)
教室配置案



改修後

室名 は、既存のまま
赤字教室 は、改修後室名

改修後



✖  3階平面図

443. 700

16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

200 4300 4500 4500 4500 4500 4500 4500 4500 4500 4500 4500 4500 4500 4500

67300

Q I I D L G

教材 小4 ※ ※ 小5 小6 中1 ※ 中2 ※ 生徒会 ※ 中2 少人数 ※ 中3 旧被服 教材

廊下

M N M N M N M N M N P

200 4300 9000 9000 9000 9000 4500 13500 9000

✖  3階平面図

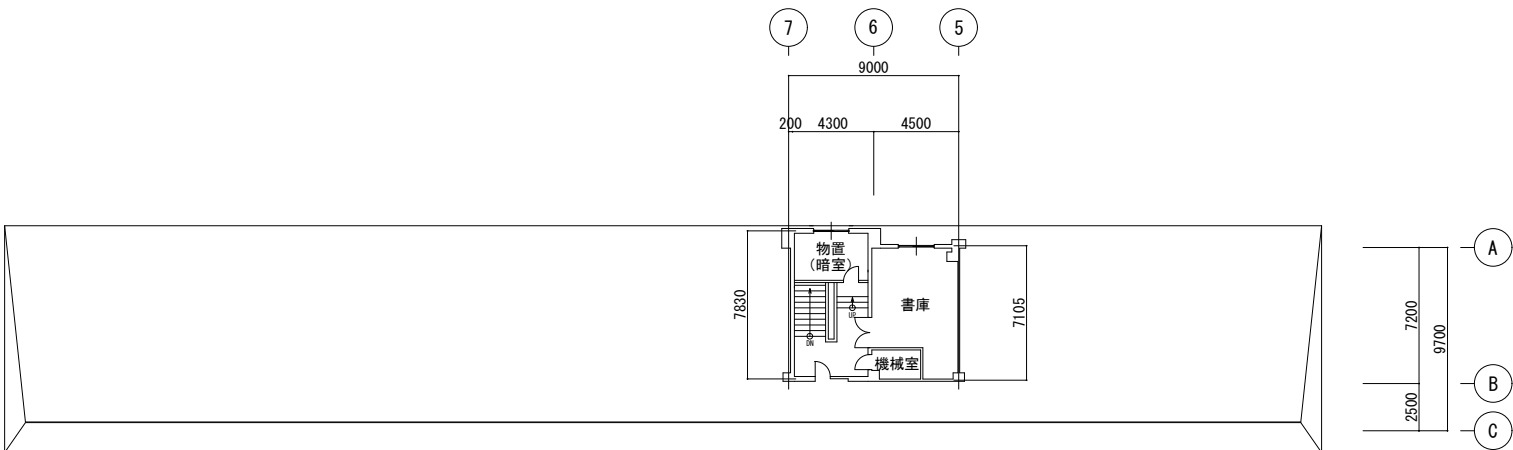
443. 700

赤字教室 は、改修後室名

TITLE 中頓別町立中学校改修工事

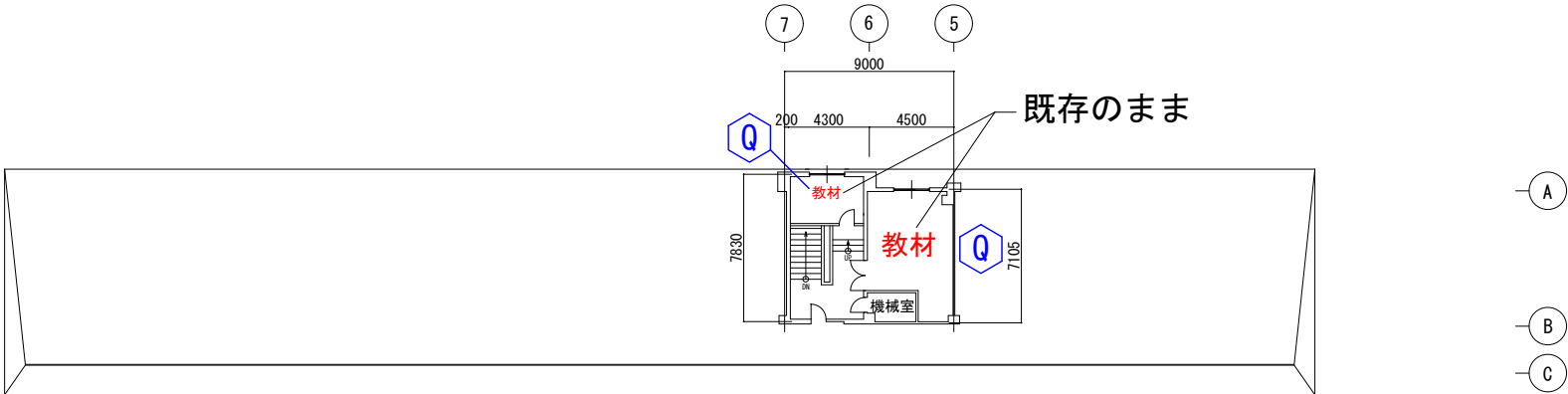
DRAWING NAME	DRAWING NO.
改修前・改修後 3階平面図	A-010
	DRAWING DATE.
	2024.07
SCALE	BUSINESS NO.
1/200 (A3 1/400)	

改修前



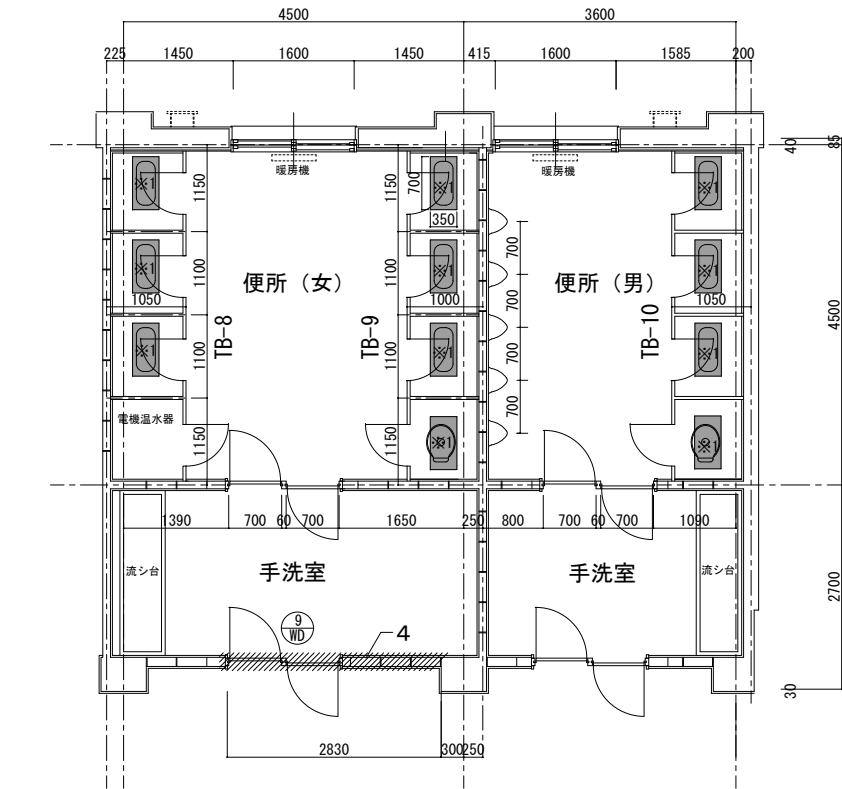
PH階平面図

令和6年度（1年目）
教室配置案



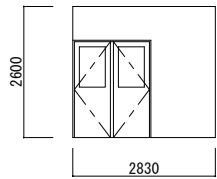
PH階平面図

室名は、既存のまま
赤字教室は、改修後室名

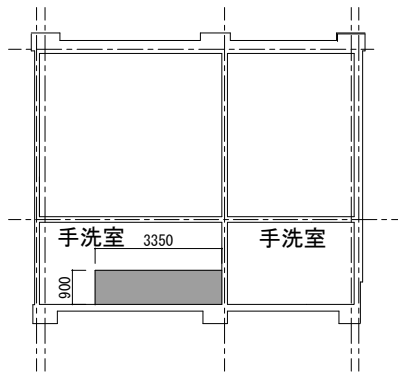


2階トイレ平面図

- 改修内容【撤去】
1. トイレブース【撤去】
 2. 便器類【撤去】(設備)
 3. 床コンクリート※1部分【撤去】
 4. 間仕切り壁【撤去】
CB t 150 両側モルタル t 25



5. 天井一部【撤去】

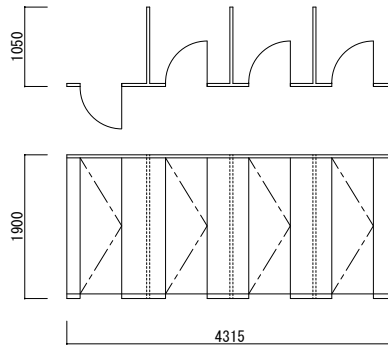


撤去部分

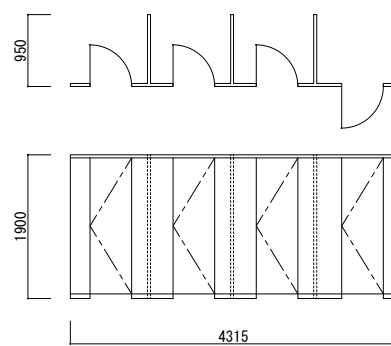
天井伏図 1/100

1. トイレブース【撤去】

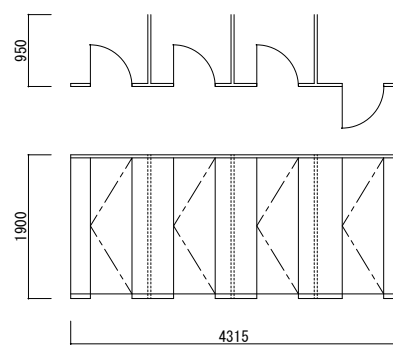
TB-8 厚40 × 1ヶ所



TB-9 厚40 × 1ヶ所



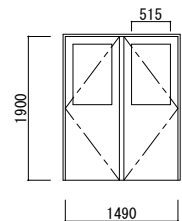
TB-10 厚40 × 1ヶ所



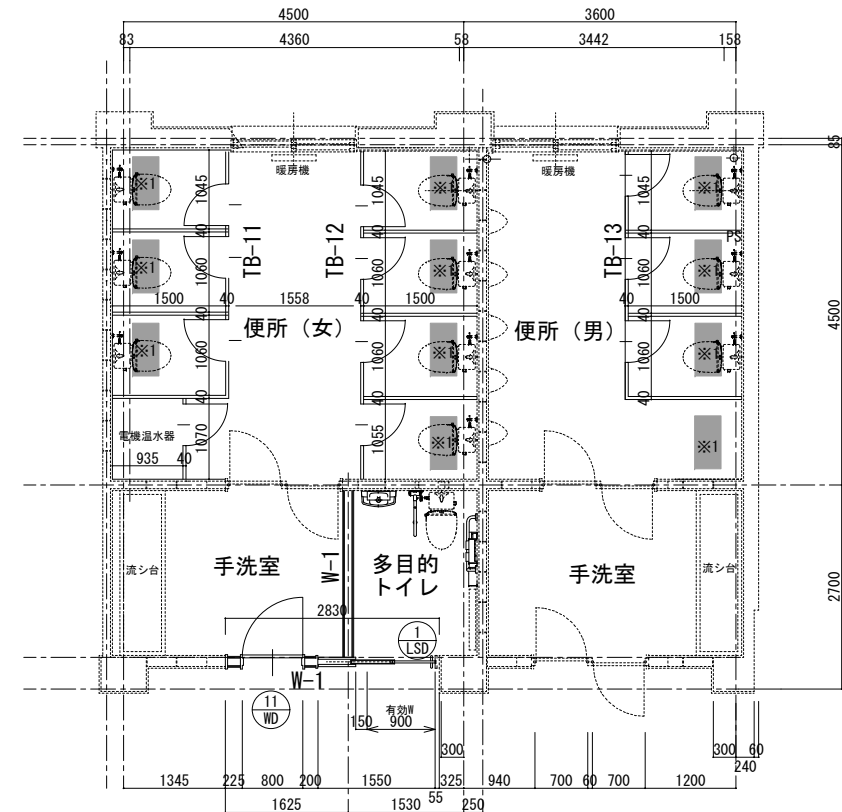
3. 床コンクリート【撤去】

※1	700 × 350	1ヶ所
----	-----------	-----

WD-9 ×1ヶ所 木製扉 見込38【撤去】
ガラス t4

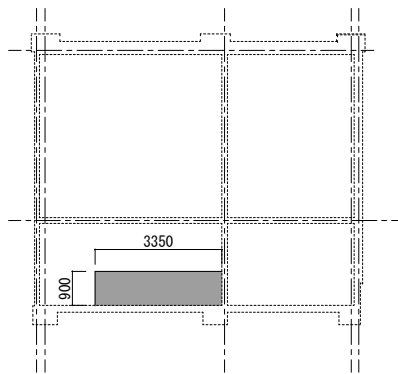


改修前	床	巾木	塗装	壁	塗装	柱型	塗装	梁型 (小梁)	塗装	天井	塗装	天井高	備考
	防塵塗装	ビニル巾木		磁器質タイル貼り		—		—	—	フルバグフルボード t6.0 一部撤去	EP-G	2400	



2階トイレ平面図

- 改修内容【新設】
1. 床コンクリート※1部分【新設】
 2. 床仕上【新設】(便所床全体)
・エポキシ樹脂系防塵塗装
 3. トイレブース【新設】
・床補修 L=2650 W200 モルタル金コテ【新設】
 4. 間仕切り壁【新設】
・W-1 LGS100型 両面石膏ボード t12.5+t9.5 EP-G GW t100 充填【新設】
 5. 床補修 L=2650 W200 モルタル金コテ t 30【新設】
 6. 天井一部【新設】

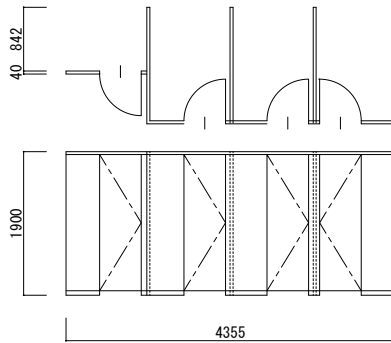


新設部分

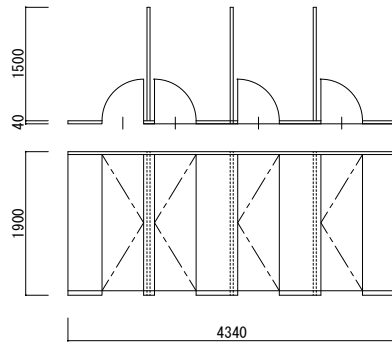
天井伏図 1/100

4. トイレブース【新設】

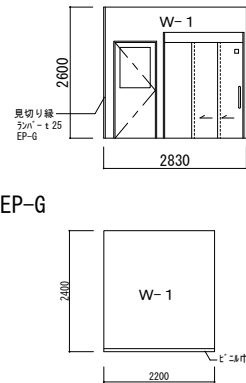
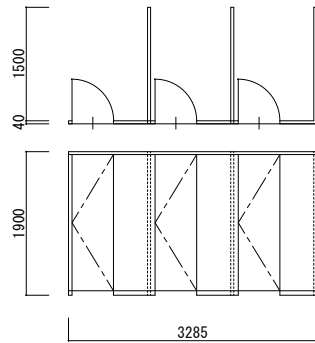
TB-11 厚40 × 1ヶ所



TB-12 厚40 × 1ヶ所

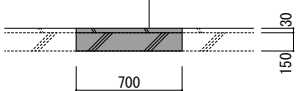


TB-13 厚40 × 1ヶ所



1. 床コンクリート※1部分【新設】
和便器 床改修 700x350

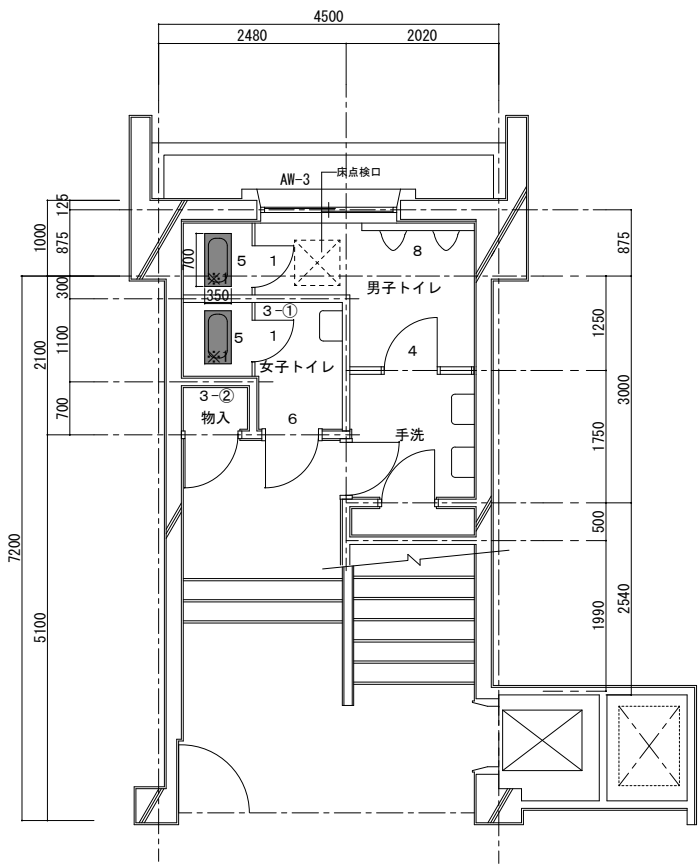
エポキシ樹脂系防塵塗装
コンクリート t 150
鉄筋はつり出し フル溶接
D13ダブル 4ヶ所@150



2. 建具【新設】

名称・数量	11 WD 片開き扉 1	150 二連引込み戸 1
図面		
仕上・見込	メラミン化粧合板 見込38	スチール t0.6 焼き付け塗装
ガラス	型 t 4	型 t 4
附属金物	丁番、レバーハンドル、付属金物一式	表示錠、吊レール金物、ガイドピン、自動閉鎖装置 (ストッパー付)、引き棒 L=600 附属金物一式
備考		

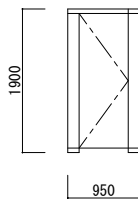
改修後	床	巾木	塗装	壁	塗装	柱型	塗装	梁型 (小梁)	塗装	天井	塗装	天井高	備考
男子女子便所	エポキシ樹脂系防塵塗装【新設】	既存のまま		既存のまま		—		—	—	既存のまま	—	2400	洋便器(設備)【新設】
多目的トイレ	エポキシ樹脂系防塵塗装【新設】	既存のまま		既存のまま		—		—	—	既存のまま 一部がフルバグ【新設】	—	2400	便器(設備)【新設】



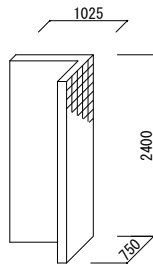
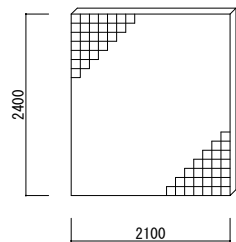
■改修内容【撤去】

1. トイレブース(男・女)撤去
2. 和便器(男・女)、小便器、手洗器【撤去】(設備)
3. 間仕切壁【撤去】
4. 男子トイレ内 建具【撤去】
5. 和便器 周囲床スラブ※1部分【撤去】
6. 女子トイレ 建具【撤去】
7. 床点検口よりピット内土砂を【撤去】(3m³程度)
8. 小便器ライニング【撤去】

1. トイレブース(男・女)【撤去】
W950×H1900×D40 ×2ヶ所



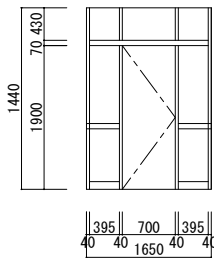
3. 間仕切壁【撤去】
3-①壁 C B t100下地 両面 磁器質タイル貼
3-②壁 C B t100下地 片面 磁器質タイル貼 片面 モルタルt20



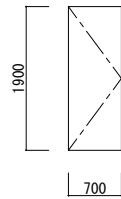
3-①

3-②

4. 男子トイレ建具【撤去】

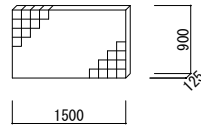


6. 女子トイレ建具【撤去】

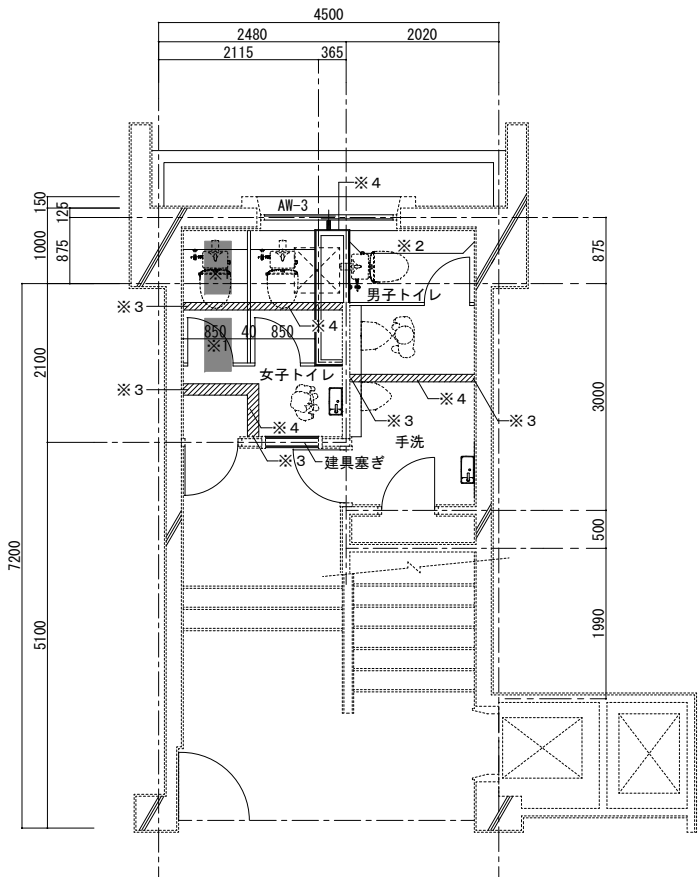


扉厚 36mm

8. ライニング【撤去】
C B t100下地の上 磁器質タイル貼



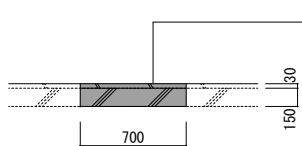
改修前	床	巾木	塗装	壁	塗装	柱型	塗装	梁型 (小梁)	塗装	天井	塗装	天井高	備考
	磁器質モザイクタイル貼り	—		磁器質タイル貼り		—		—	—	コンクリートの上塗装仕上げ	EP-G	2400	



■改修内容【新設】

1. ※1部分 床【新設】
2. 斜線部分 床モルタル補修の上 モザイクタイル50x50【新設】
3. ※2部分 壁モルタル補修の上 モザイクタイル50x50【新設】
4. ※3部分 壁モルタル補修の上 モザイクタイル50x50【新設】
5. ※4部分 天井 コンクリート補修の上 EP-G【新設】
6. 間仕切り壁【新設】
7. TB-1、TB-2【新設】
8. ライニング【新設】
9. 衛生機器【新設】取付(設備)
10. AW-3目隠しフィルム貼り W900×H1100 2枚

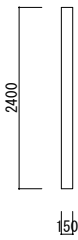
1. ※1部分



- 和便器 床改修 350x700

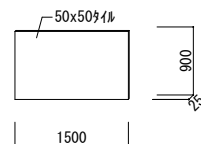
モザイクタイル貼り
コンクリート t150
鉄筋はつり出し フレ溶接
D13ダブル タテ・ヨコ@150

4. ※3部分



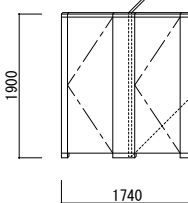
壁モルタル補修の上 モザイクタイル50x50【新設】

3. 壁モルタル補修の上 モザイクタイル50x50

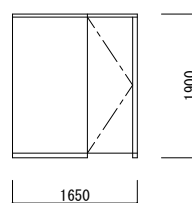


7. トイレブース

TB-1



TB-2



共通 メラミン化粧合板・表示錠

6. 間仕切壁

LGS 65型 片面 GB-S t12.5の上 カラーフレキt6
建具塞ぎ部分 LGS 100型 両面 GB-S t12.5の上 カラーフレキt6

8. ライニング

天板：ランパ- t25の上SUS t1.2

壁：カラーフレキ t6

GB-S t1.25下地

LGS 50型

ランパ- t25SUS t1.2

カラーフレキ t6

GB-S t1.25下地

900

250

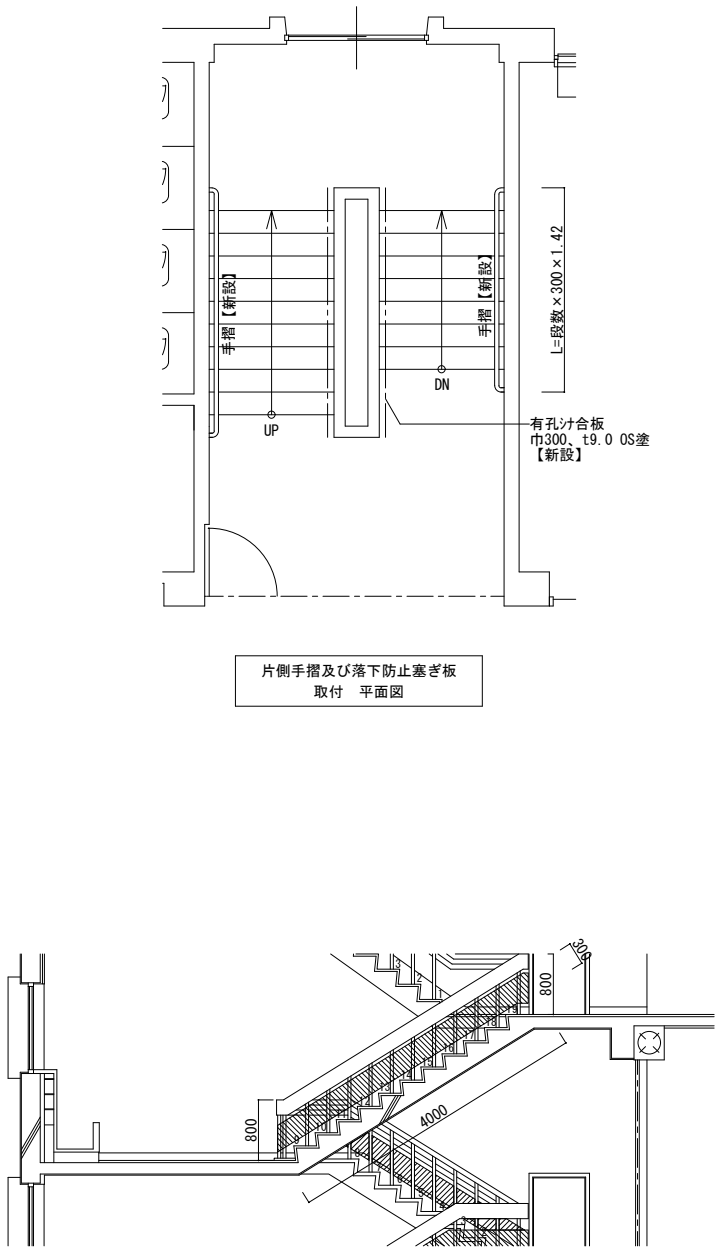
1200

120

女子ラインング L=850x2カ所

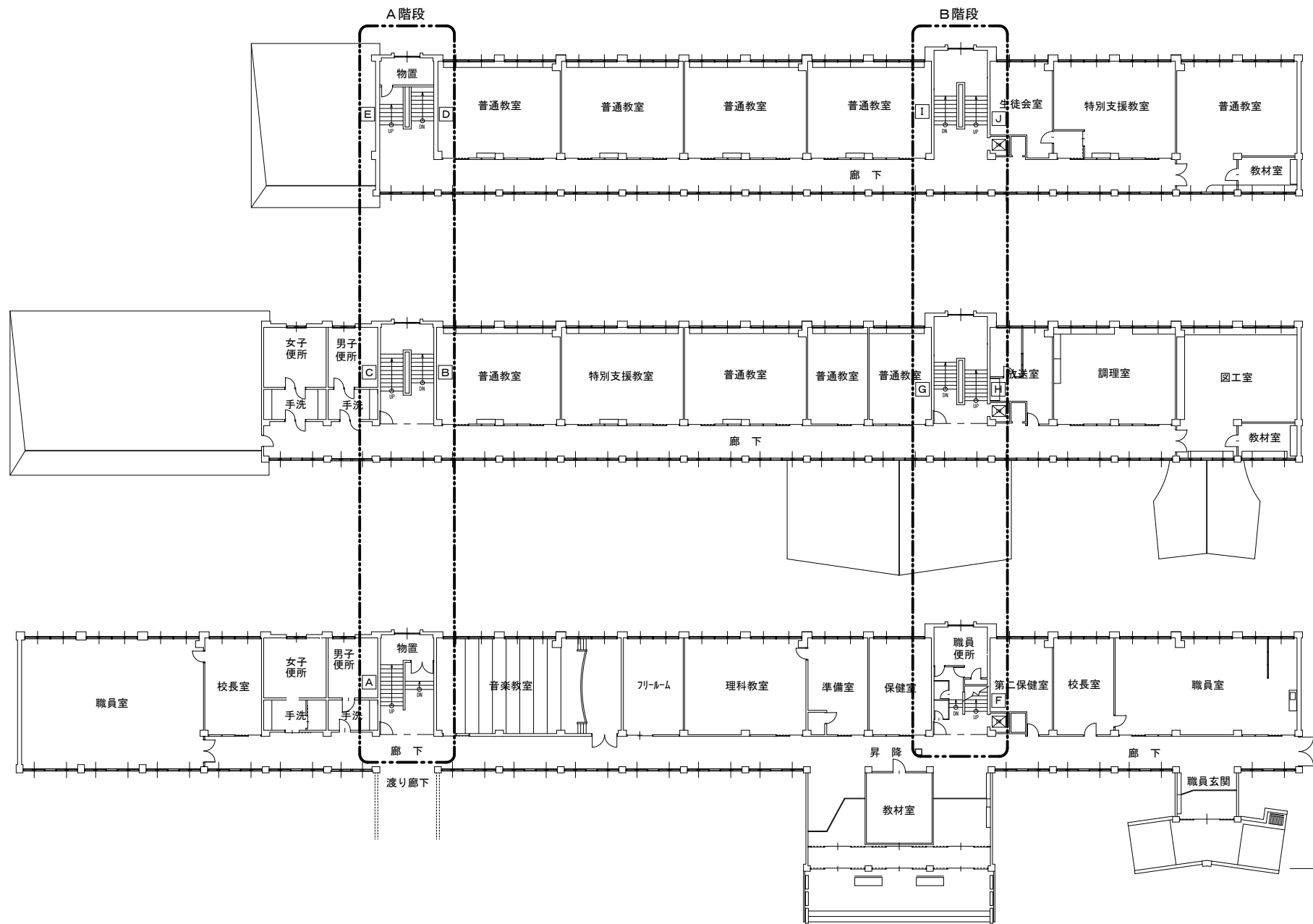
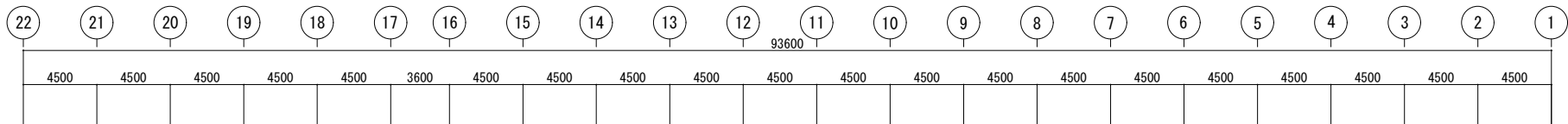
男子小便器ラインング L=1735

改修後	床	巾木	塗装	壁	塗装	柱型	塗装	梁型 (小梁)	塗装	天井	塗装	天井高	備考
	一部モザイクタイル 【新設】	—		既存のまま		—		—	—	既存のまま	—	2400	



片側手摺及び落下防止塞ぎ板
取付 平面図

落下防止塞ぎ板【新設】
：有孔け合板 巾300 t9.0 OS
SUS ϵ ス留め



3階平面図

2階平面図

1階平面図

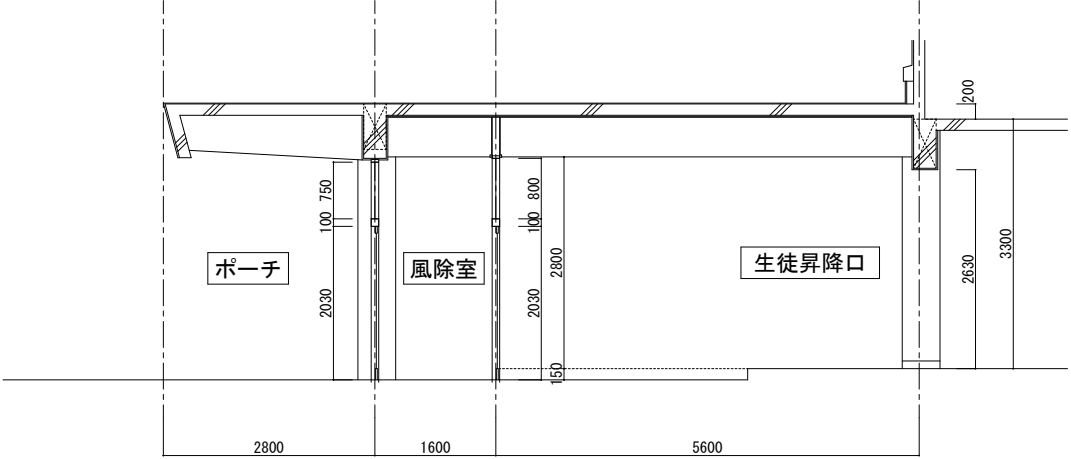
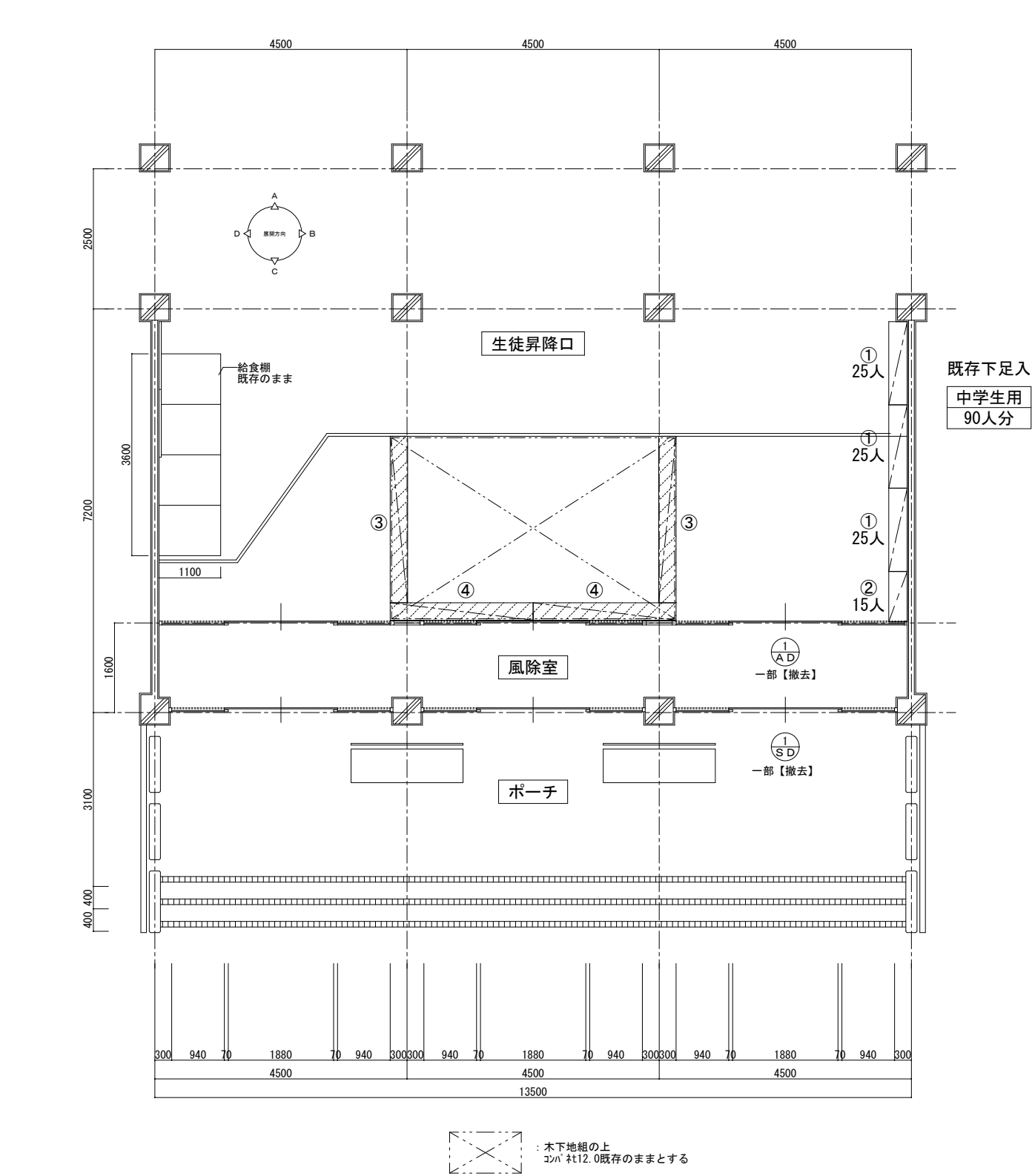
■手摺：ビニル被覆φ34【新設】

A階段	A 10段	B 7段	C 9段	D 8段	E 5段
手摺長さ(L)	4260	3000	3800	3400	2150

B階段	F 10段	G 7段	H 7段	I 10段	J 4段
手摺長さ(L)	4260	3000	3000	4260	1700

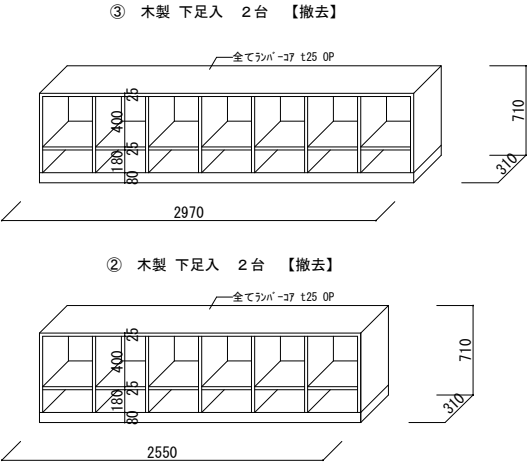
■落下防止塞ぎ板【新設】有孔け合板
巾300 t9.0 OS
SUS ϵ ス留め

A階段	L4000 × 5ヶ所
B階段	L4000 × 5ヶ所



生徒昇降口・風除室 断面図 S=1/50

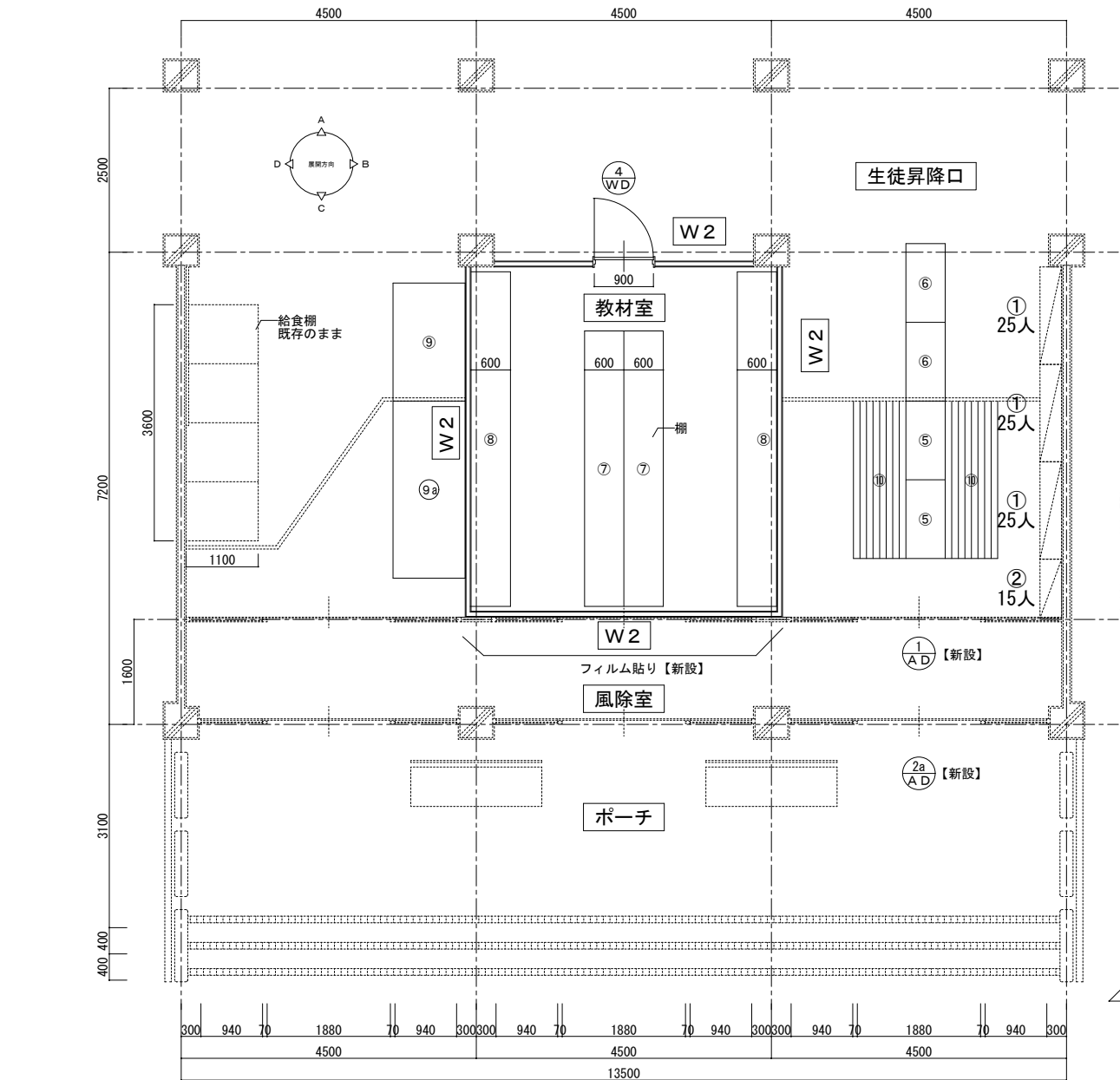
①	スチール 下足入	3台	W1485 × D330 × H1720	既存のまま
②	スチール 下足入	1台	W750 × D330 × H1720	既存のまま
③	木製 下足入	2台	W2970 × D310 × H710	撤去
④	木製 下足入	2台	W2550 × D310 × H710	撤去



■撤去建具

名称・数量	① SD スチール引分戸 1	① AD 7&引分戸 1
立面		
仕上・見込	スチール SOP 見込100	7& 7&引分 見込100
ガラス	FL5	FL5
附属金物	戸車、レール、引手、付属金物一式	戸車、レール、引手、付属金物一式
備考		

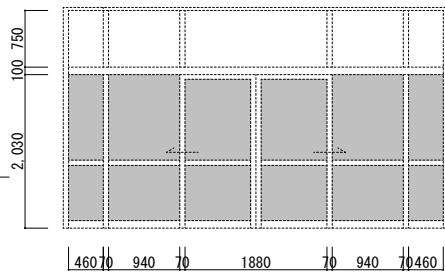
改修前	床	巾木	塗装	壁	塗装	柱型	塗装	梁型（小梁）	塗装	天井	塗装	天井高	備考
昇降口	カーペット	モルタルコテ		モルタルコテ	VP	モルタルコテ	VP	モルタルコテ	VP	ソノライト吹付	-	2630	建具一部【撤去】 木製 下足入【撤去】
	一部木組下地の上コンパネt12												



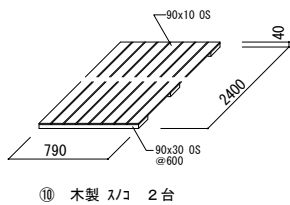
改修後下足入	
小学生＋父母用	中学生用
144人分	90人分

⑤	木製 下足入	2台	W1200 × D600 × H1300	移設
⑥	木製 下足入	2台	W1200 × D600 × H1600	移設
⑦	収納棚	2台	W4200 × D600 × H1800	新設
⑧	収納棚	2台	W5100 × D600 × H1800	新設
⑨	給食棚	1台	W1800 × D1100 × H1700	新設
		1台	W2700 × D1100 × H1700	新設
⑩	スノコ	2台	W2400 × D790 × H40	新設

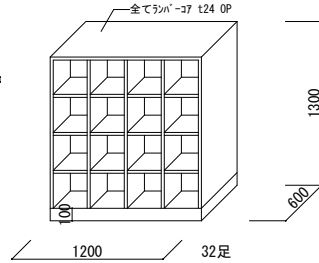
W2 【新設】 LGS65型 両面石膏ボード t12.5 EP-G



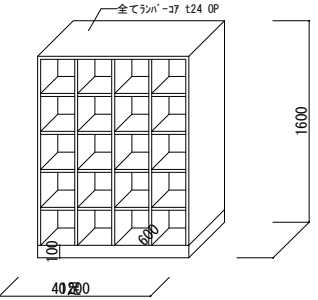
風除室 フィilm貼り【新設】



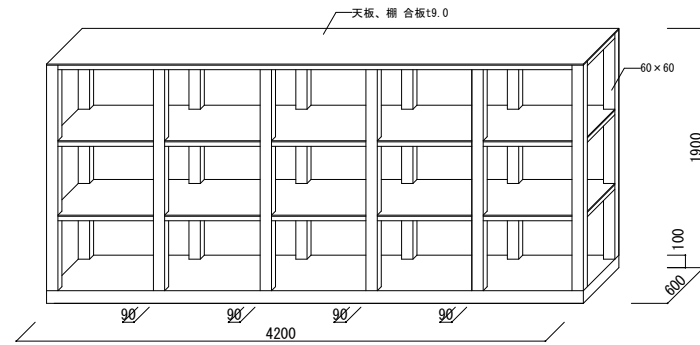
⑩ 木製 スノコ 2台



⑤ 木製 下足入 2台



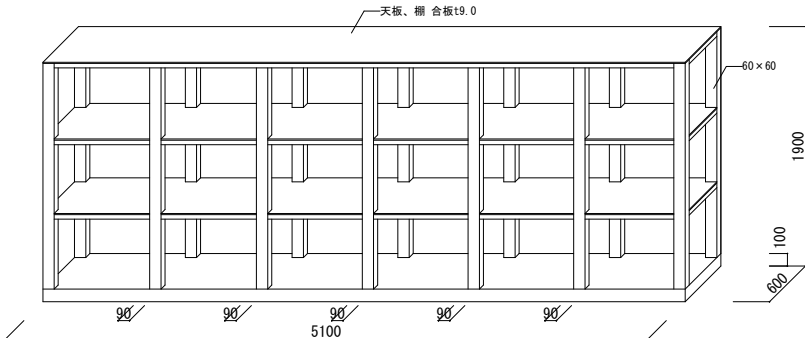
⑥ 木製 下足入 2台



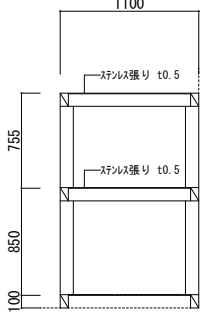
⑦ 収納棚 2台

■新設建具

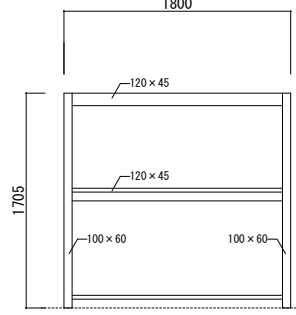
名称・数量	② AD 7&12ハガー引分戸 各1	④ WD 片開きドア 1
カバエ工法にて新設		
2aのメッシュラ本縛錠		
2aのメッシュラ本縛錠		
仕上・見込	7&12 7&12	見込100
ガラス	スカーンハート t5	ガラス化組合板 FL5
附属金物	ハガー金物、ガイドピン、引手、付属金物一式	丁番、レバーハンドル、戸当り、付属金物一式
備考		



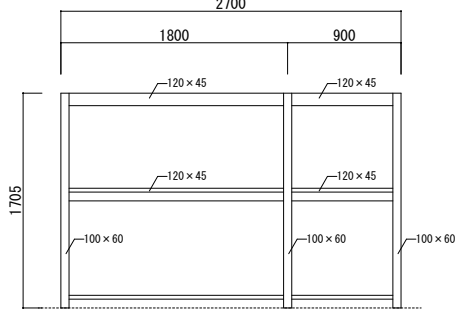
⑧ 収納棚 2台



⑨ 共通 収納棚



⑨ 収納棚

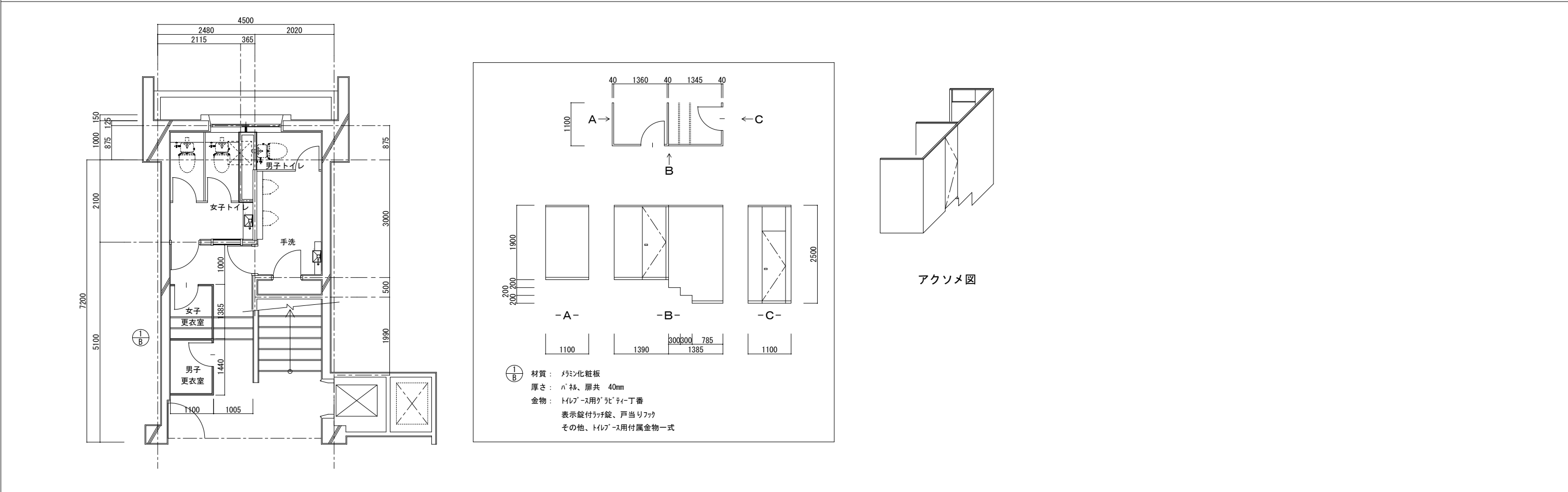
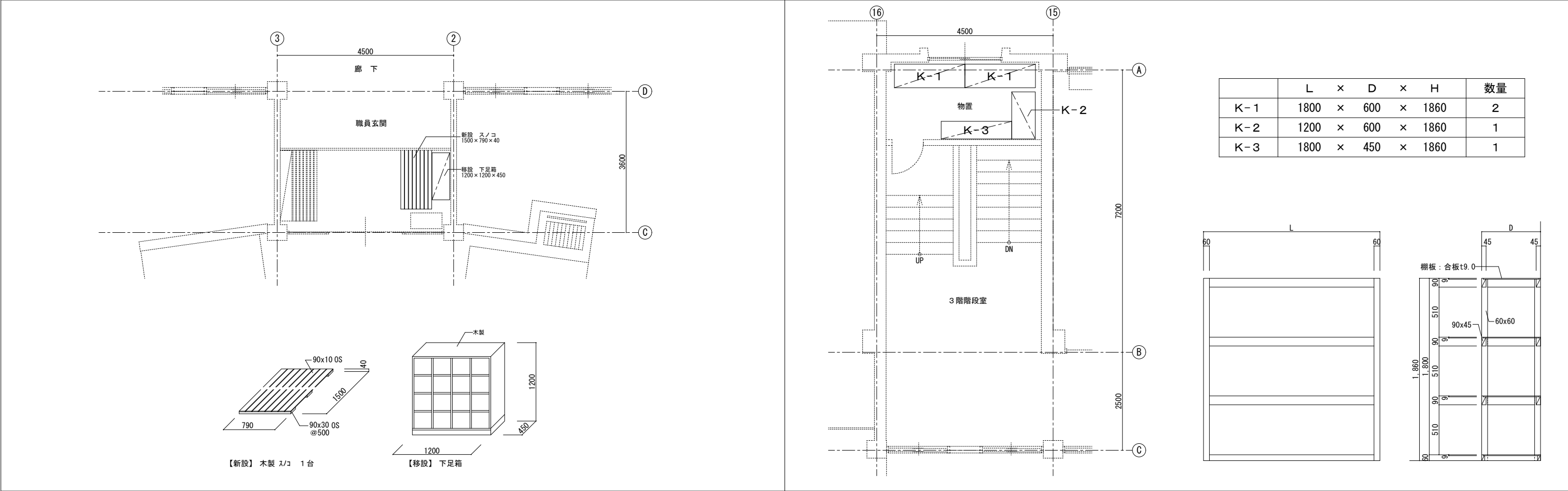


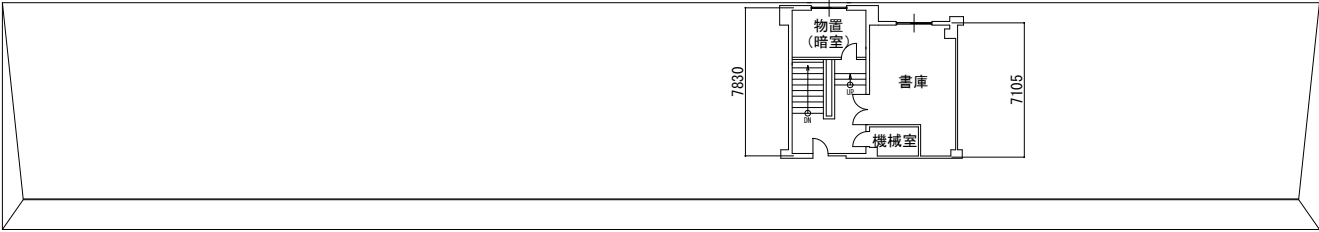
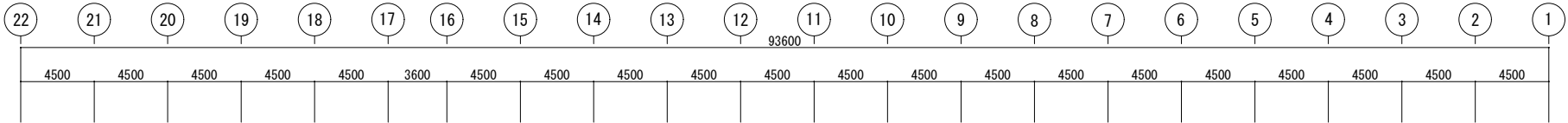
⑨ 収納棚

給食棚詳細図 S=1/30

改修後	床	巾木	塗装	壁	塗装	柱型	塗装	梁型（小梁）	塗装	天井	塗装	天井高	備考
昇降口	既存のまま	既存のまま		既存のまま		既存のまま		既存のまま		既存のまま	-	2630	建具一部【新設】 木製 下足入 小学校より【移設】4台 ⑤ ⑥
教材室	既存のまま	既存のまま		石膏ボード t12.5	EP-G	既存のまま		既存のまま		既存のまま			収納棚【新設】

OKADA DESIGN OFFICE	株式会社 岡田設計	管理建築士	代表となる設計者	その他設計者	法適合設計者(確認者)		校図	担当	TITLE	DRAWING NAME	E 項目	DRAWING NO.	A-O 17
		一級建築士 第314057号 岡田 幸生	一級建築士 第314057号 岡田 幸生	一級建築士	構造一級建築士 第 号	設備一級建築士 第 号			中頓別町立中学校改修工事	改修後 昇降口 詳細図	設計図	DRAWING DATE.	2024. 04.
										SCALE	1/200 (A3 1/400)	BUSINESS NO.	



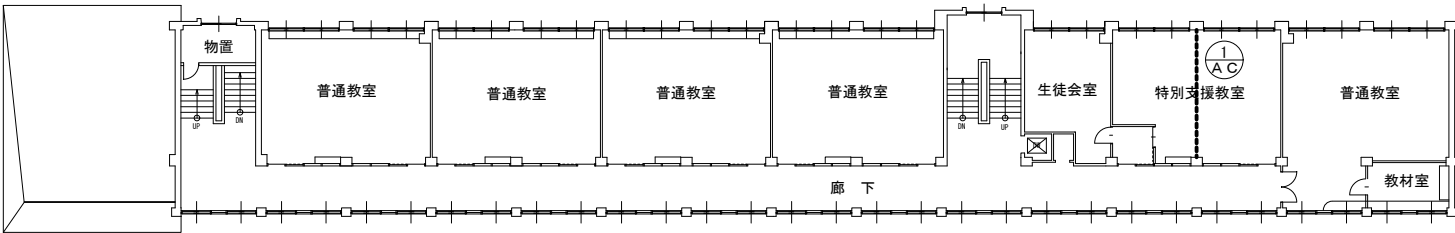


A

B

C

PH階平面図

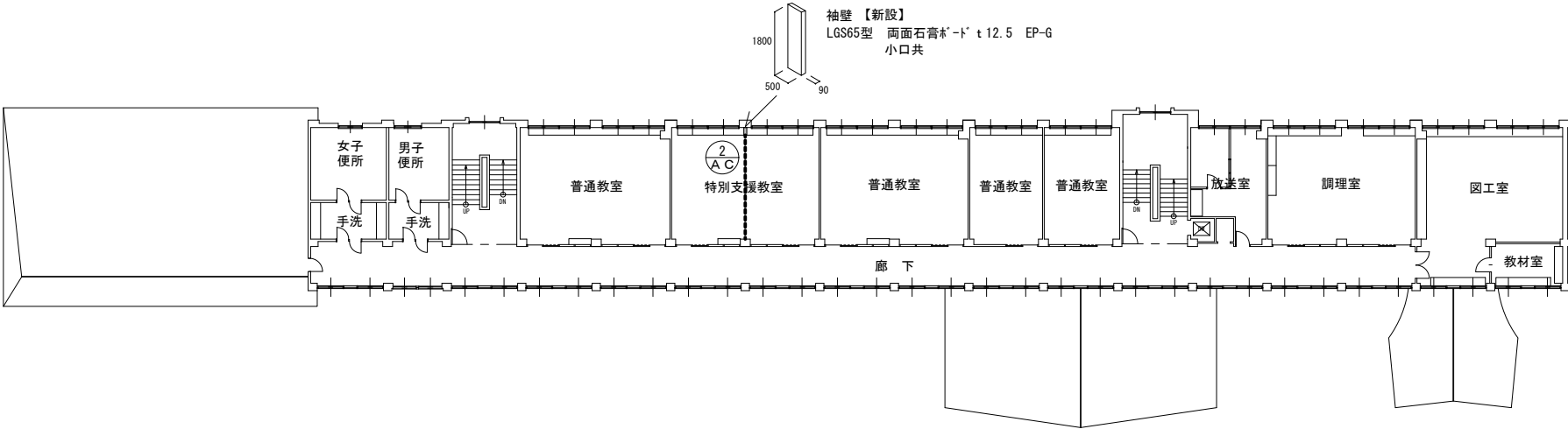


A

B

C

3階平面図

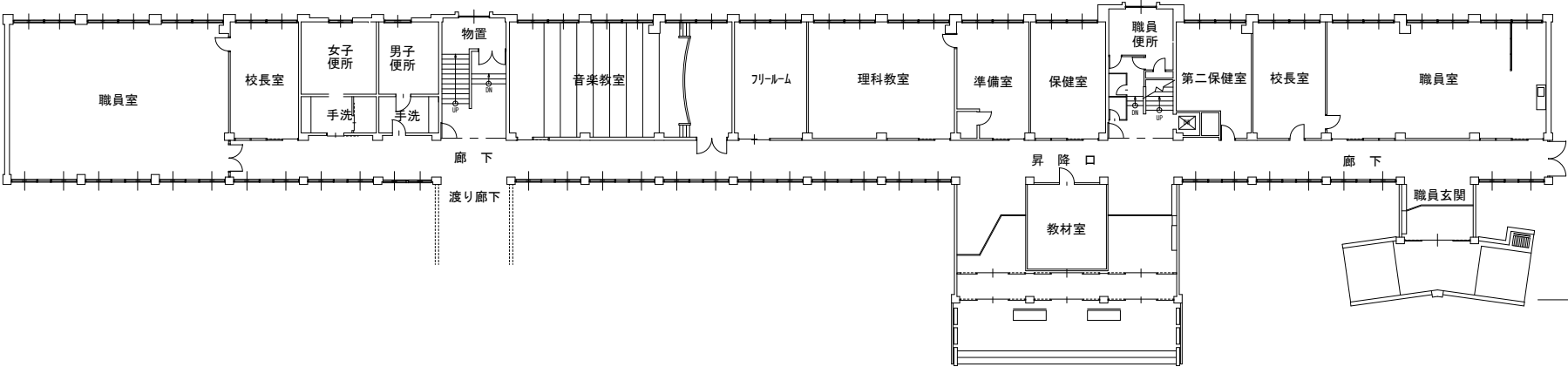


A

B

C

2階平面図



A

B

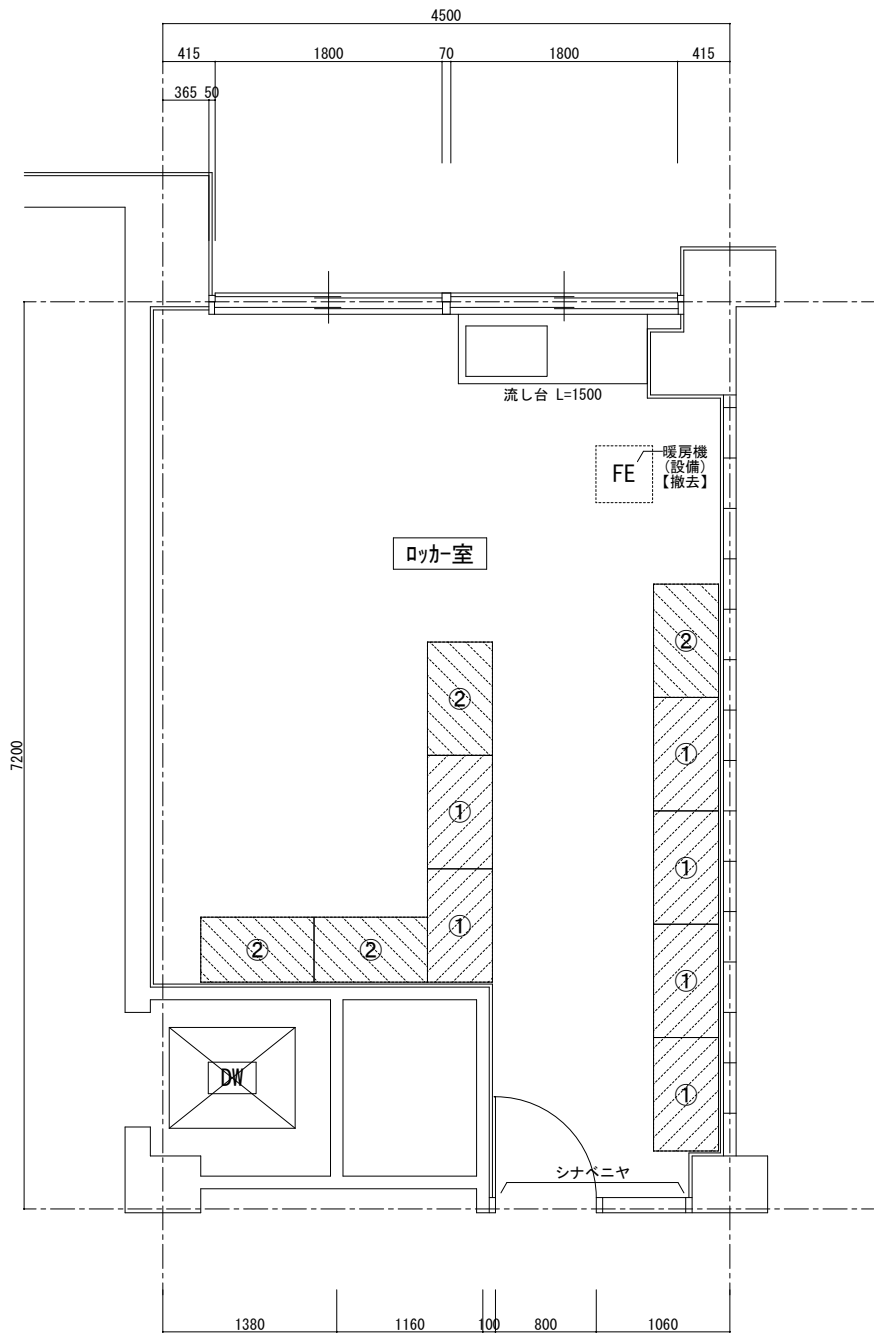
C

D

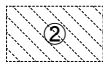
E

1階平面図

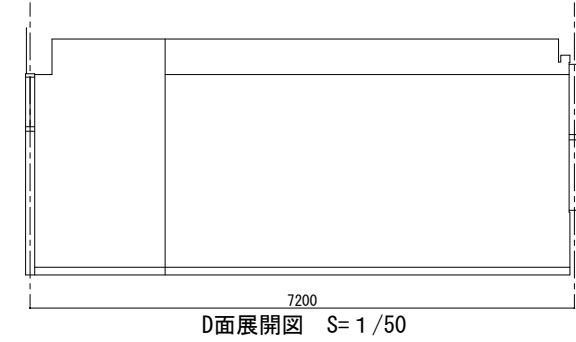
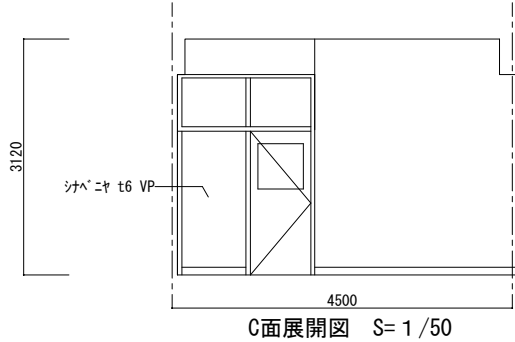
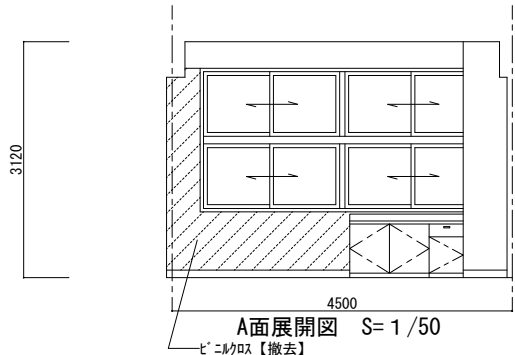
名称・数量	1 AC フューデーション	1
図面		
仕上・見込	抗菌ビニルシート	
ガラス		
附属金物	取手、上部がイドレル	
備考	隙間がート、タタアライト同等品	
名称・数量	2 AC フューデーション	1
図面		
仕上・見込	抗菌ビニルシート	
ガラス		
附属金物	取手、上部がイドレル	
備考	隙間がート、タタアライト同等品	



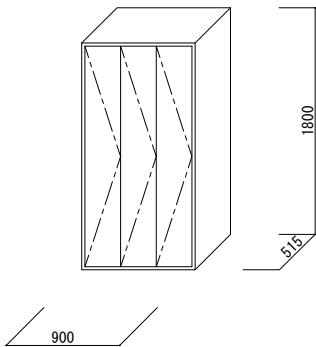
中学職員室へ移設



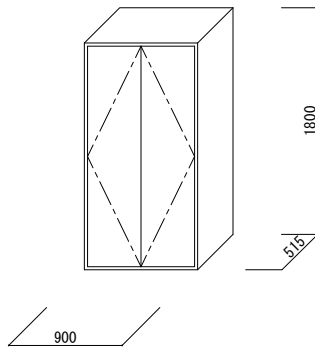
2 F 教室へ移設



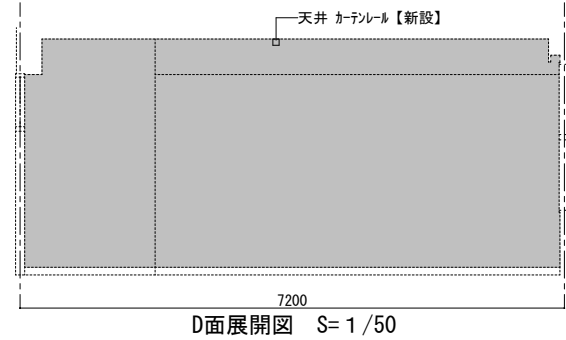
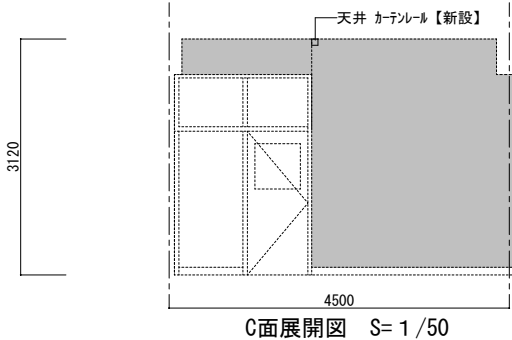
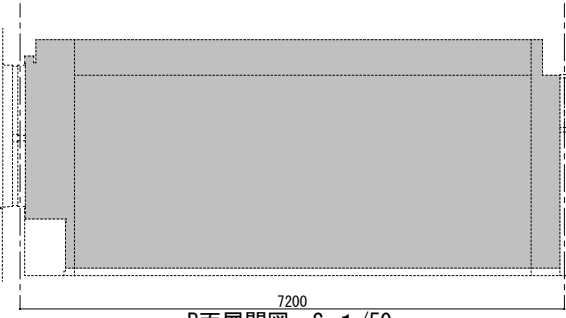
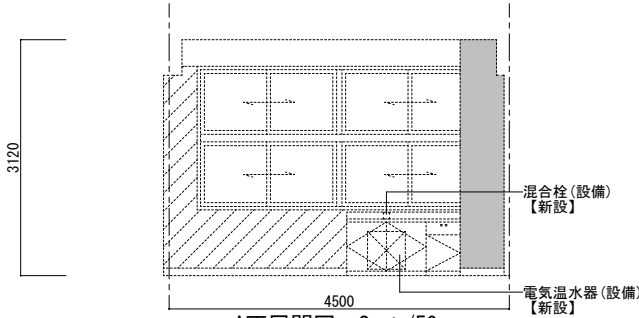
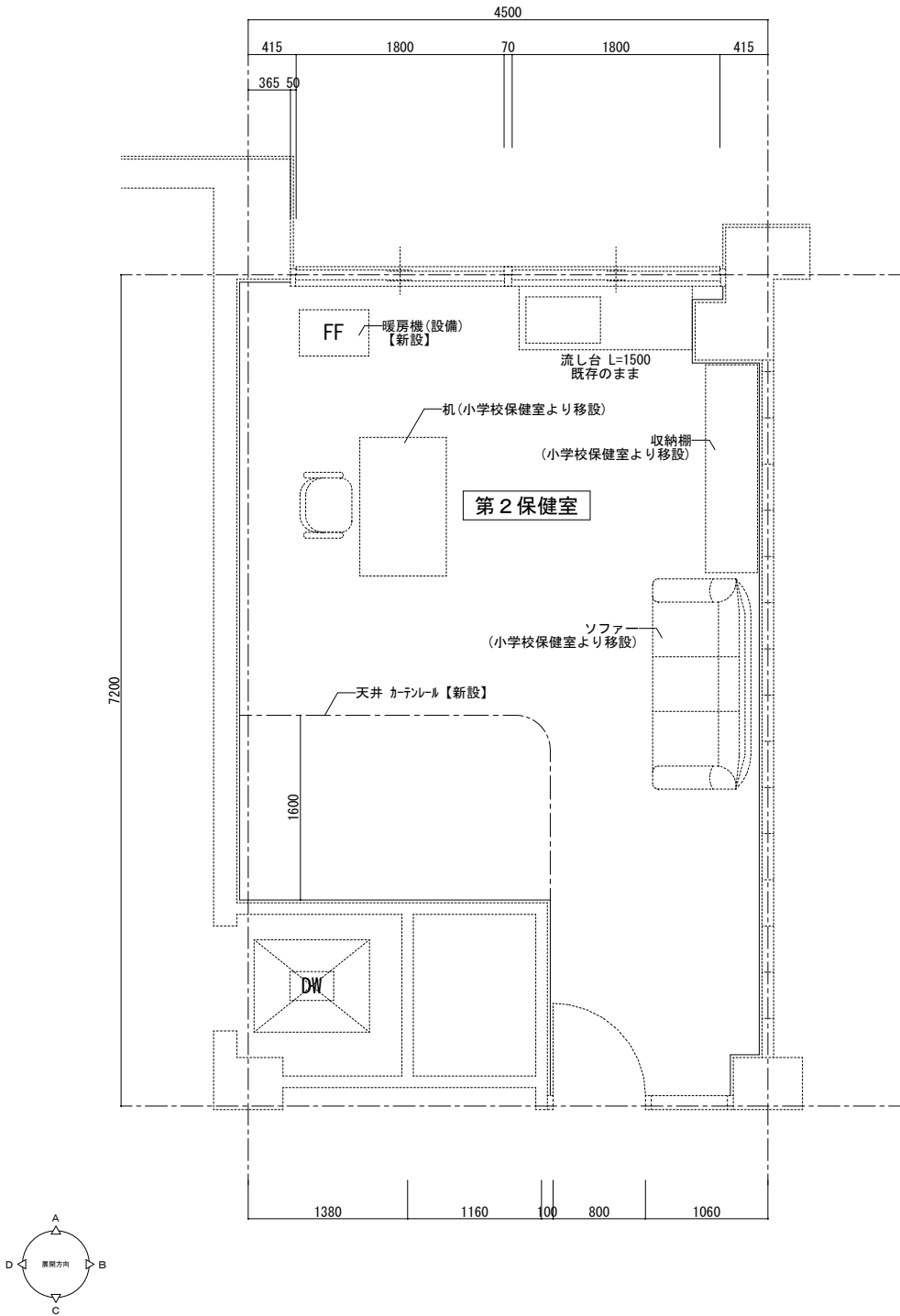
① スチールロッカー 6台 → 中学職員室へ移設



② スチール収納棚 4台 → 2F教材室(図工室)へ移設 × 2台
3F教材室(旧被服室)へ移設 × 2台



改修前	床	巾木	塗装	壁	塗装	柱型	塗装	梁型 (小梁)	塗装	天井	塗装	天井高	備考
ロッカー室	ビニル床シート t 2.0	木製巾木 H=100		シナベニヤ t 6.0	VP	モルタル金ゴテ	VP	モルタル金ゴテ	VP	γ/ライク吹付	-	3120	FE暖房機 1台 (設備) 【撤去】 R項目図参照
				モルタル金ゴテ	VP								スチールロッカー移設
				一部 ビニルクロス貼り									

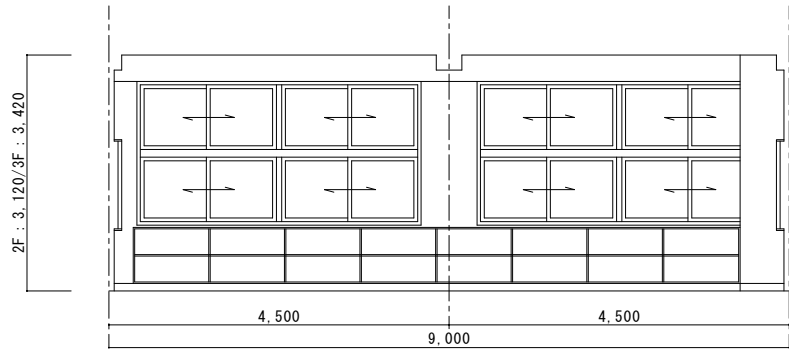
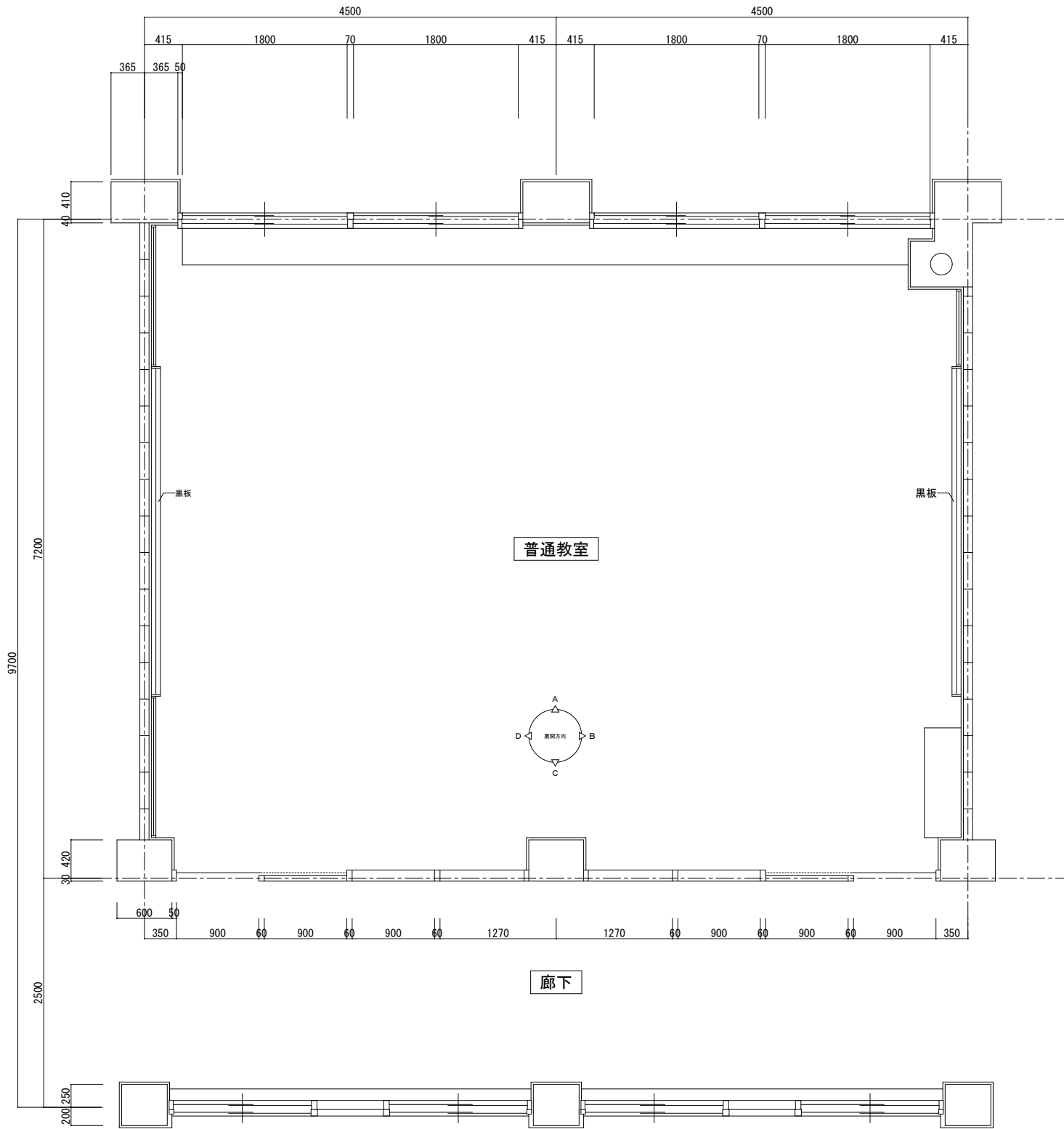


ガチン系シーラー塗の上 EP-G【新設】

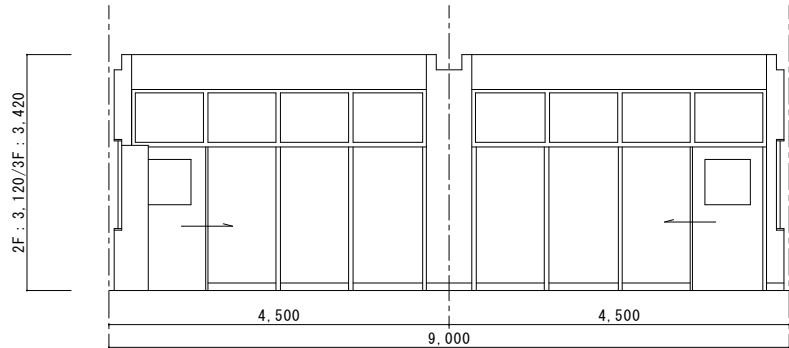
ビニルクロス貼り【新設】

改修後	床	巾木	塗装	壁	塗装	柱型	塗装	梁型（小梁）	塗装	天井	塗装	天井高	備考
第2保健室	既存のまま	既存のまま		既存のまま		ガチン系シーラー塗	EP-G	ガチン系シーラー塗	EP-G	既存のまま	-	3120	F F暖房機 1台（設備）【新設】 R項目図参照
				ガチン系シーラー塗	EP-G								カテンレール【新設】 電気温水器（設備）【新設】 混合栓（設備）【新設】
													既存小学校保健室より机、ベッド、ソファ、収納棚を移設

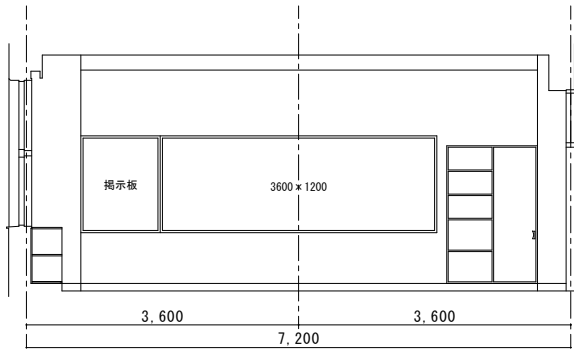
	株式会社 岡田設計	管理建築士	代表となる設計者	その他設計者	法適合設計者（確認者）		検図	担当	TITLE 中頓別町立中学校改修工事	DRAWING NAME H項目 改修後 第2保健室 平面詳細図・展開図			DRAWING NO. A-021
		一級建築士 第314057号 岡田 幸生	一級建築士 第314057号 岡田 幸生	一級建築士	構造一級建築士 第 号	設備一級建築士 第 号				設計図	SCALE 1/30 1/50 (A3 1/60 1/100)	DRAWING DATE. 2024. 07.	BUSINESS NO.



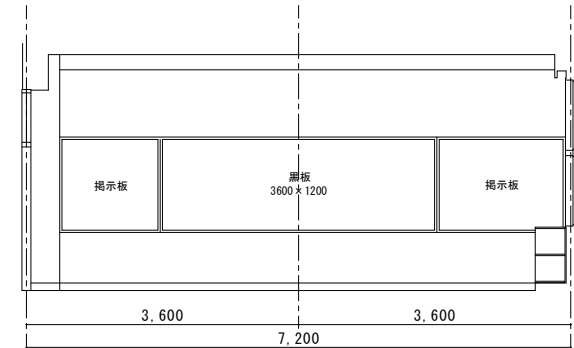
A面展開図 S=1/50



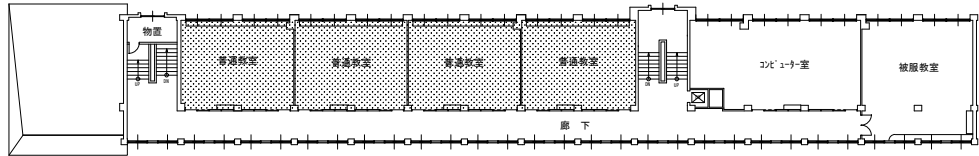
C面展開図 S=1/50



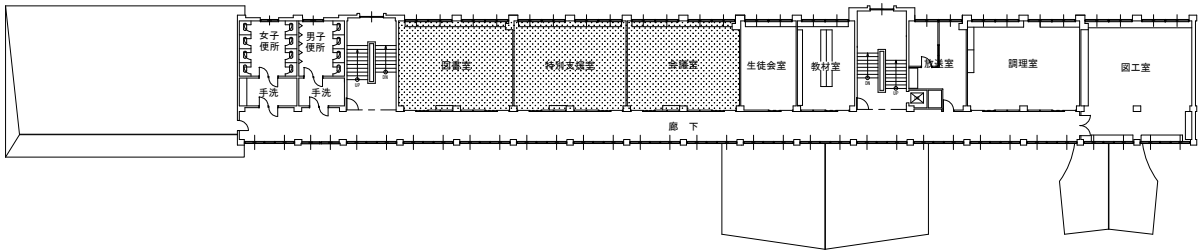
B面展開図 S=1/50



D面展開図 S=1/50



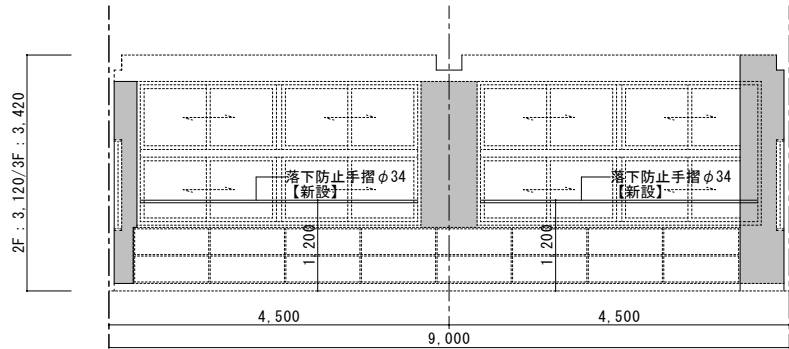
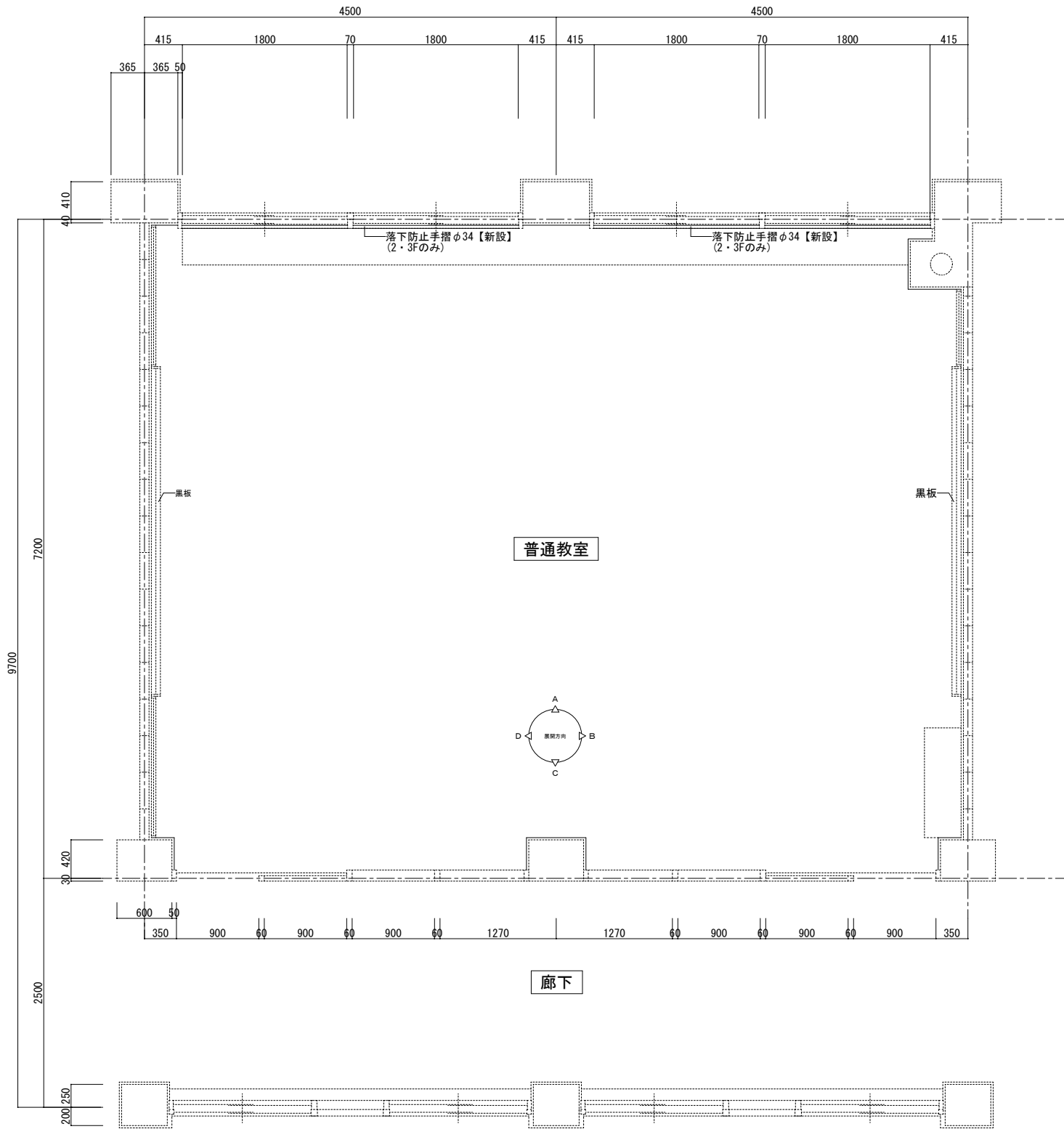
3階平面図



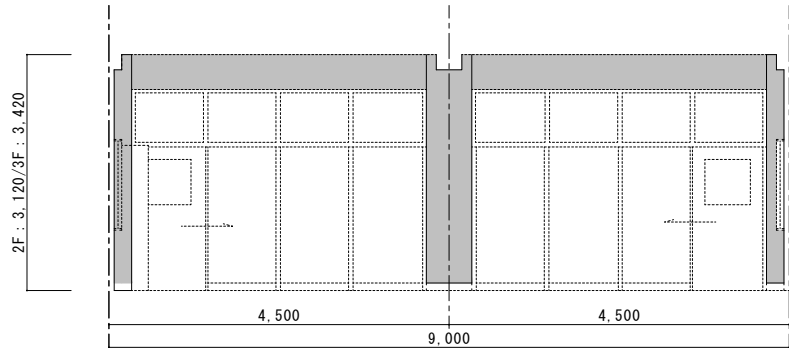
2階平面図

改修前	床	巾木	塗装	壁	塗装	柱型	塗装	梁型（小梁）	塗装	天井	塗装	天井高	備考
2・3階 普通教室	フロー仕上	木製巾木 H=100	OP	モルタル、金タ	VP	モルタル、金タ	VP	モルタル、金タ	VP	ソノライト吹付		2F:3120	F E暖房機（設備）【撤去】別紙参照 R項目参照
				汁合板 t6	VP					3Fは化粧石膏ボード t9.5		3F:3420	

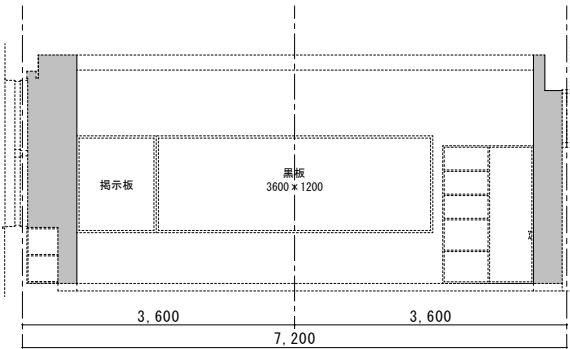
	株 式 会 社 岡 田 設 計	管理建築士	代表となる設計者	その他設計者	法適合設計者（確認者）		検図	担当	TITLE	DRAWING NAME	DRAWING NO.
		一級建築士 第314057号 岡田 幸生	一級建築士 第314057号 岡田 幸生	一級建築士	構造一級建築士 第 号	設備一級建築士 第 号			中頓別町立中学校改修工事	I 項目	A-022
										改修前 普通教室 平面詳細図・展開図	DRAWING DATE 2024.07.
										SCALE 1/50 (A3 1/100)	BUSINESS NO.



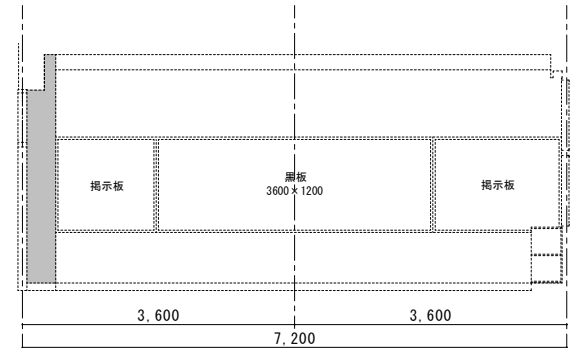
A面展開図 S=1/50



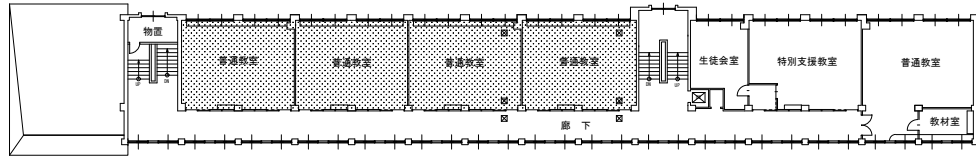
C面展開図 S=1/50



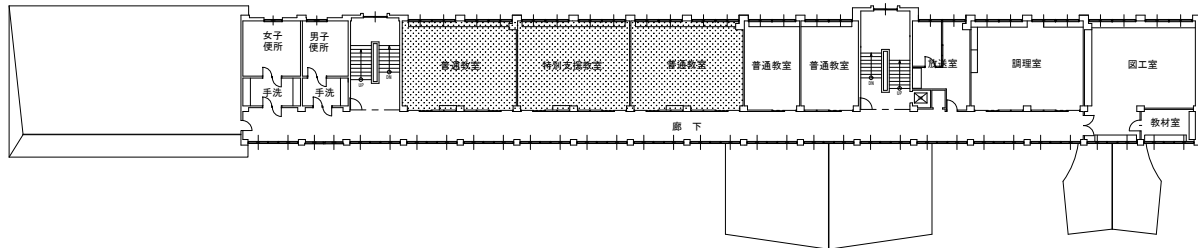
D面展開図 S=1/50



：カイン系シーラ塗の上 EP-G【新設】



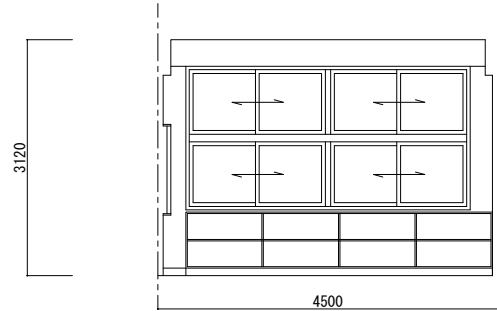
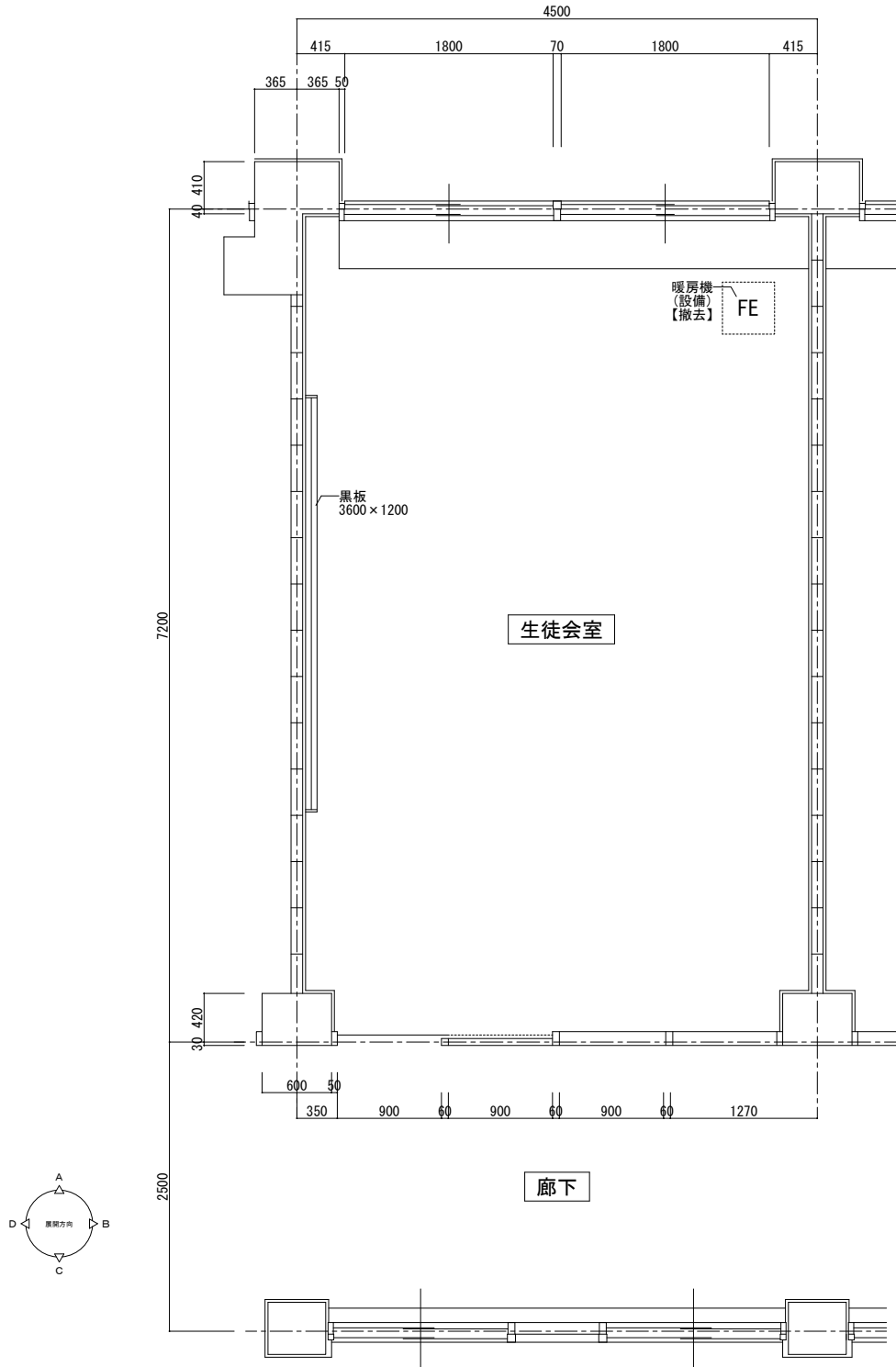
3階平面図
※天井点検口450x450【新設】
6ヶ所
化粧石膏ボード900x900撤去の上新設



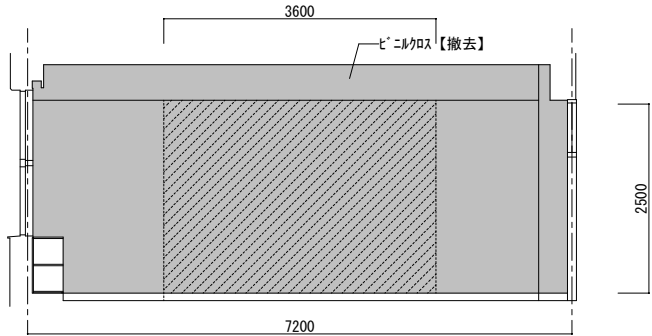
2階平面図

改修後	床	巾木	塗装	壁	塗装	柱型	塗装	梁型（小梁）	塗装	天井	塗装	天井高	備考
2・3階 普通教室	既存のまま	既存のまま		既存のまま		カイン系シーラ塗	EP-G	カイン系シーラ塗	EP-G	既存のまま		2F:3120	什器類は既存のまま FF暖房機(設備)【新設】R項目図参照
												3F:3420	2F・3Fのみ 落下防止手摺 SUSφ34【新設】S項目図参照

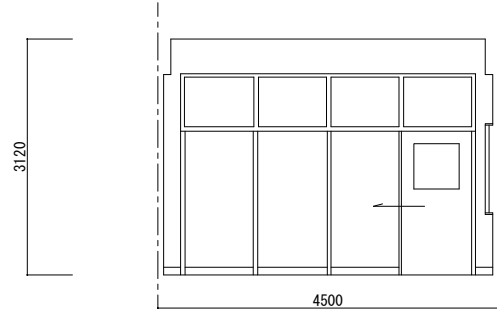
OKADA DESIGN OFFICE	株式会社 岡田設計	管理建築士	代表となる設計者	その他設計者	法適合設計者(確認者)		検図	担当	TITLE 中頓別町立中学校改修工事	設計図	DRAWING NAME I 項目 改修後 普通教室 平面詳細図・展開図	DRAWING NO. A-O 2 3
		一級建築士 第314057号 岡田 幸生	一級建築士 第314057号 岡田 幸生	一級建築士	構造一級建築士 第 号	設備一級建築士 第 号					SCALE 1/50 (A3 1/100)	DRAWING DATE. 2024. 07.
											BUSINESS NO.	



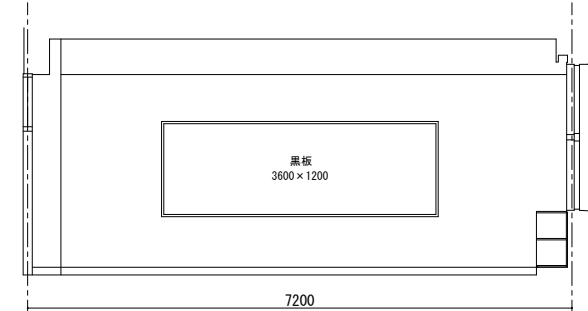
A面展開図 S= 1 / 50



B面展開図 S= 1 / 50

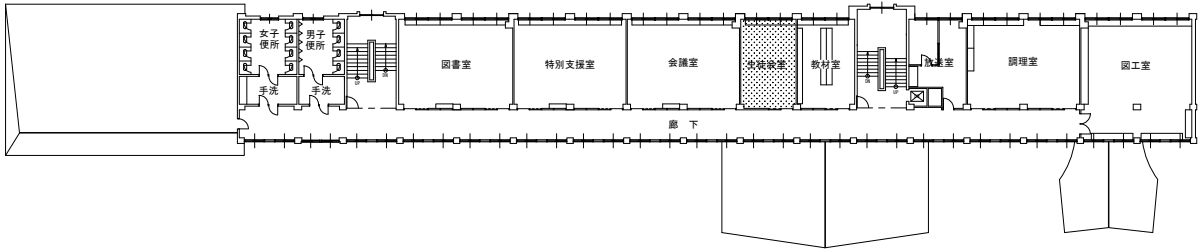


C面展開図 S= 1 / 50



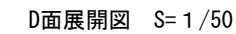
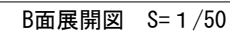
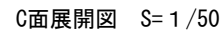
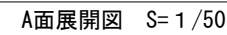
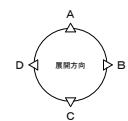
D面展開図 S= 1 / 50

- ビニルクロス貼り【撤去】
- 汁合板 t 6.0【撤去】



2階平面図

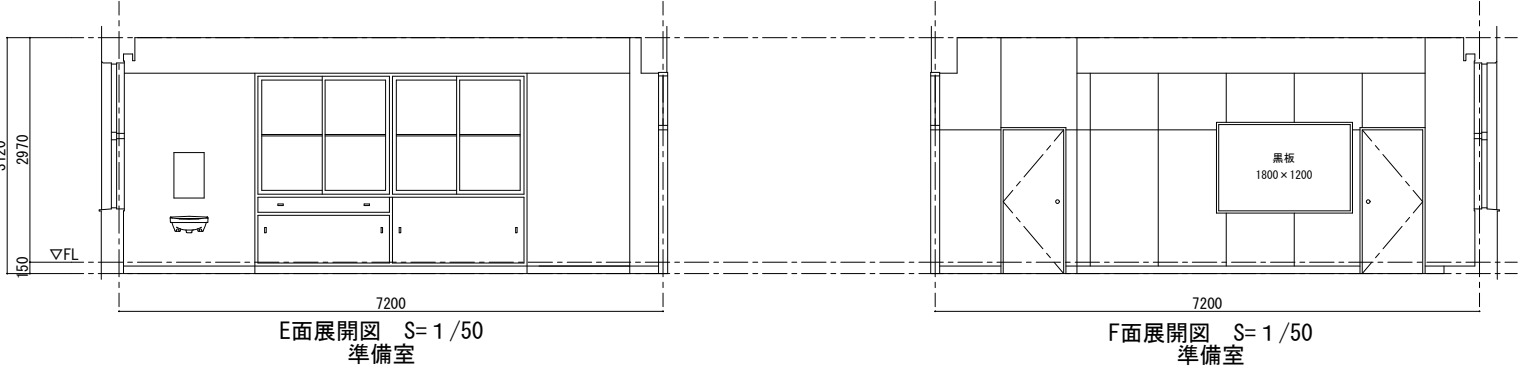
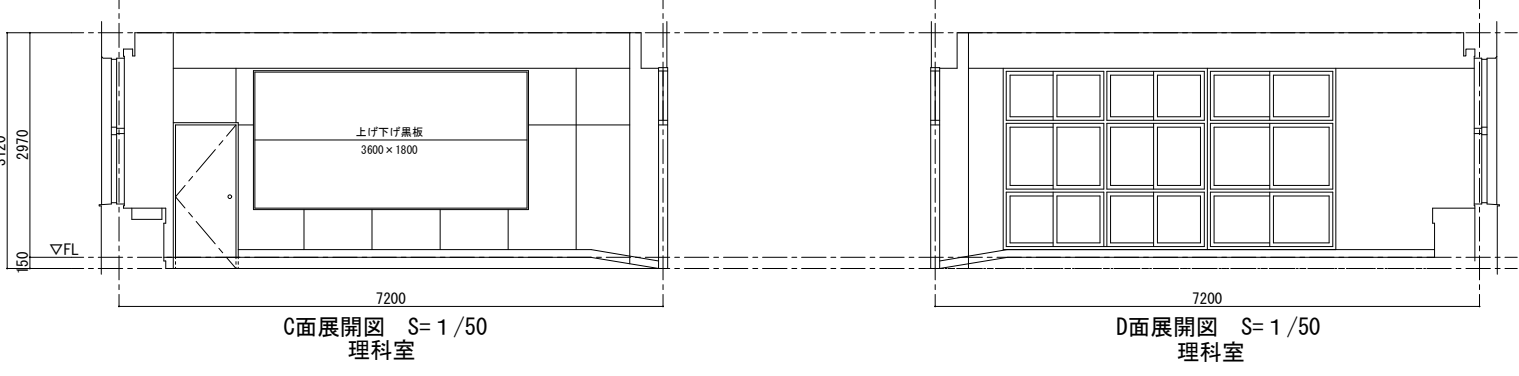
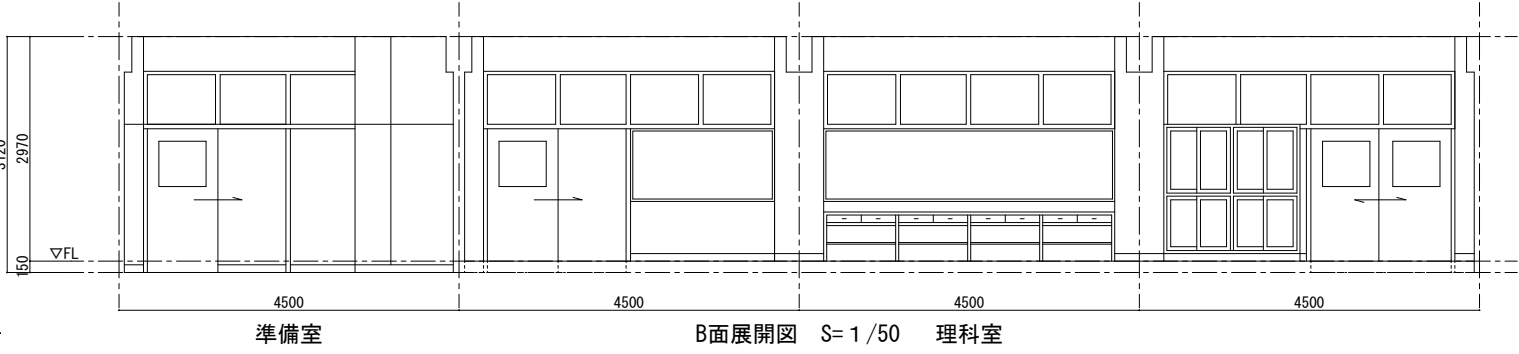
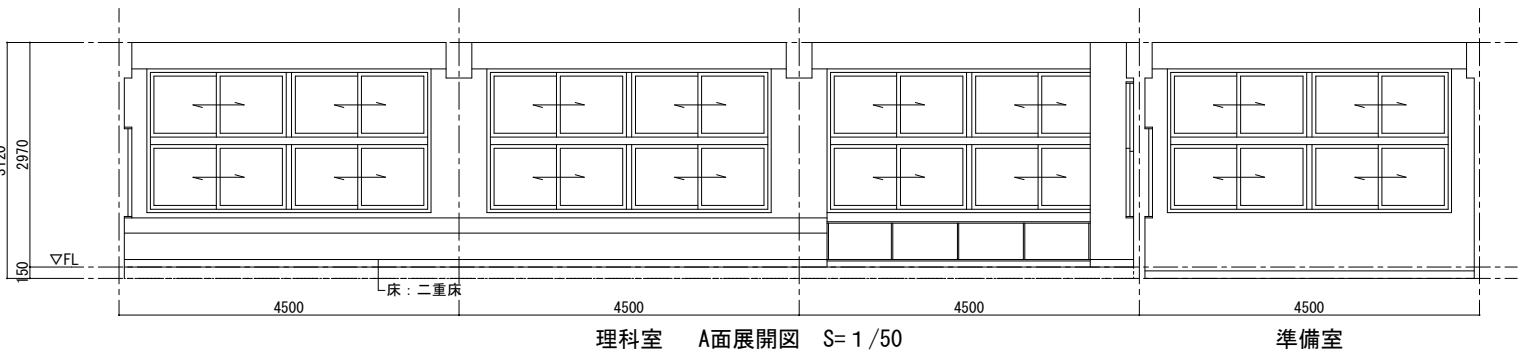
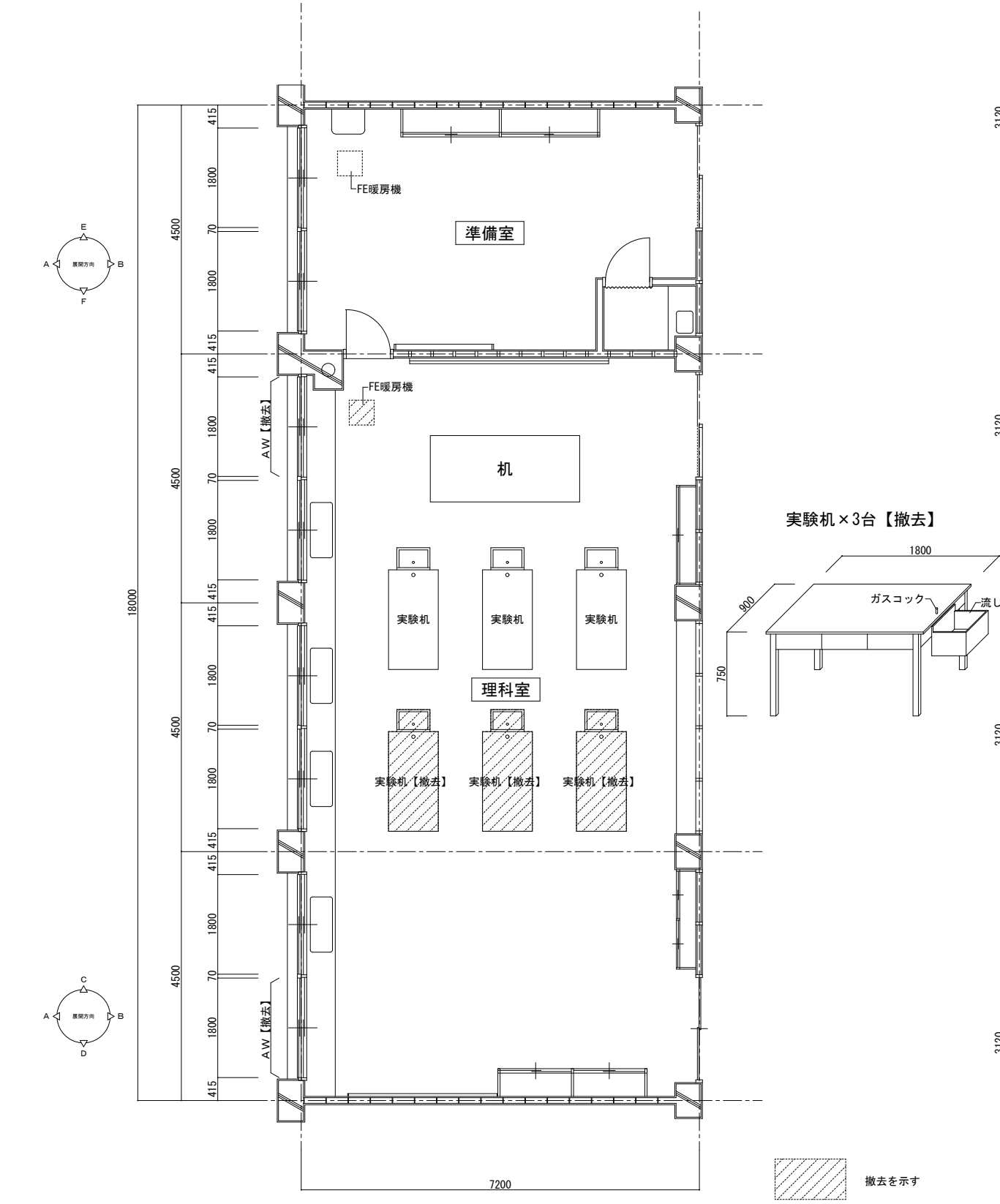
改修前	床	巾木	塗装	壁	塗装	柱型	塗装	梁型（小梁）	塗装	天井	塗装	天井高	備考
生徒会室	カーペット敷	木製巾木 H=100		汁合板 t6.0	VP	モルタル金ゴ	VP	モルタル金ゴ	VP	石膏吹付	-	3120	F E 暖房機 1 台（設備）【撤去】 R 項目図参照
				ビニルクロス貼り									



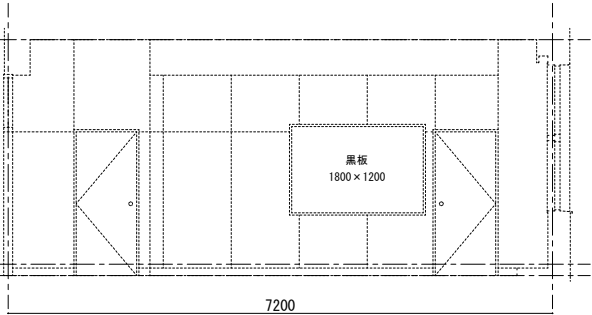
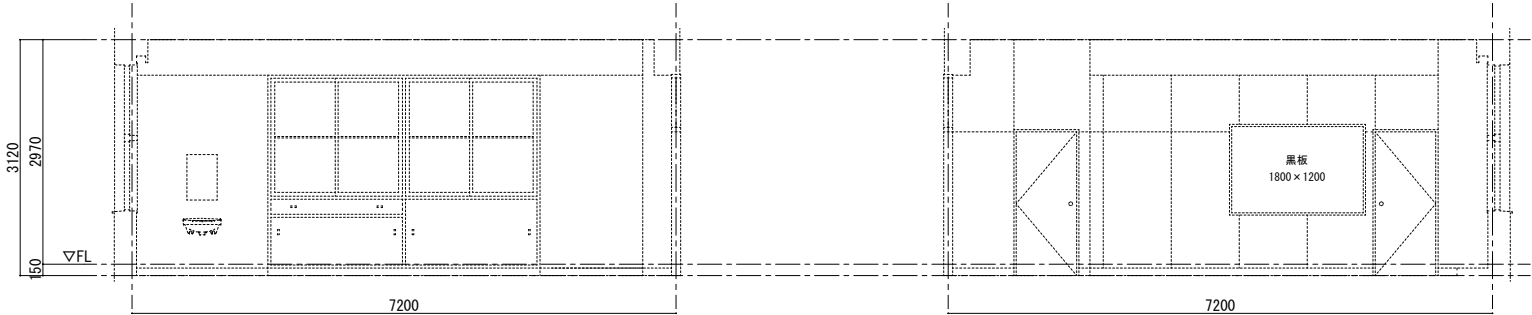
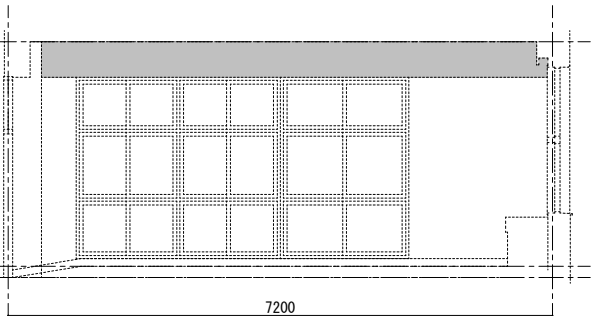
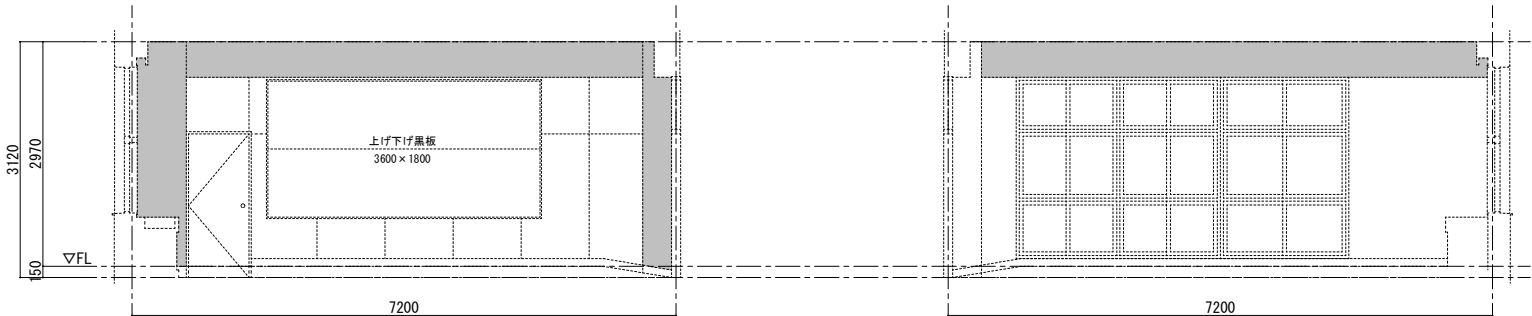
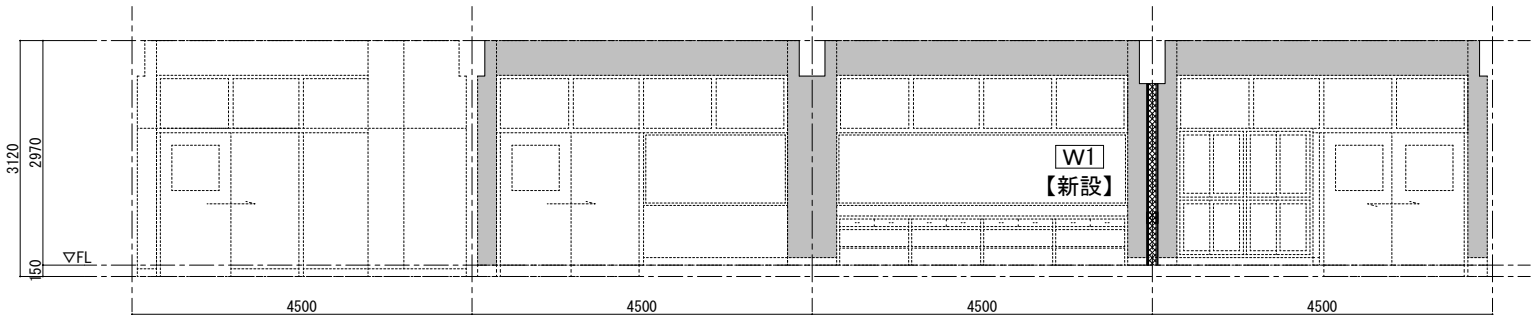
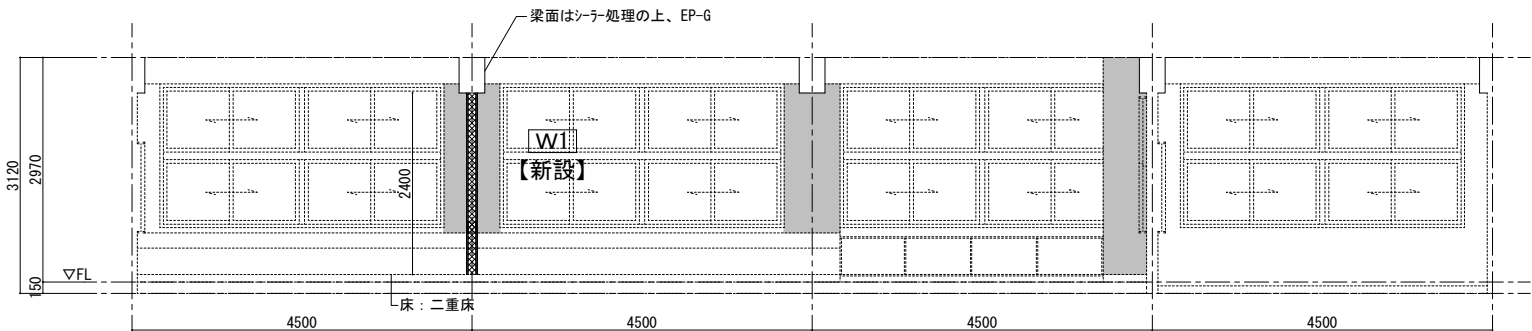
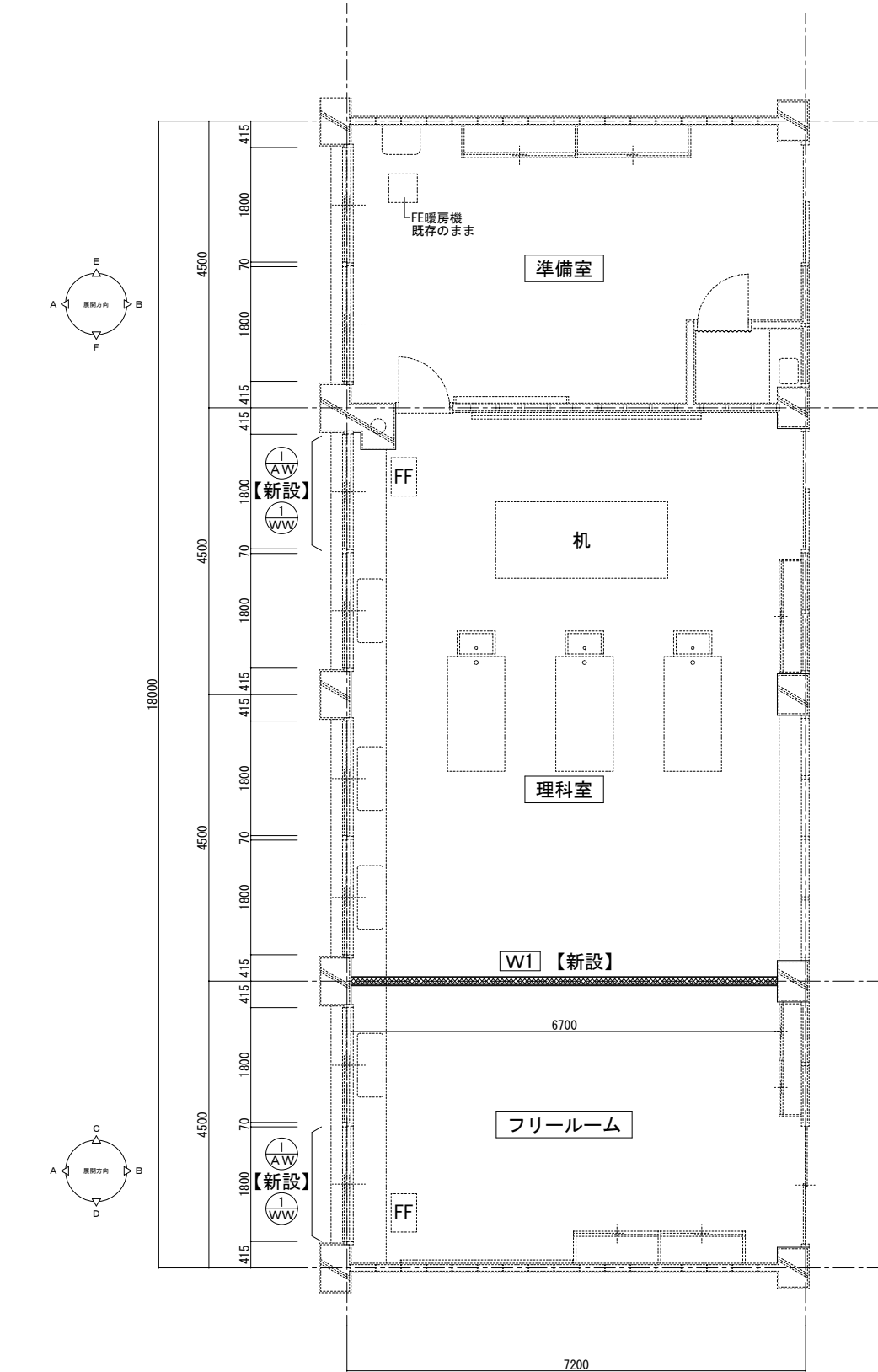
: 黑板用下地材 100x100xL=2500 【新設】



 株 式 会 社 岡 田 設 計	管理建築士	代表となる設計者	その他設計者	法適合設計者(確認者)		検図	担当	TITLE	DRAWING NAME	DRAWING NO.
	一級建築士 第314057号 岡田 幸生	一級建築士 第314057号 岡田 幸生	一級建築士	構造一級建築士 第 号	設備一級建築士 第 号			中頓別町立中学校改修工事	I 項目 改修後 2階普通教室 平面詳細図・展開図	A-025
									設計図	DRAWING DATE. 2024. 07.
									SCALE 1/30 1/50 (A3 1/60 1/100)	BUSINESS NO.



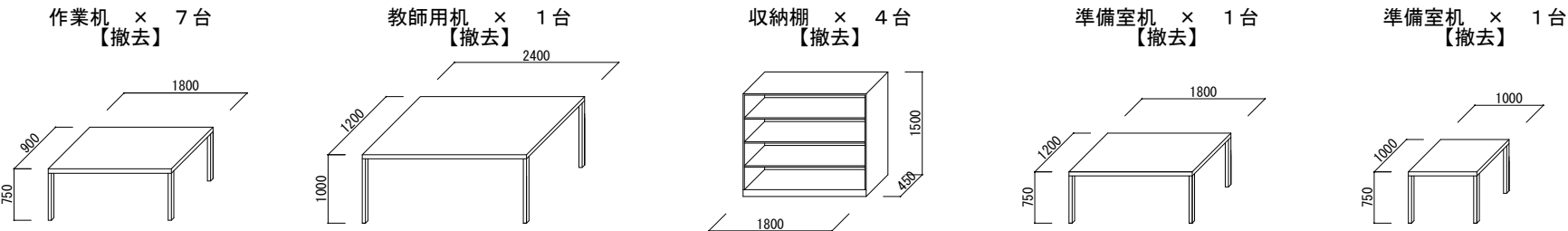
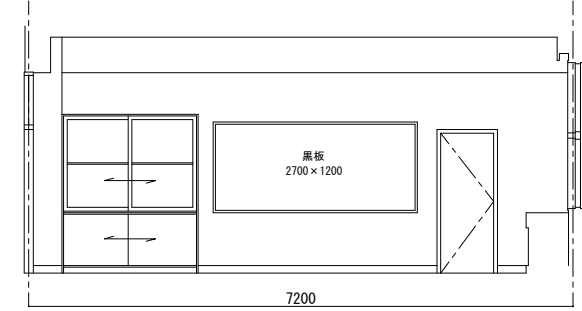
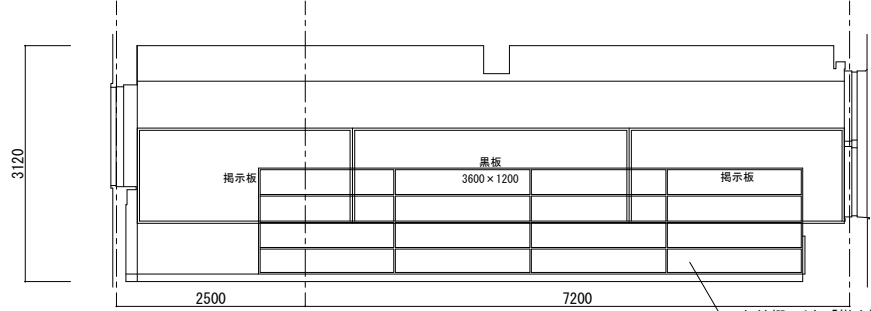
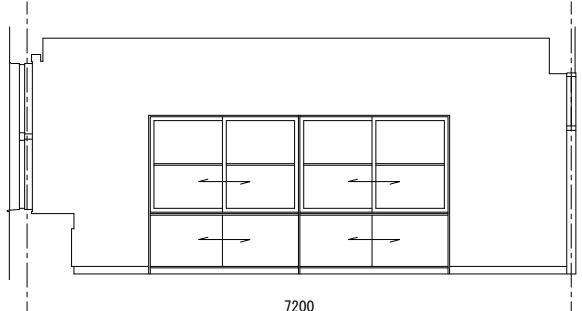
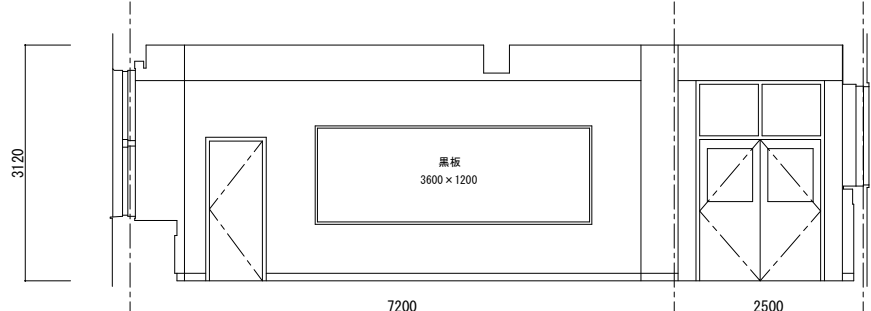
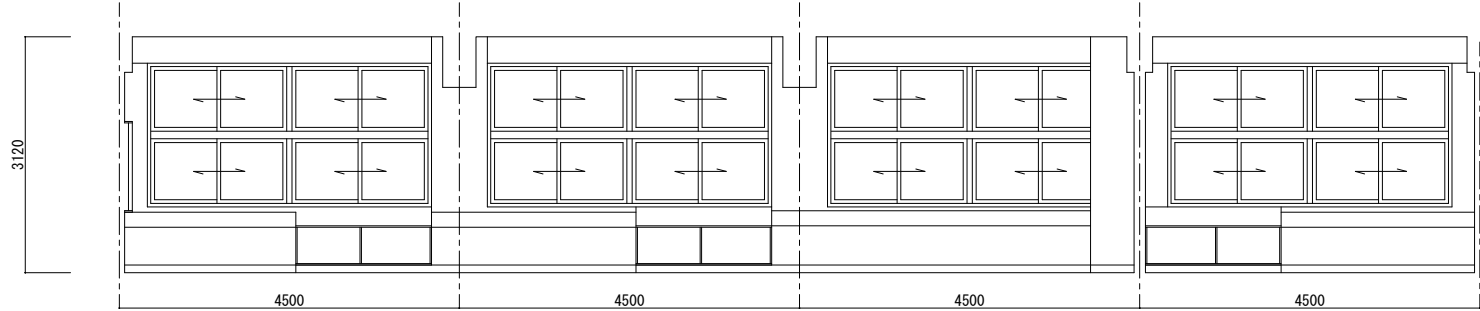
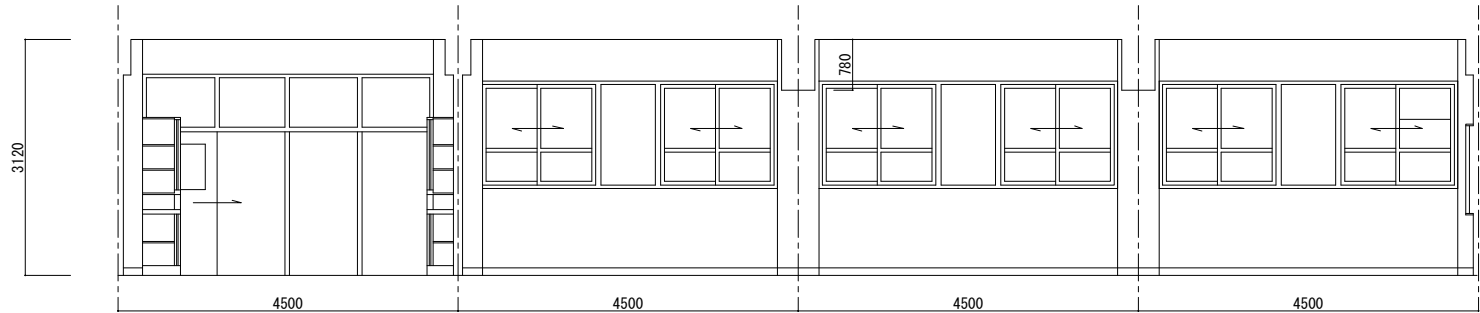
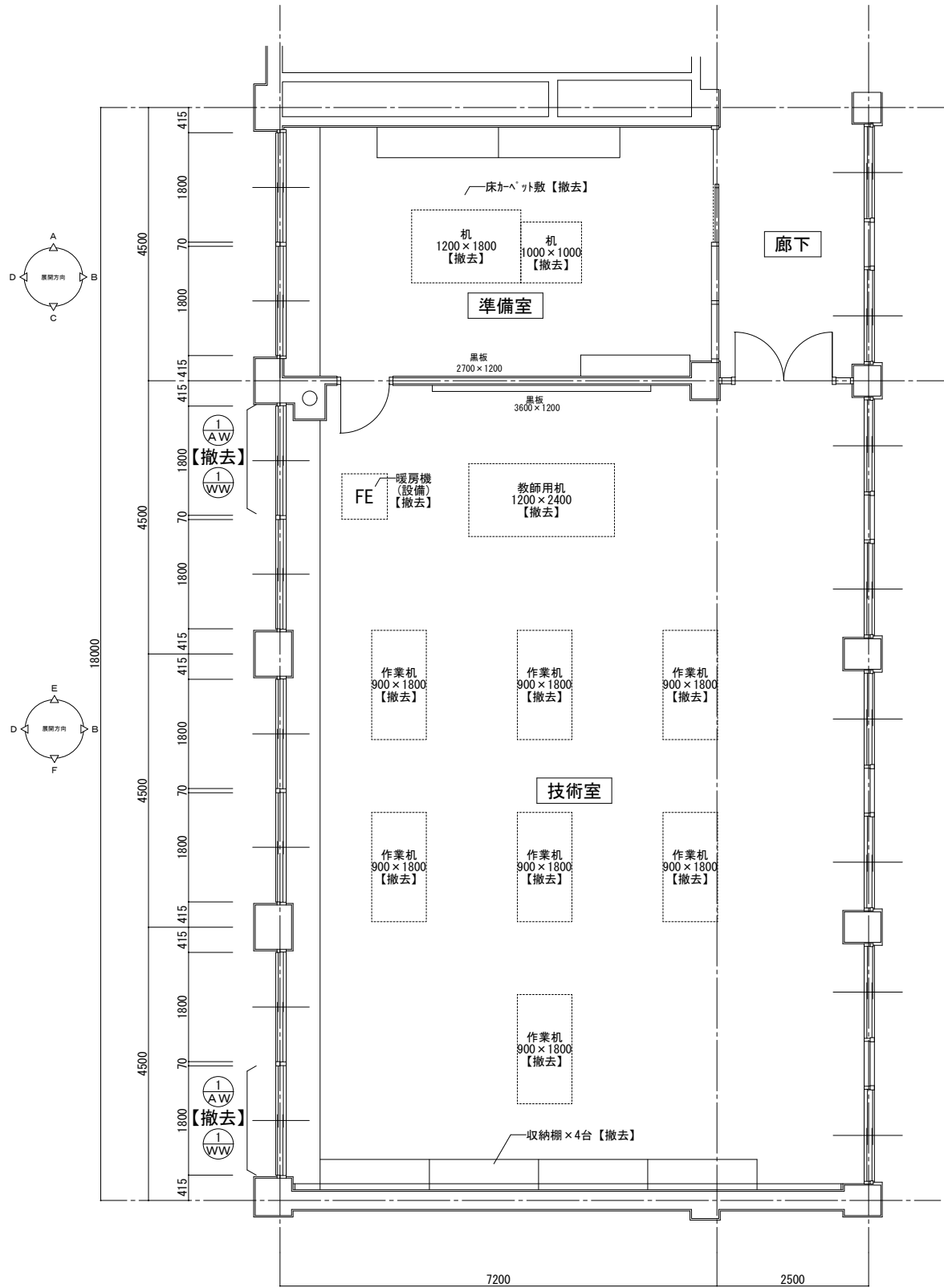
改修前	床	巾木	塗装	壁	塗装	柱型	塗装	梁型 (小梁)	塗装	天井	塗装	天井高	備考
理科室	ビニル床シート t 2.0	木製巾木 H=100		シタニ 6.0	VP	モルタル金ゴ	VP	モルタル金ゴ	VP	リノリウム吹付	-	3120	実験机 3台【撤去】 FE暖房機 1台(設備)【撤去】 R項目図参照
準備室	ビニル床シート t 2.0	木製巾木 H=100		シタニ 6.0	VP	モルタル金ゴ	VP	モルタル金ゴ	VP	リノリウム吹付	-	3120	AW一部【撤去】 R項目図参照



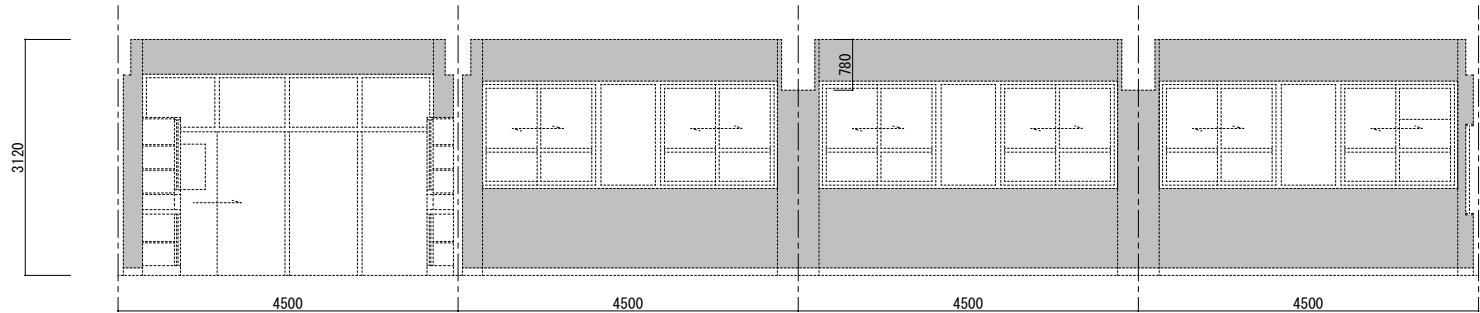
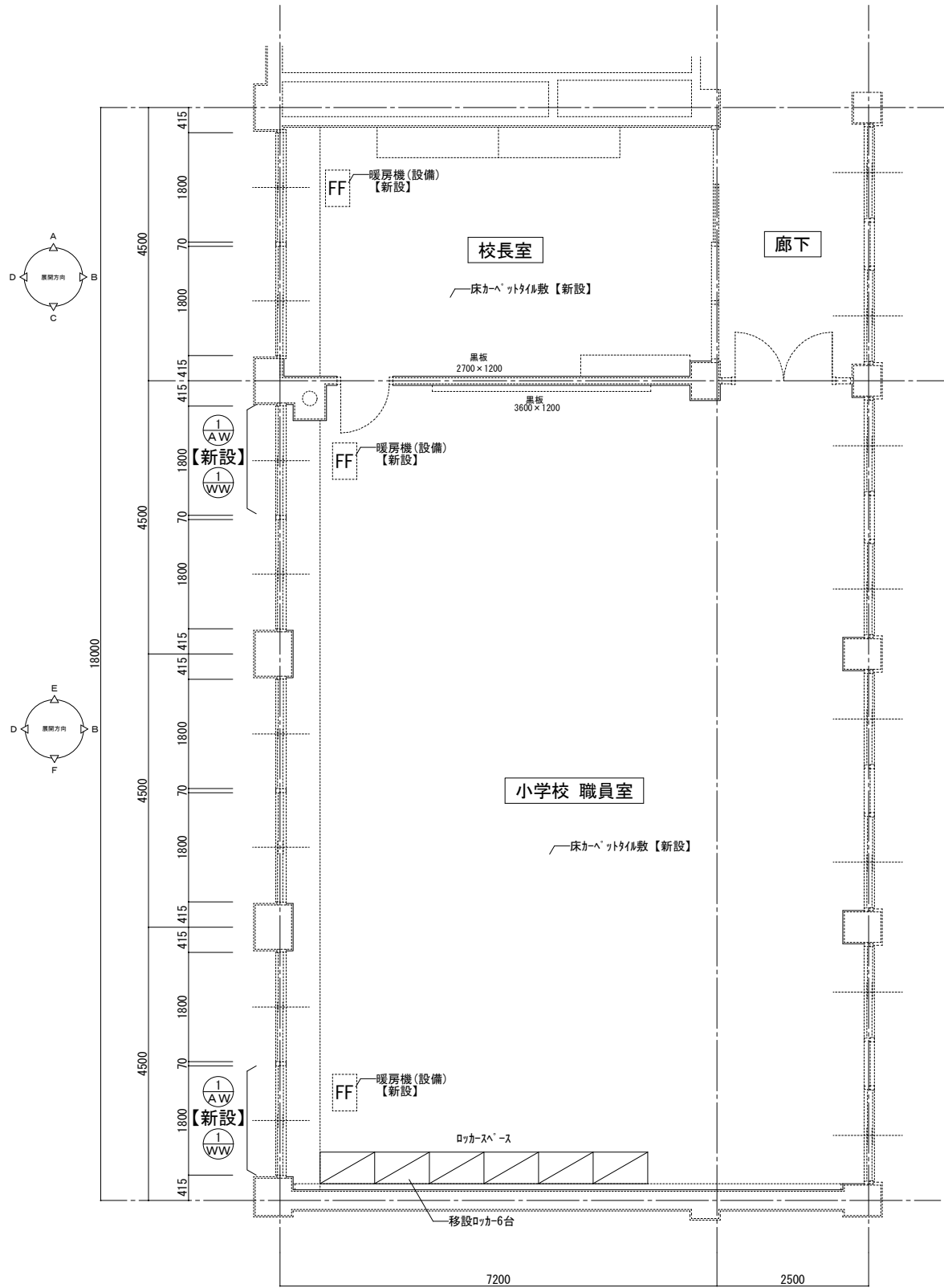
W1 : LGS100型 両面石膏ボードt9.5+t12.5 GWt100充填【新設】

：ガオン系シーラー塗の上 EP-G【新設】

改修後	床	巾木	塗装	壁	塗装	柱型	塗装	梁型 (小梁)	塗装	天井	塗装	天井高	備考
理科室	既存のまま	既存のまま		既存のまま		ガオン系シーラー塗	EP-G	ガオン系シーラー塗	EP-G	既存のまま	-	3120	F F 暖房機 1 台 (設備)【新設】 R 項目図参照
準備室				間仕切壁 W1【新設】	EP-G								什器類は既存のまま AW-1、WW-1は R 項目図参照
フリールーム	既存のまま	ビニル巾木 H=100		既存のまま		既存のまま		既存のまま		既存のまま	-	3120	F F 暖房機 1 台 (設備)【新設】 R 項目図参照
				間仕切壁 W1【新設】	EP-G								



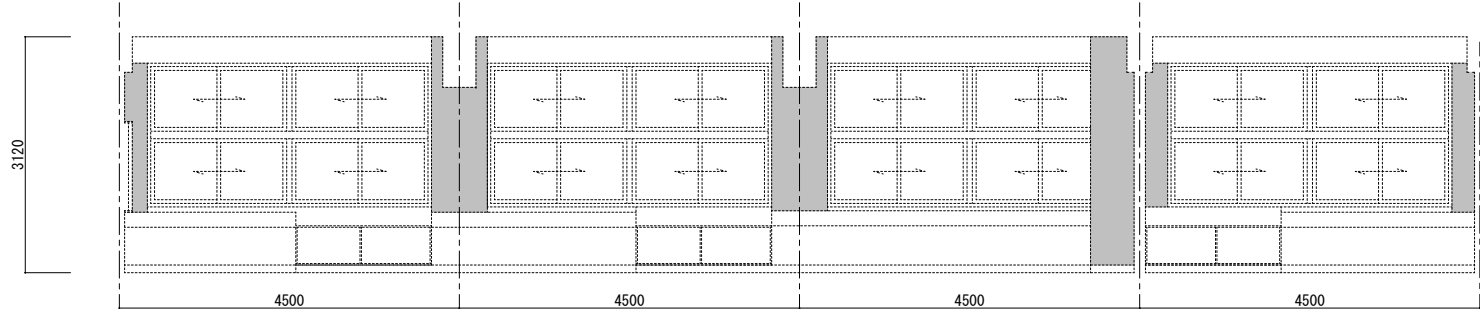
改修前	床	巾木	塗装	壁	塗装	柱型	塗装	梁型 (小梁)	塗装	天井	塗装	天井高	備考
技術室	カーペット仕上	木製巾木 H=100		珪藻土塗り	VP	珪藻土塗り	VP	珪藻土塗り	VP	リノリウム吹付	-	3120	作業机 7台【撤去】 教師机 1台【撤去】
準備室	床カーペット敷【撤去】	木製巾木 H=100		ビニルクロス貼り		珪藻土塗り	VP	珪藻土塗り	VP	リノリウム吹付	-	3120	AW、WW及びF E暖房機 1台 (設備) 【撤去】 R項目図参照
													準備机 2台【撤去】
													AW、WW及びF E暖房機 1台 (設備) 【撤去】 R項目図参照



校長室

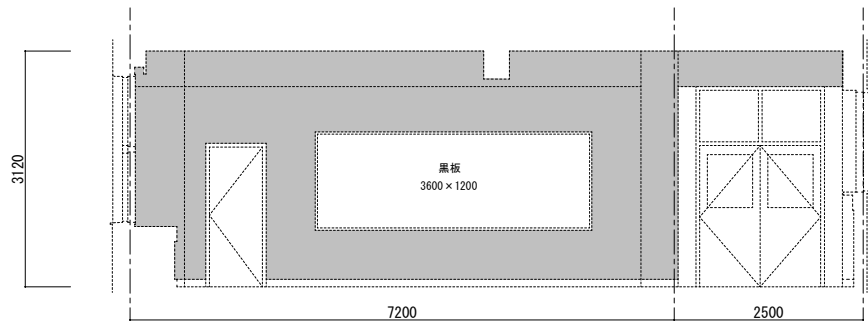
B面展開図 S= 1 / 50

職員室



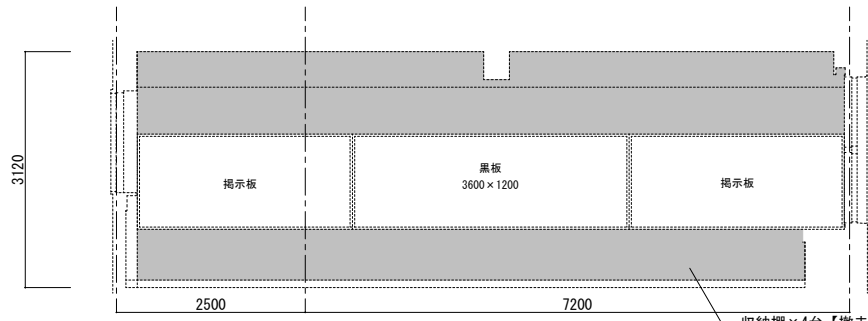
職員室

D面展開図 S= 1 / 50



職員室

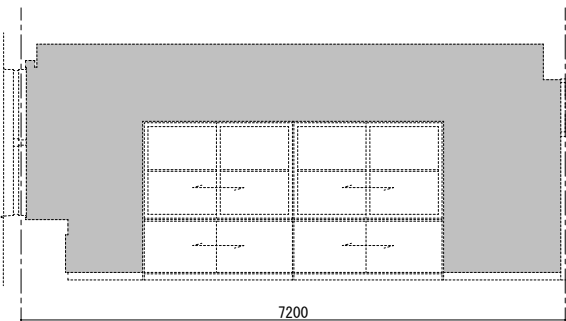
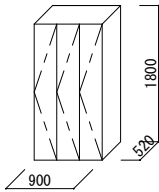
E面展開図 S= 1 / 50



職員室

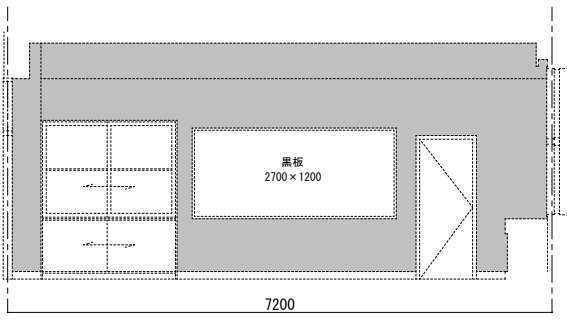
F面展開図 S= 1 / 50

移設ロッカー × 6台



校長室

A面展開図 S= 1 / 50

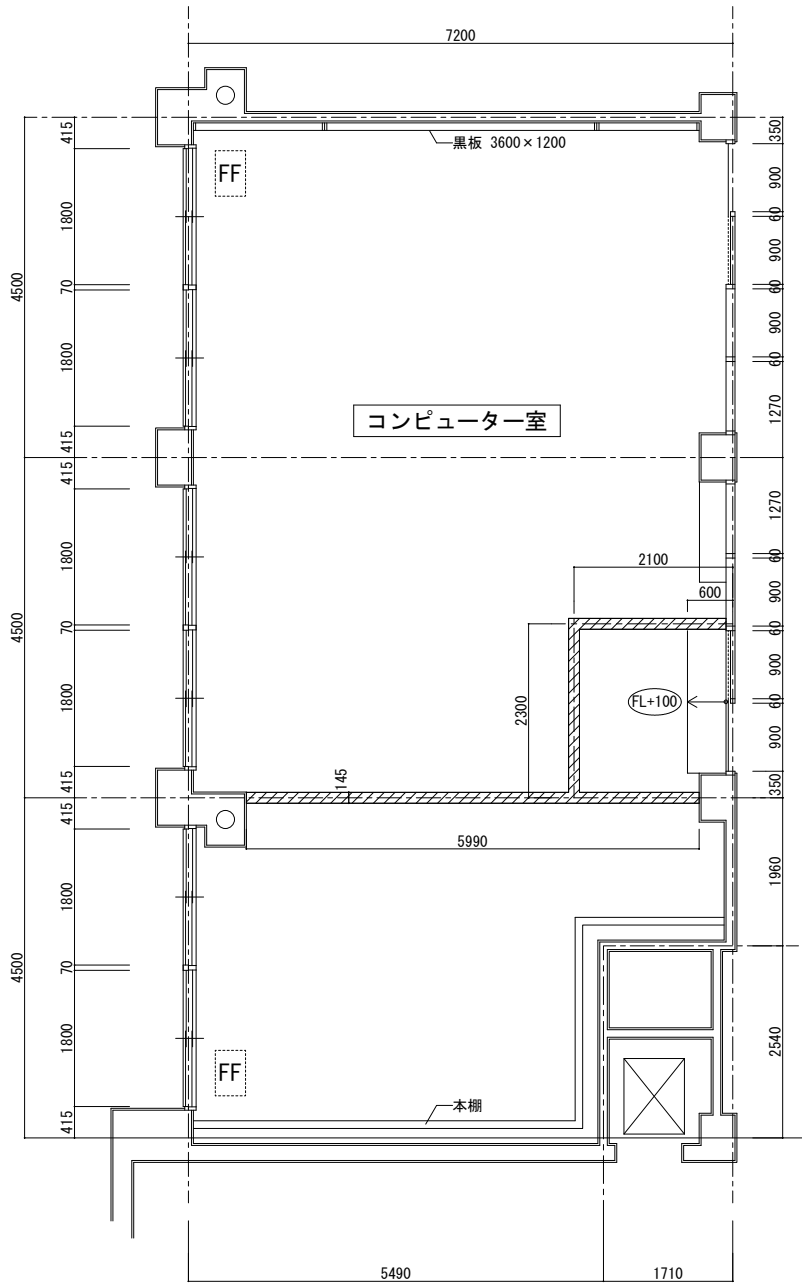


校長室

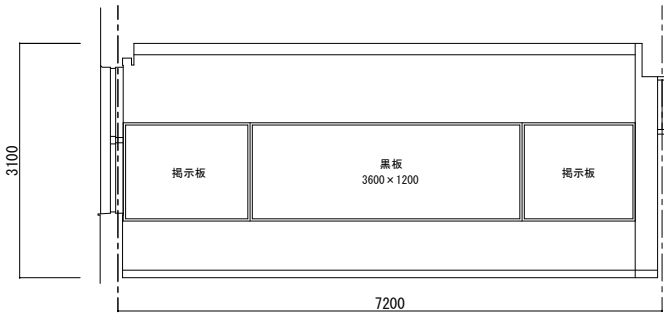
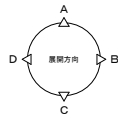
C面展開図 S= 1 / 50

：ガオン系シーラー塗の上 EP-G【新設】

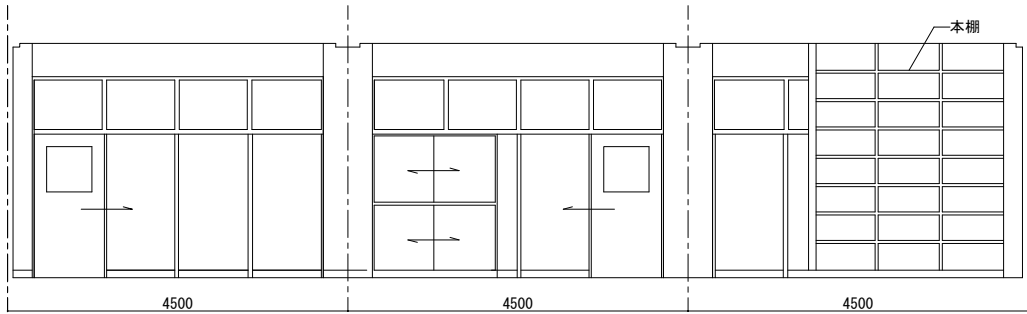
改修後	床	巾木	塗装	壁	塗装	柱型	塗装	梁型（小梁）	塗装	天井	塗装	天井高	備考
職員室	カーペットタイル敷【新設】	既存のまま		ガオン系シーラー塗	EP-G	ガオン系シーラー塗	EP-G	ガオン系シーラー塗	EP-G	既存のまま	-	3120	F F 暖房機 2 台（設備）【新設】 R 項目図参照 ロッカー（小学校から） 6 台移設 AW-1、WW-1は R 項目図参照
校長室	カーペットタイル敷【新設】	既存のまま		ガオン系シーラー塗	EP-G	ガオン系シーラー塗	EP-G	ガオン系シーラー塗	EP-G	既存のまま	-	3120	F F 暖房機 1 台（設備）【新設】 R 項目図参照



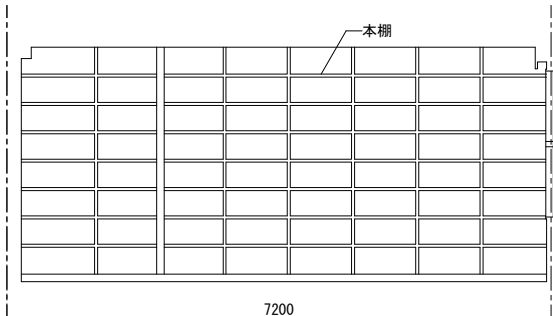
145 // タイル・ベア t6.0【撤去】



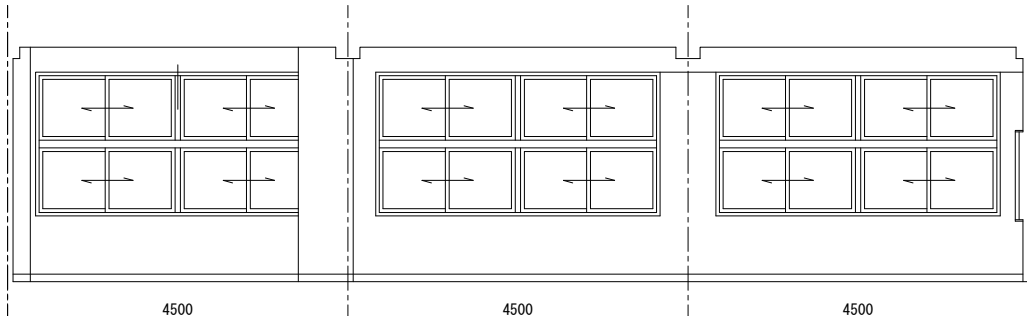
A面展開図 S= 1 / 50



B面展開図 S= 1 / 50

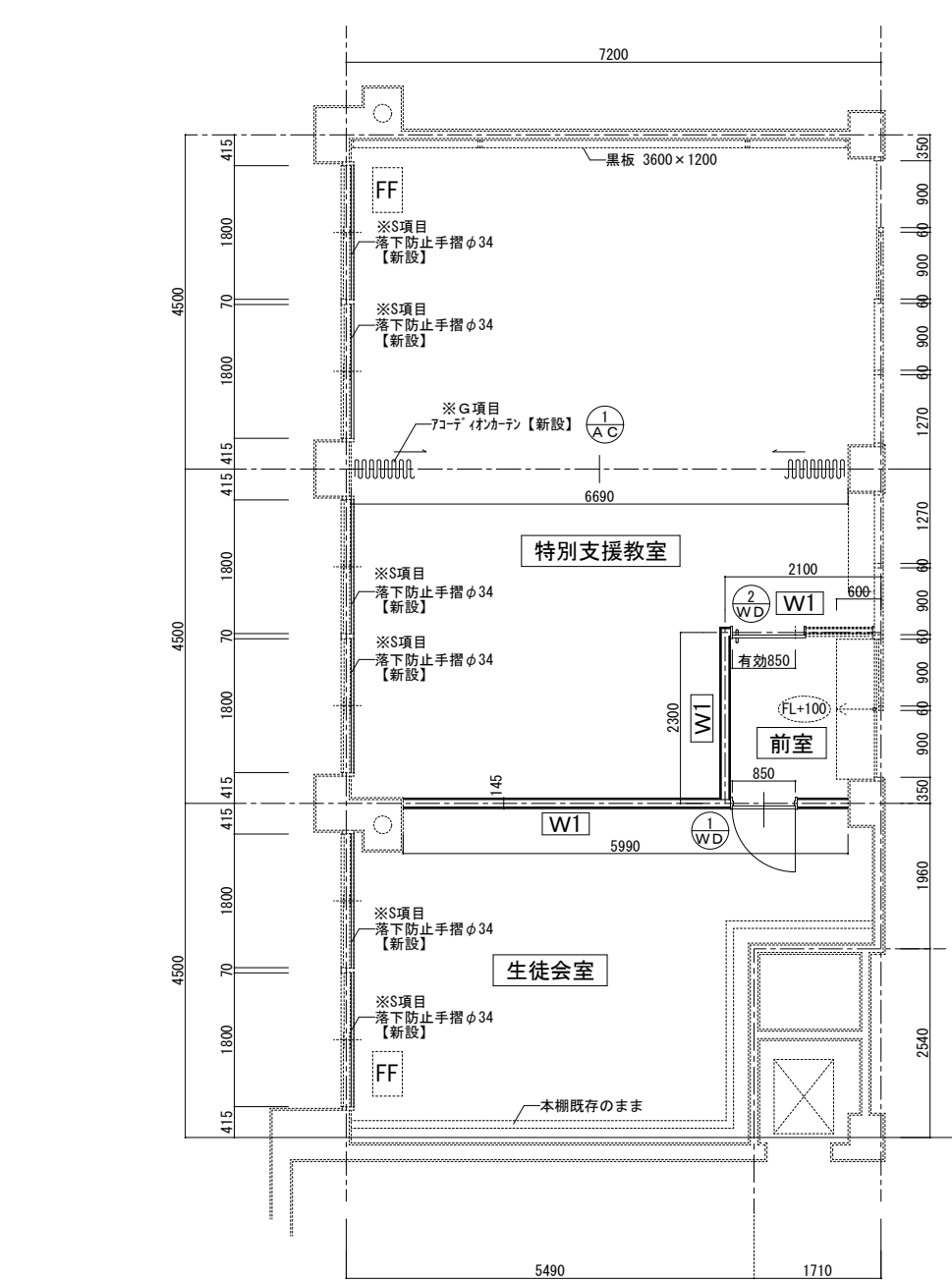


C面展開図 S= 1 / 50

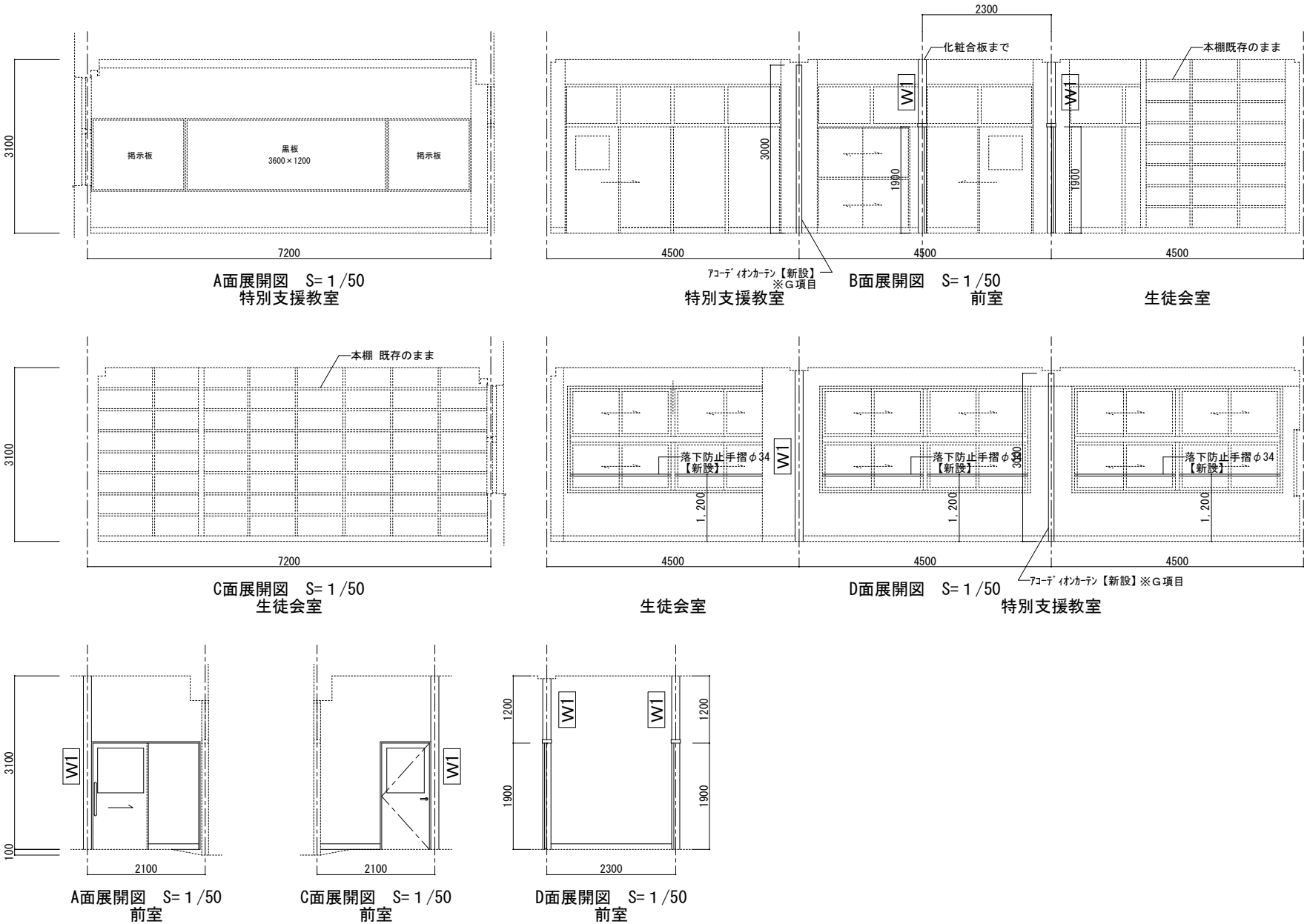


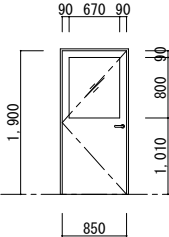
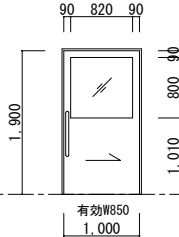
D面展開図 S= 1 / 50

改修前	床	巾木	塗装	壁	塗装	柱型	塗装	梁型（小梁）	塗装	天井	塗装	天井高	備考
コンピューター室	OAフロアH=100	木製巾木 H=100		モルタル金コ	VP	モルタル金コ	VP	モルタル金コ	VP	ジブトーン t 9.5	-	3100	
	タイル・ベア t6【一部撤去】			シタベニ7 t 6.0	VP								



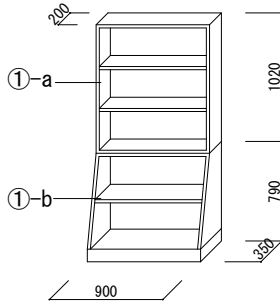
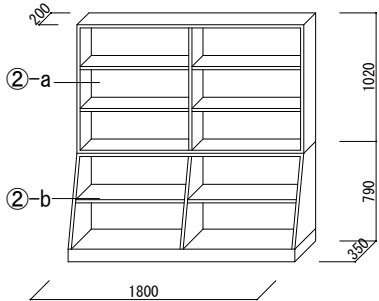
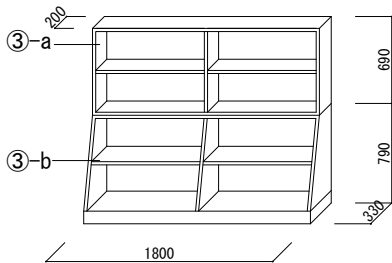
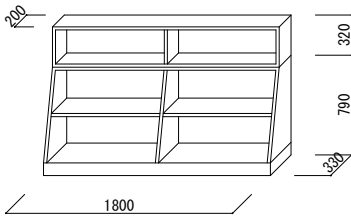
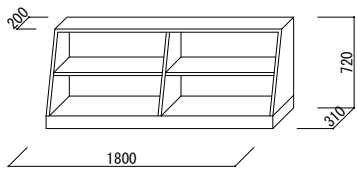
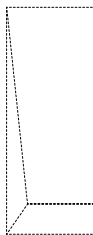
W1 : LGS100型 両面石膏ボードt9.5+t12.5 GW t100充填【新設】

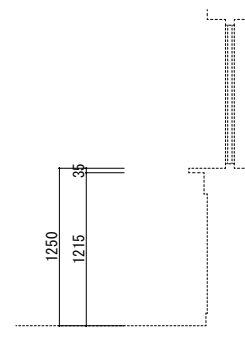


名称・数量	① WD	片開きドア	1	② WD	片引き戸	1
立面						
仕上・見込	ガラス化粧合板			ガラス化粧合板		
ガラス	FL5			FL5		
附属金物	丁番、インボンドル、戸当り、付属金物一式			ハンガー金物、引棒L=600、付属金物一式		
備考						

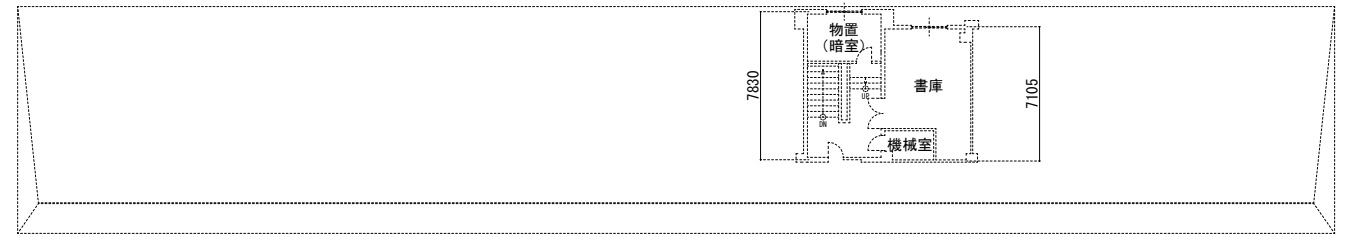
改修後	床	巾木	塗装	壁	塗装	柱型	塗装	梁型（小梁）	塗装	天井	塗装	天井高	備考
特別支援教室	既存のまま	既存のまま		既存のまま		既存のまま		既存のまま		既存のまま	-	3100	フューデーション【新設】 G項目参照 落下防止手摺 SUSφ34【新設】 S項目図参照
				既存のまま									
生徒会室	既存のまま	既存のまま		既存のまま		既存のまま		既存のまま		既存のまま		3100	間仕切壁【新設】 落下防止手摺 SUSφ34【新設】 S項目図参照
		ビニル巾木 H=60【新設壁】		ビニルクロス【新設壁】									
前室	既存のまま	既存のまま		既存のまま		既存のまま		既存のまま		既存のまま		3100	間仕切壁【新設】
		ビニル巾木 H=60【新設壁】		ビニルクロス【新設壁】									

移設家具

①-a、①-b 3台 	②-a、②-b 2台 	③-a、③-b 1台 
④ 2台 	⑧ 1台 	



■廊下窓断面図

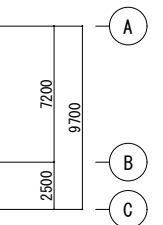
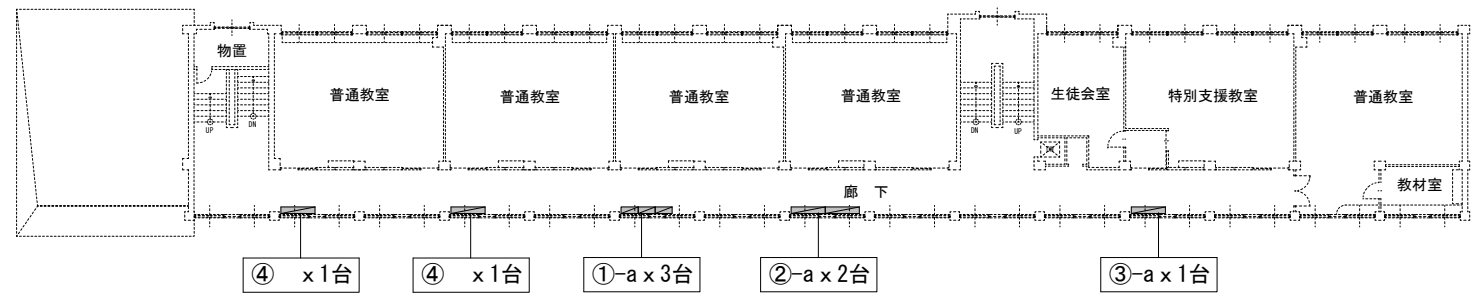


A

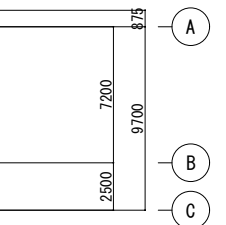
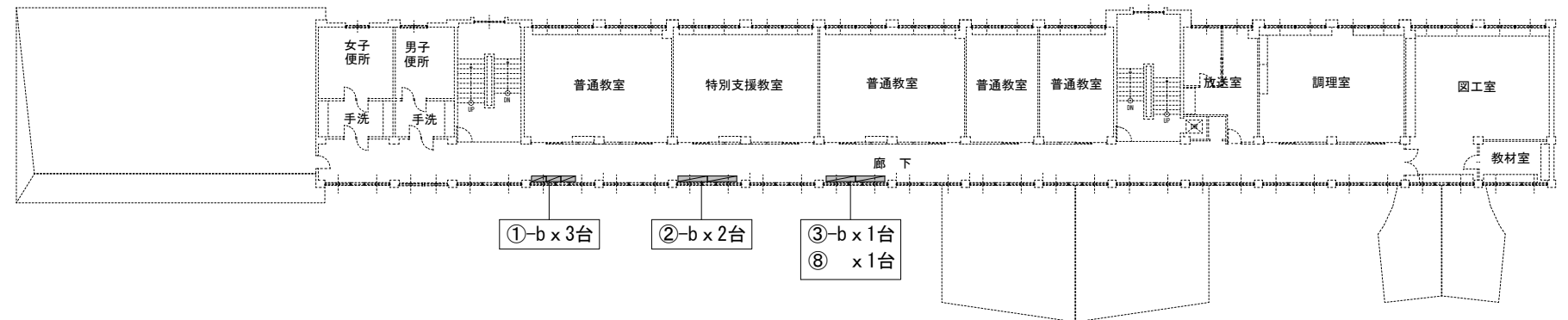
B

C

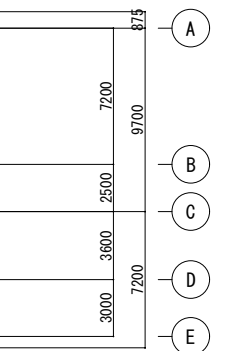
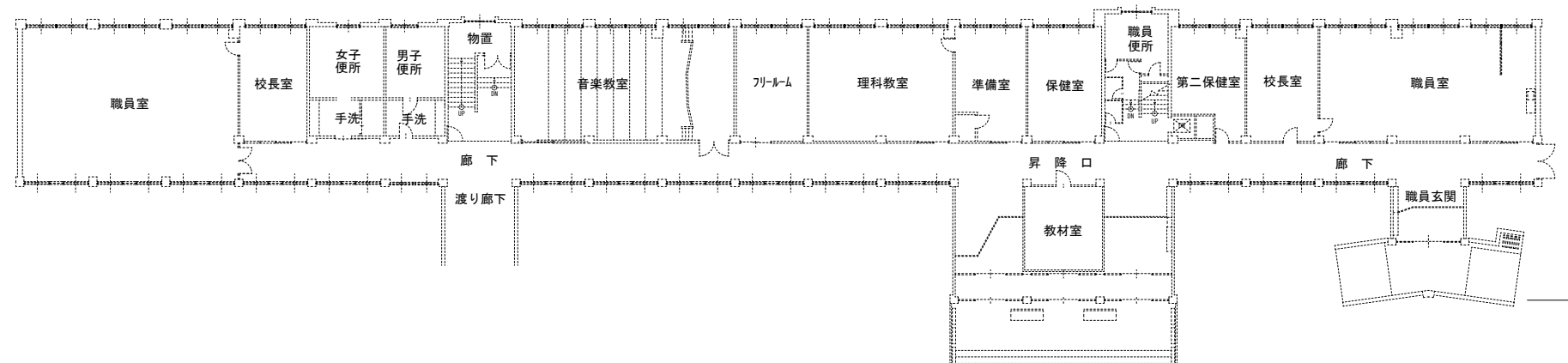
H階平面図



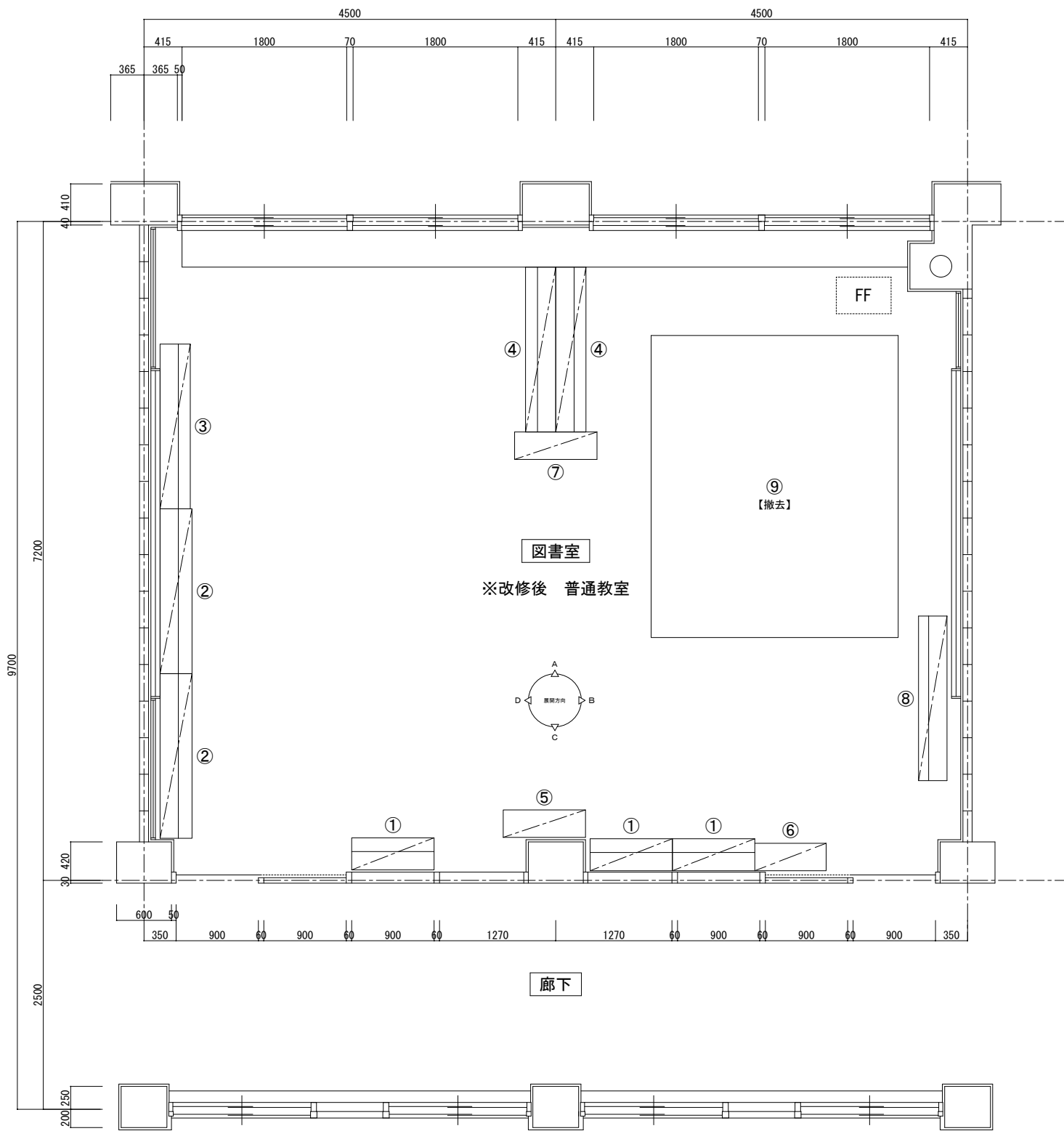
3 階平面図



2 階平面図



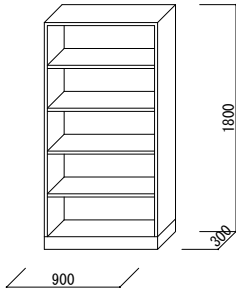
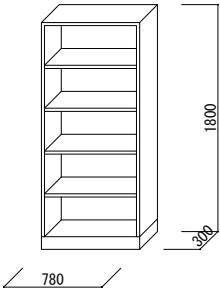
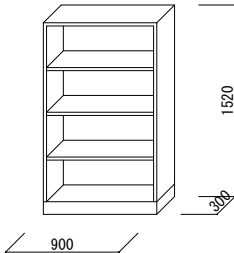
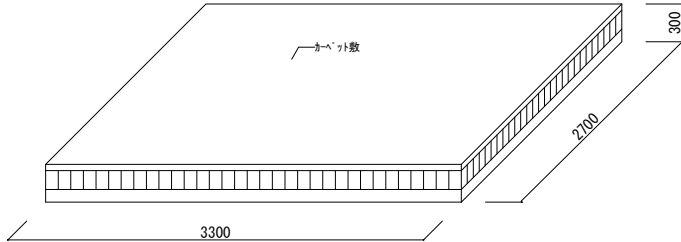
階平面図

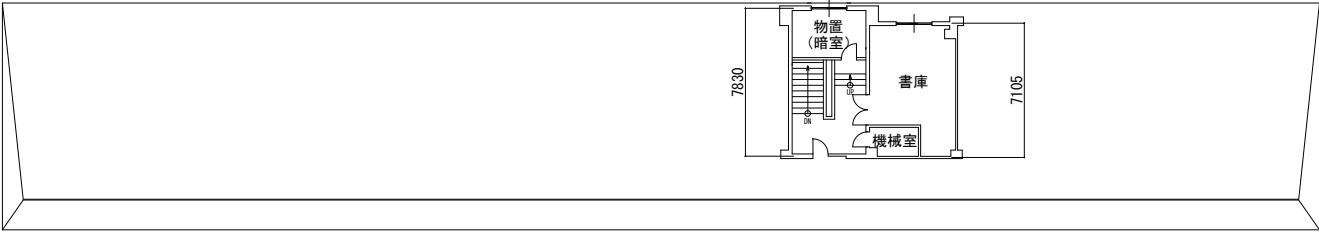
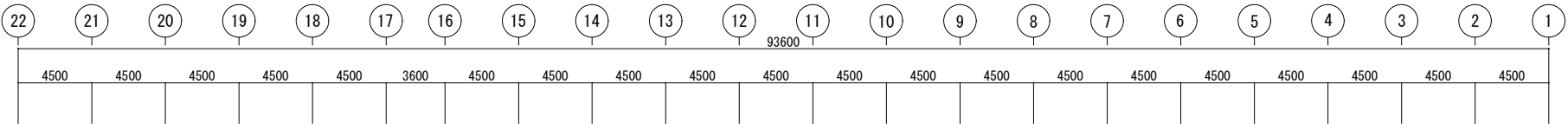


移設家具

①-a、①-b	3台	②-a、②-b	2台	③-a、③-b	1台
④	2台	⑧	1台		

撤去家具

⑤	1台	⑥	1台	⑦	1台
					
⑨	1台				
					



A

B

C

PH階平面図

■SUS フック取付

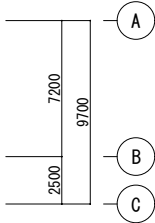
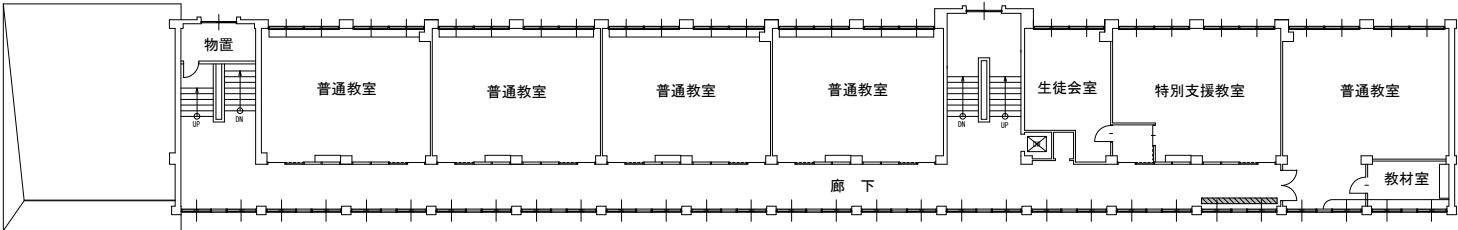


: 位置にSUSフック 15個/ヶ所 取付

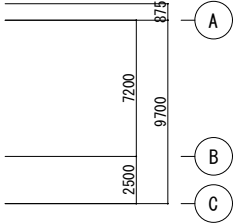
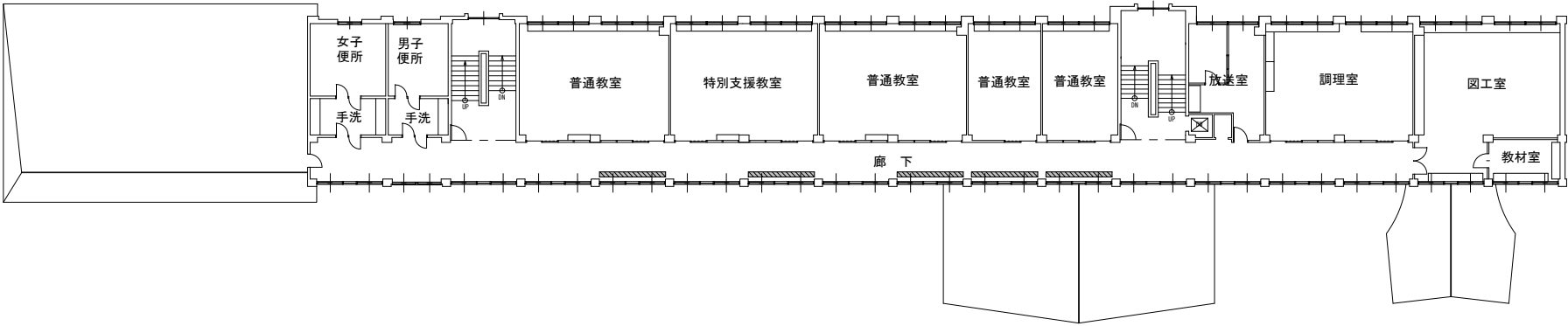


SUSフック

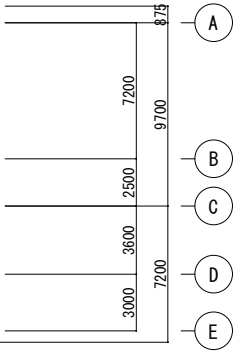
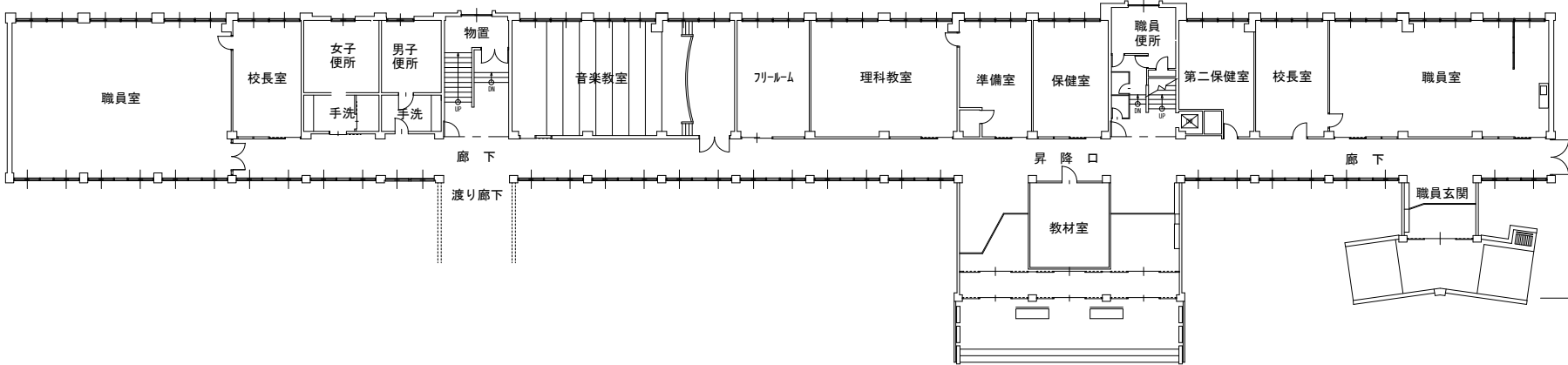
2 F : 5ヶ所 × 15 = 75
3 F : 1ヶ所 × 15 = 15
合計 90個



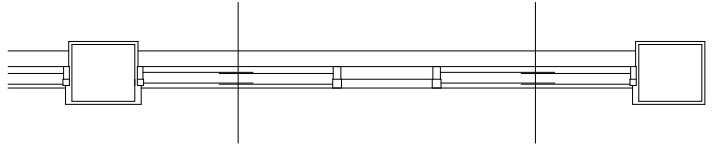
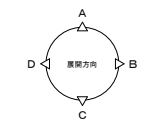
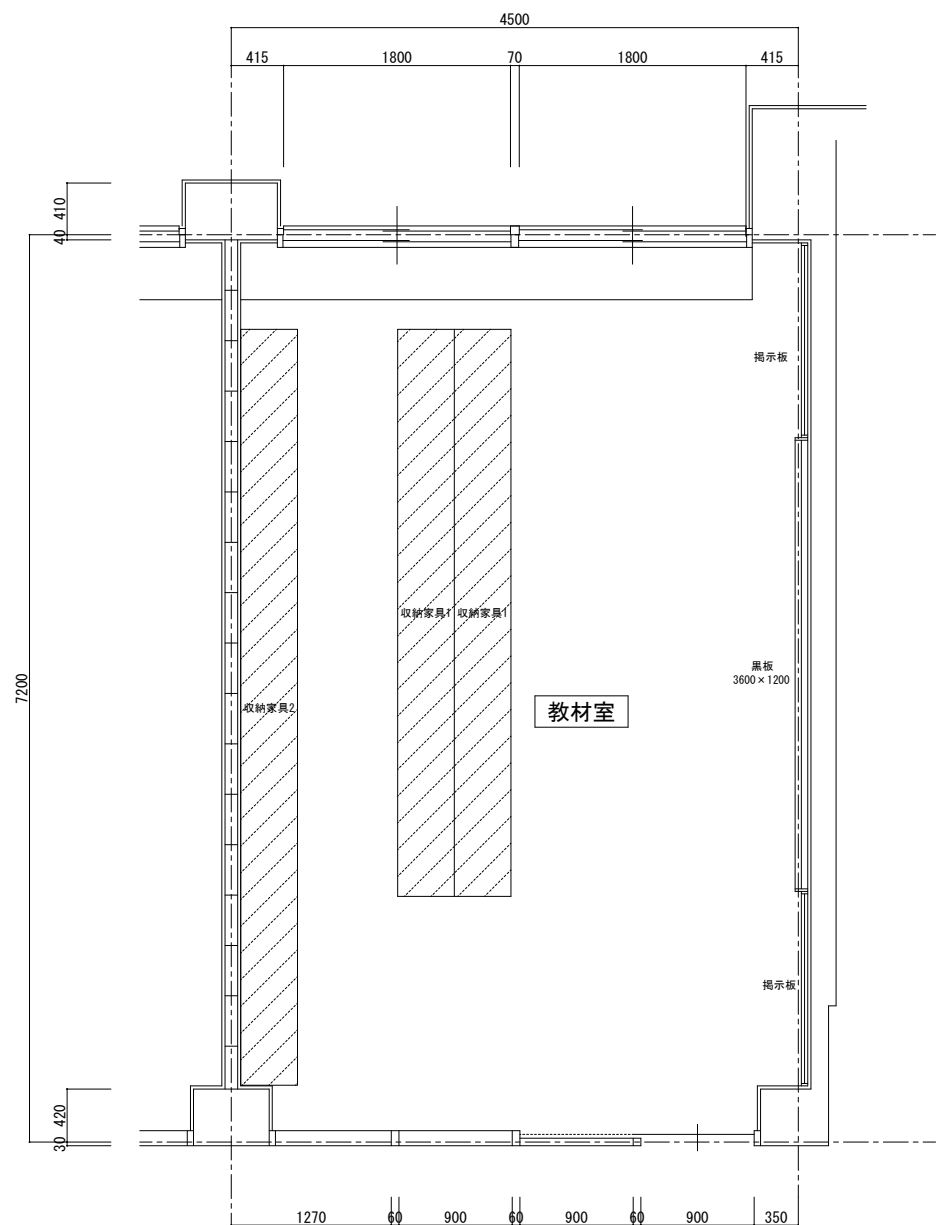
3 階平面図



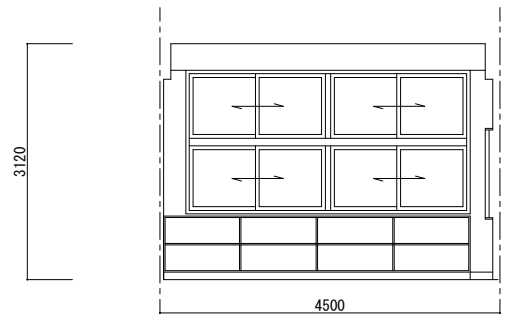
2 階平面図



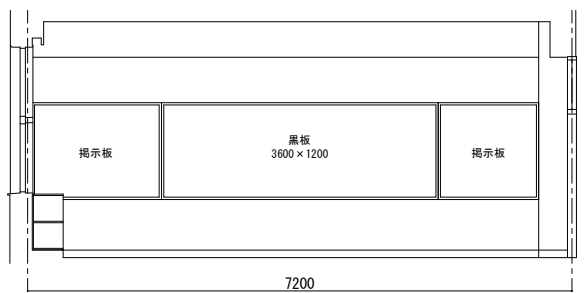
1 階平面図



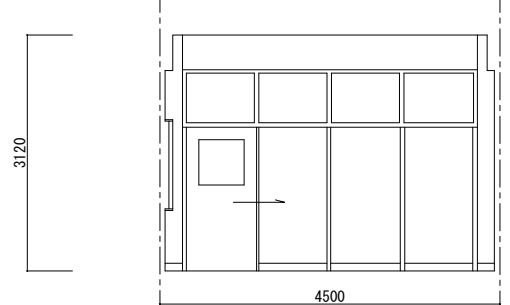
撤去を示す



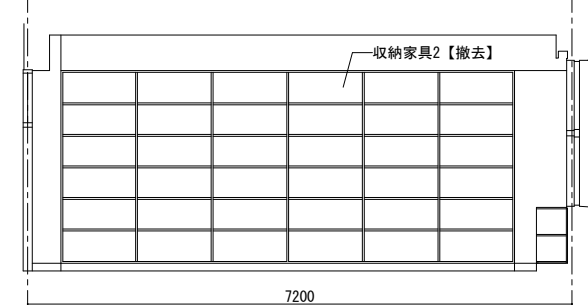
A面展開図 S= 1/50



B面展開図 S= 1/50



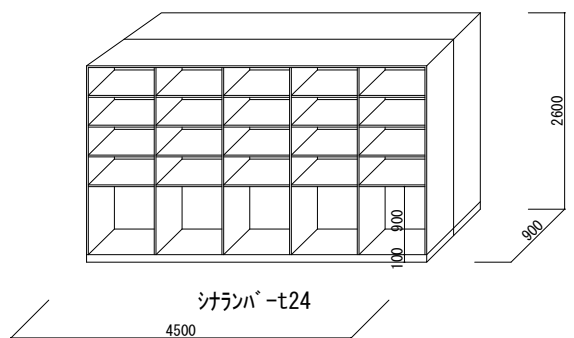
C面展開図 S= 1/50



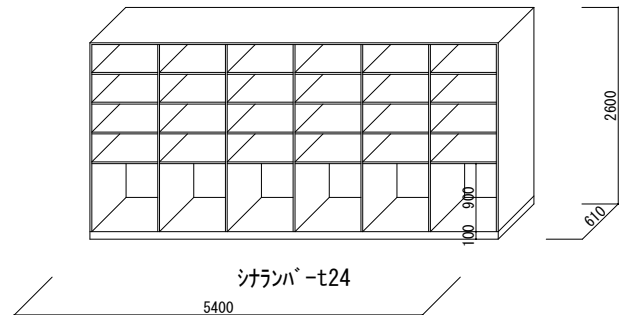
D面展開図 S= 1/50

収納家具1 × 1台 【撤去】

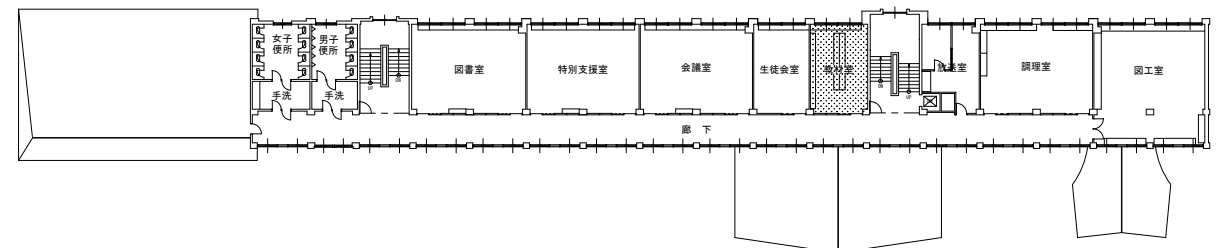
収納家具2 × 1台 【撤去】



シランパ t24



シランパ t24



2階平面図

改修前	床	巾木	塗装	壁	塗装	柱型	塗装	梁型 (小梁)	塗装	天井	塗装	天井高	備考
2階 教材室	ビニル床シート t2.0	木製巾木 H=100		シランパ t6.0	VP	モルタル金付	VP	モルタル金付	VP	ダライト吹付	-	3120	収納家具1、2 各1台【撤去】



株式会社 岡田 設計

管理建築士
一級建築士
第314057号 岡田 幸生

代表となる設計者
一級建築士
第314057号 岡田 幸生

その他設計者
一級建築士

法適合設計者(確認者)
構造一級建築士
第 号

設備一級建築士
第 号

検図

担当

TITLE

中頓別町立中学校改修工事

設計図

DRAWING NAME

〇項目

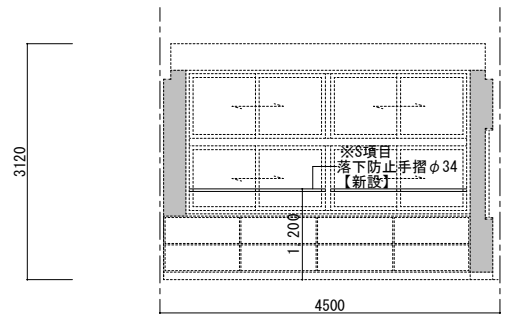
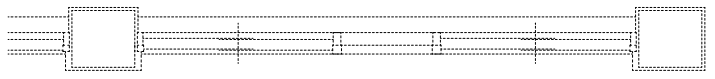
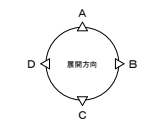
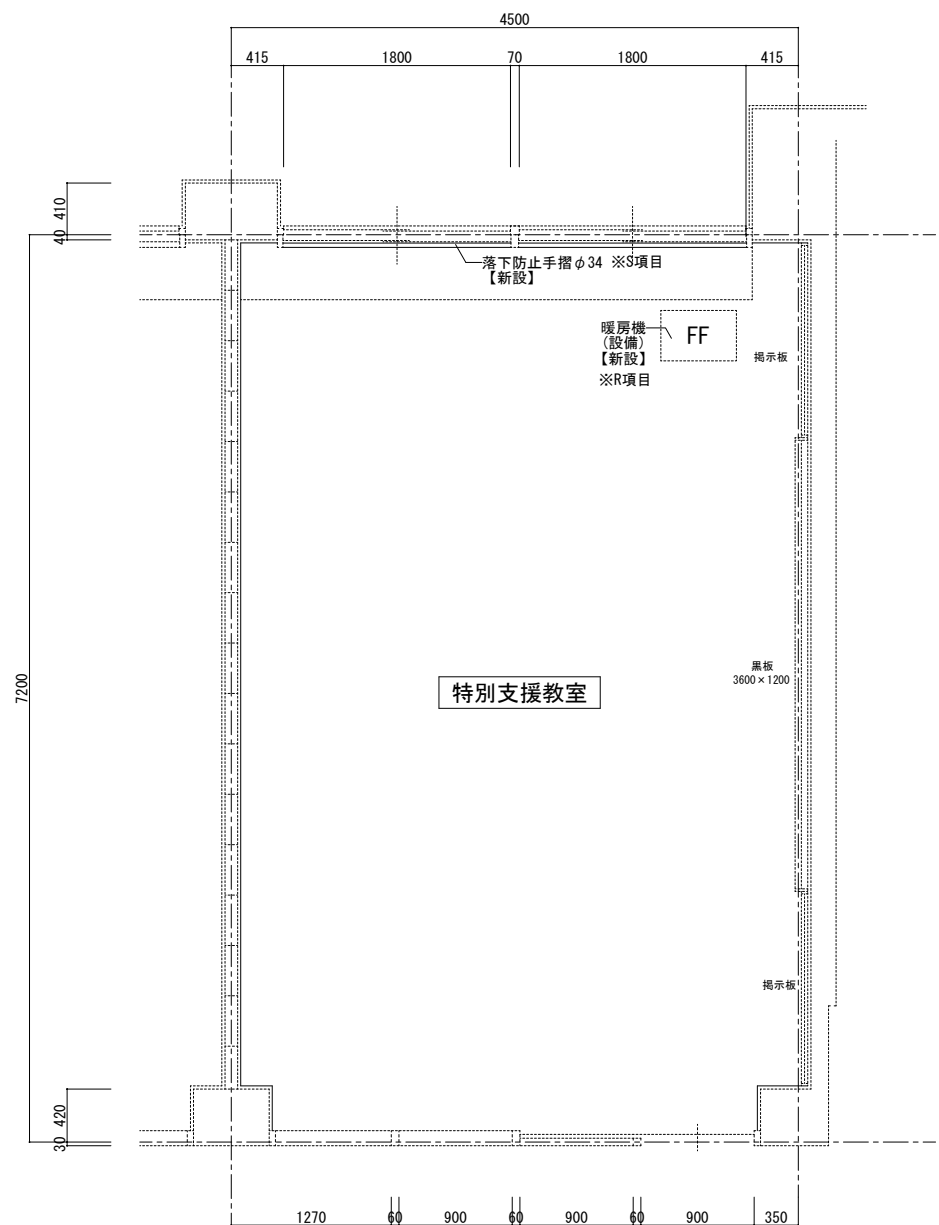
改修前 2階教材室 平面詳細図・展開図

SCALE 1/30 1/50(A3 1/60 1/100)

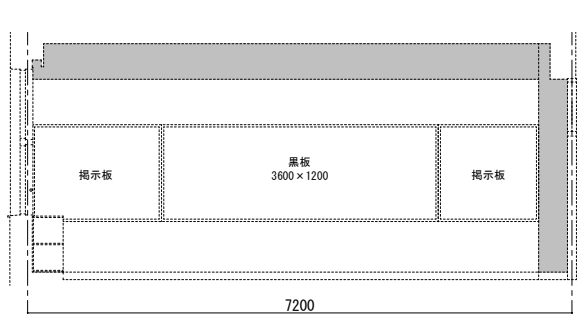
DRAWING NO. A-035

DRAWING DATE. 2024. 07.

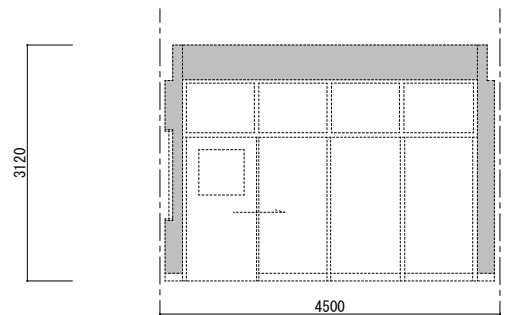
BUSINESS NO.



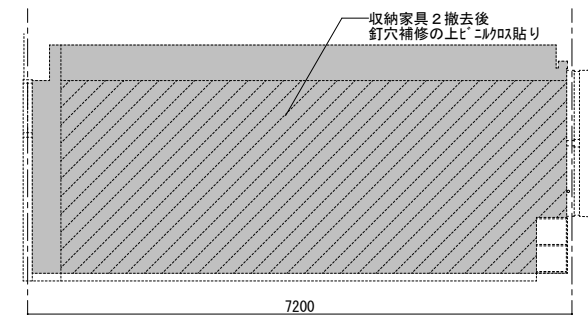
A面展開図 S= 1 /50



B面展開図 S= 1 /50



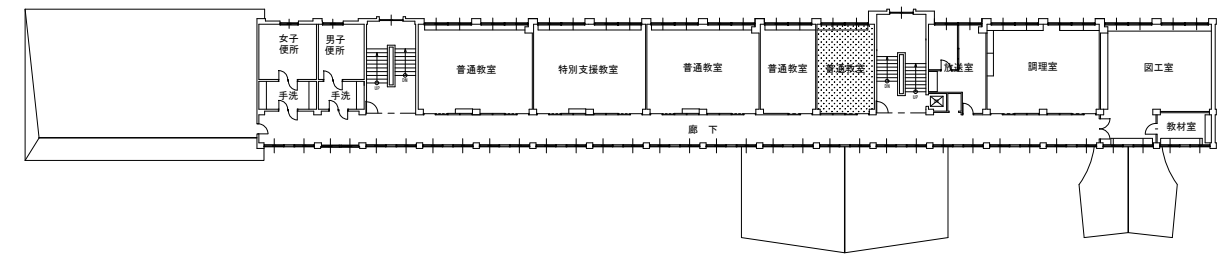
C面展開図 S= 1 /50



D面展開図 S= 1 /50

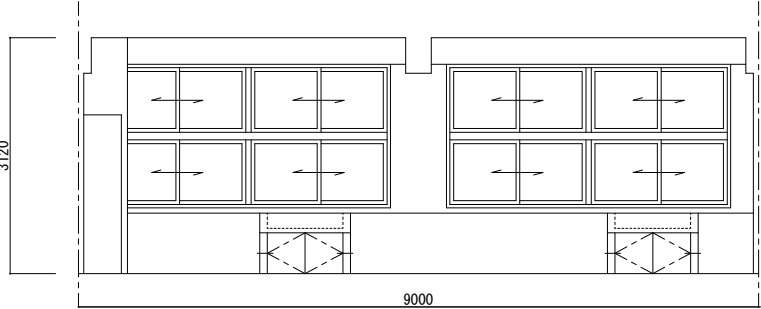
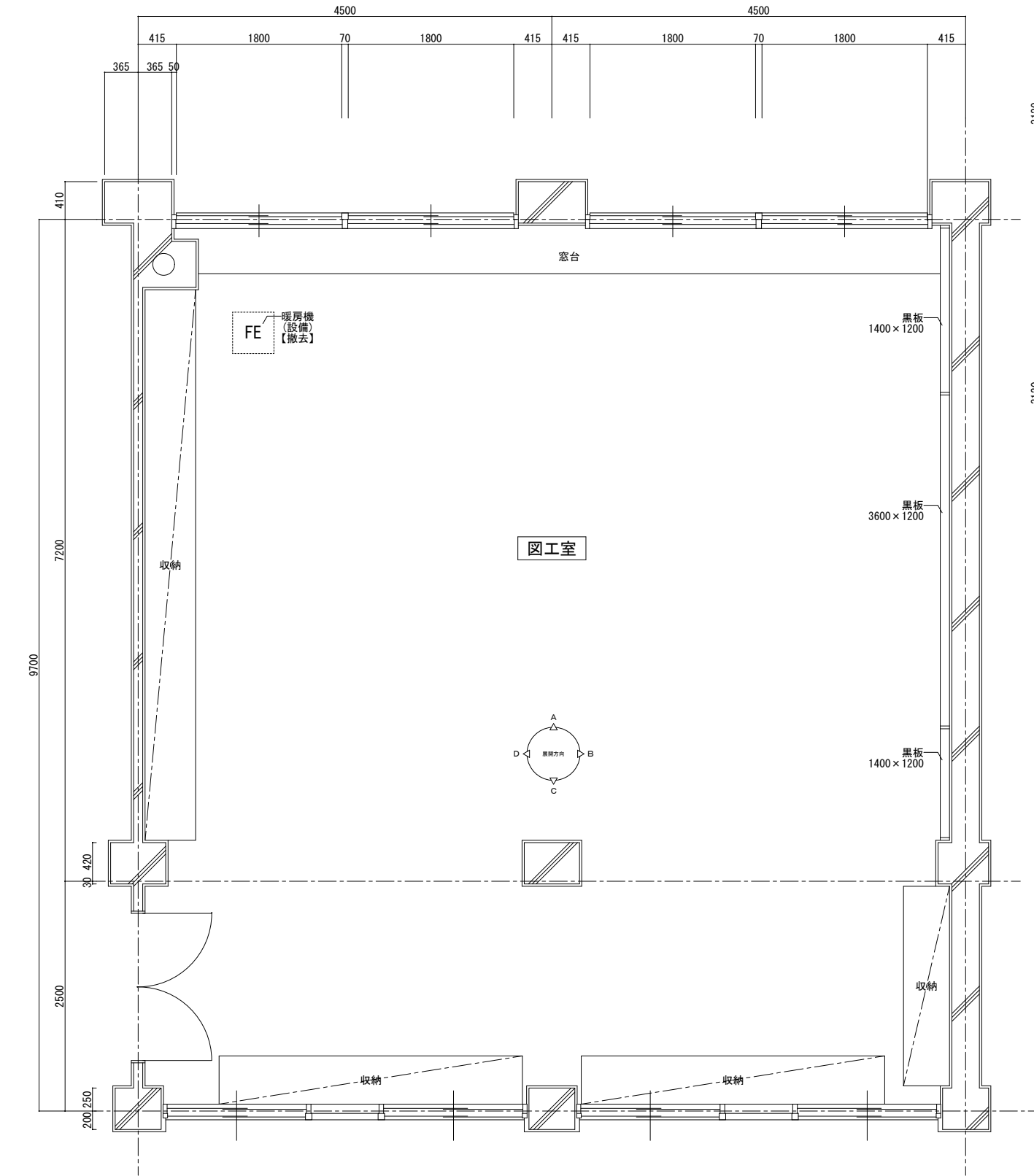
ガチン系シーラー塗の上 EP-G【新設】

ビニルクロス貼り

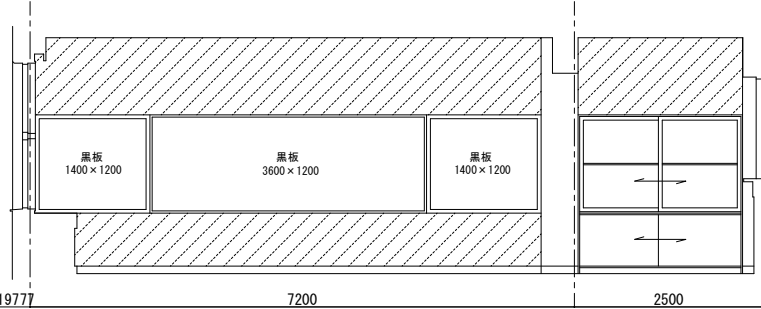


2階平面図

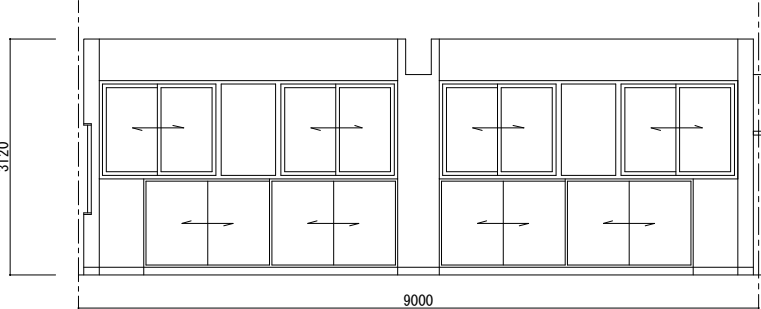
改修後	床	巾木	塗装	壁	塗装	柱型	塗装	梁型（小梁）	塗装	天井	塗装	天井高	備考
特別支援教室	既存のまま	既存のまま		既存のまま		ガチン系シーラー塗	EP-G	ガチン系シーラー塗	EP-G	既存のまま	-	3120	家具撤去後 一部 補修すること
				一部 ビニルクロス貼り【新設】									FF暖房機 1台（設備）【新設】 R項目図参照 落下防止手摺 SUSφ34【新設】 S項目図参照



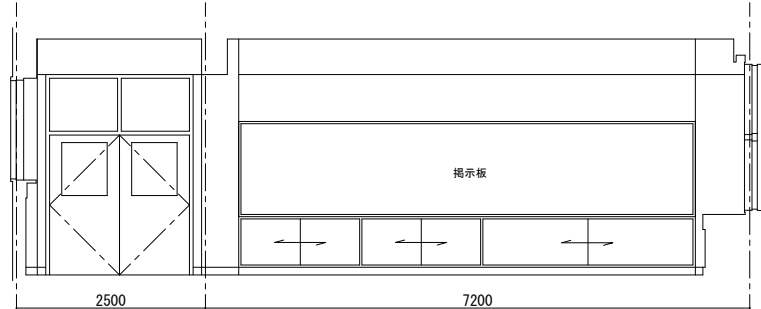
図工室 A面展開図 S= 1 /50



図工室 B面展開図 S= 1 /50



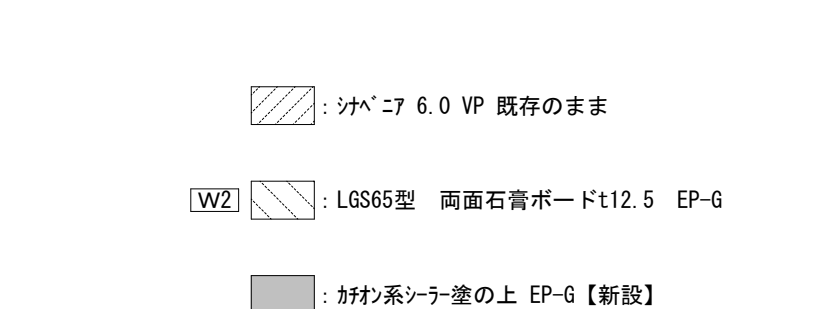
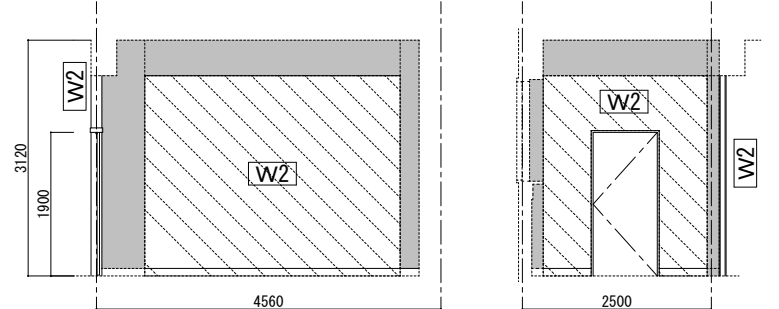
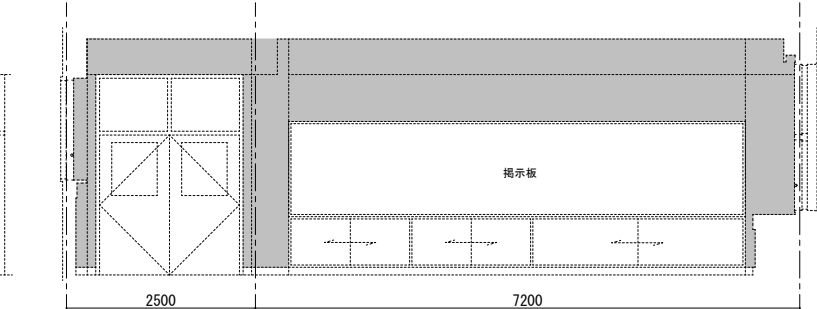
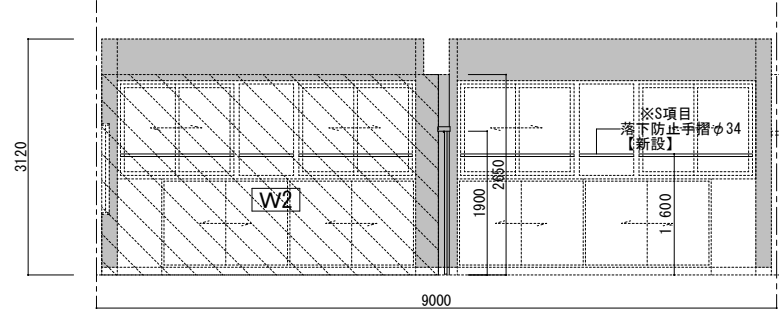
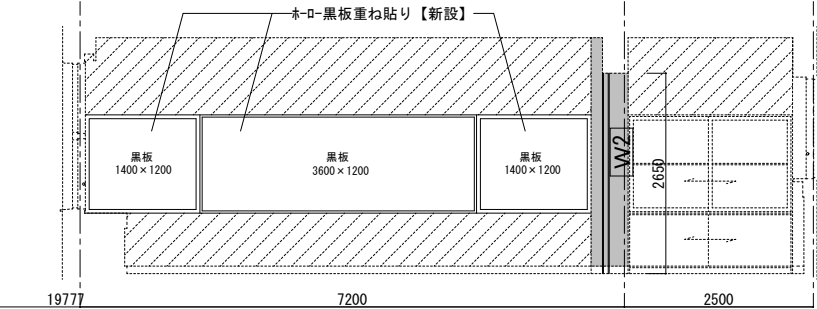
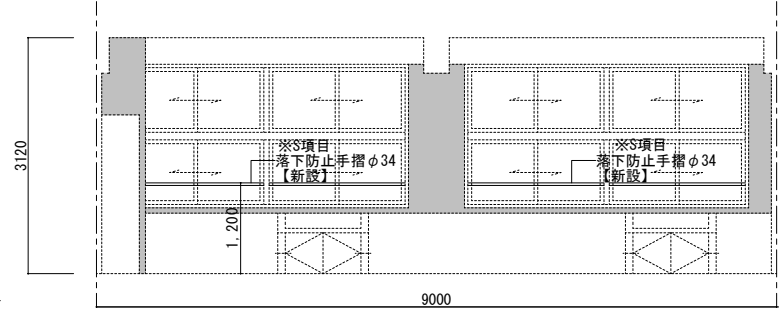
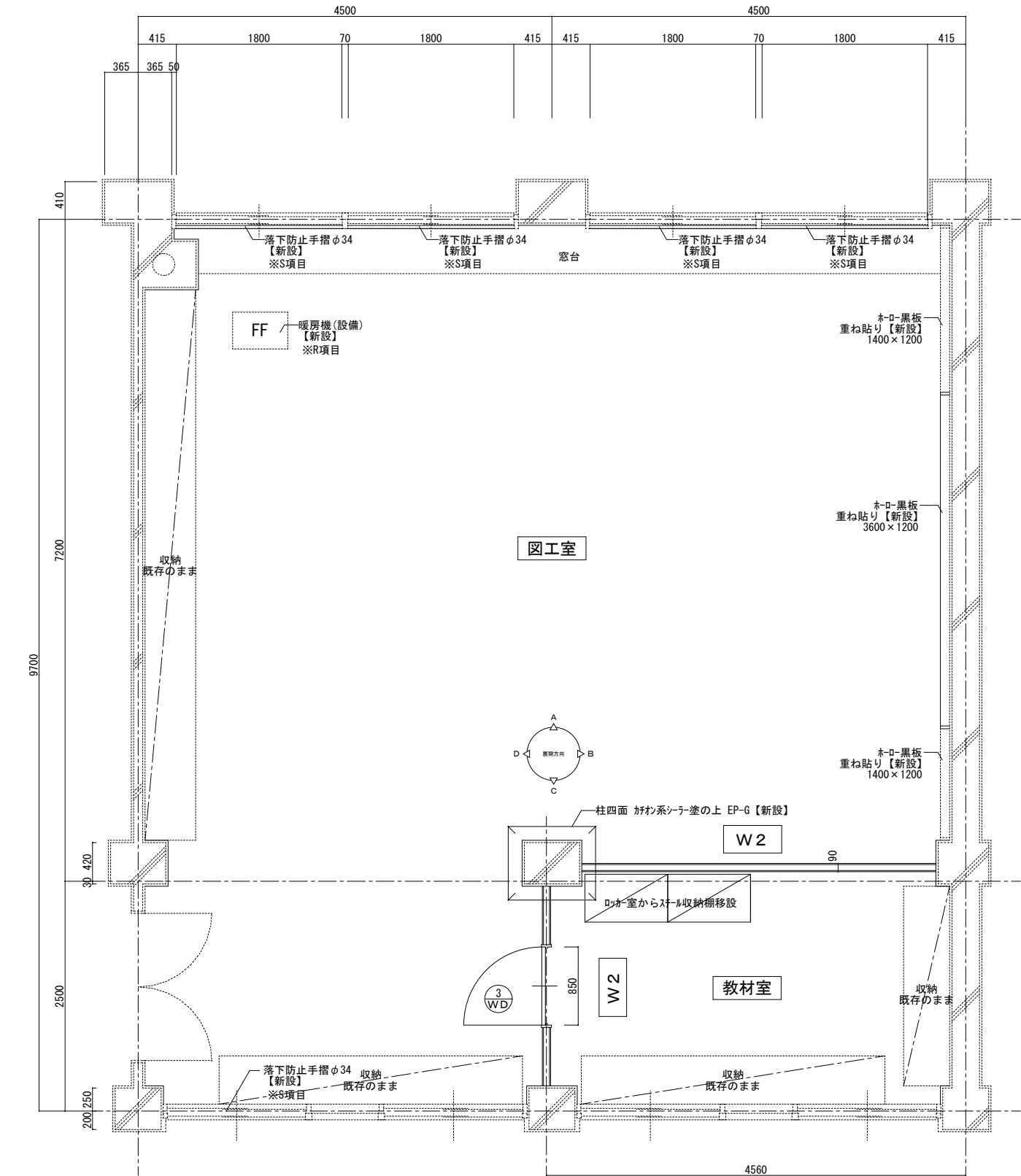
図工室 C面展開図 S= 1 /50



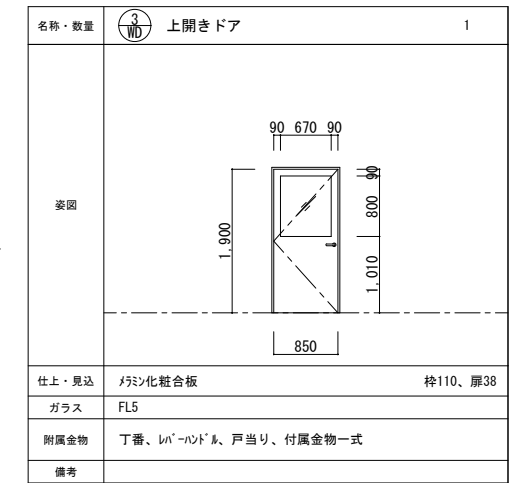
図工室 D面展開図 S= 1 /50

シタベニ7 6.0 VP

改修前	床	巾木	塗装	壁	塗装	柱型	塗装	梁型（小梁）	塗装	天井	塗装	天井高	備考
図工室	ビニル床シート t 2.0	木製巾木 H=100		モリタル金タテ	VP	モリタル金タテ	VP	モリタル金タテ	VP	化粧石膏ボード t9.5	-	3120	Ⓡ FE暖房機 1台（設備）【撤去】
				シタベニ7 t 6.0	VP								

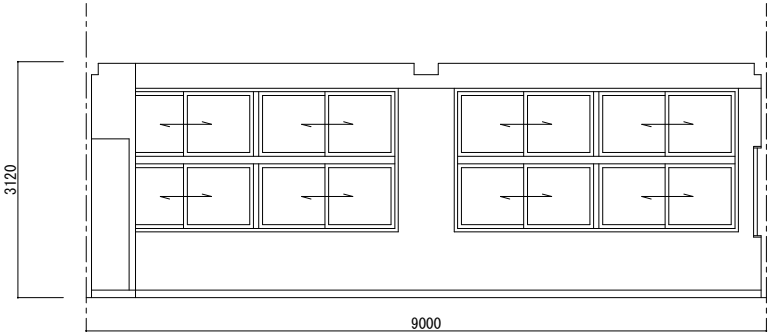
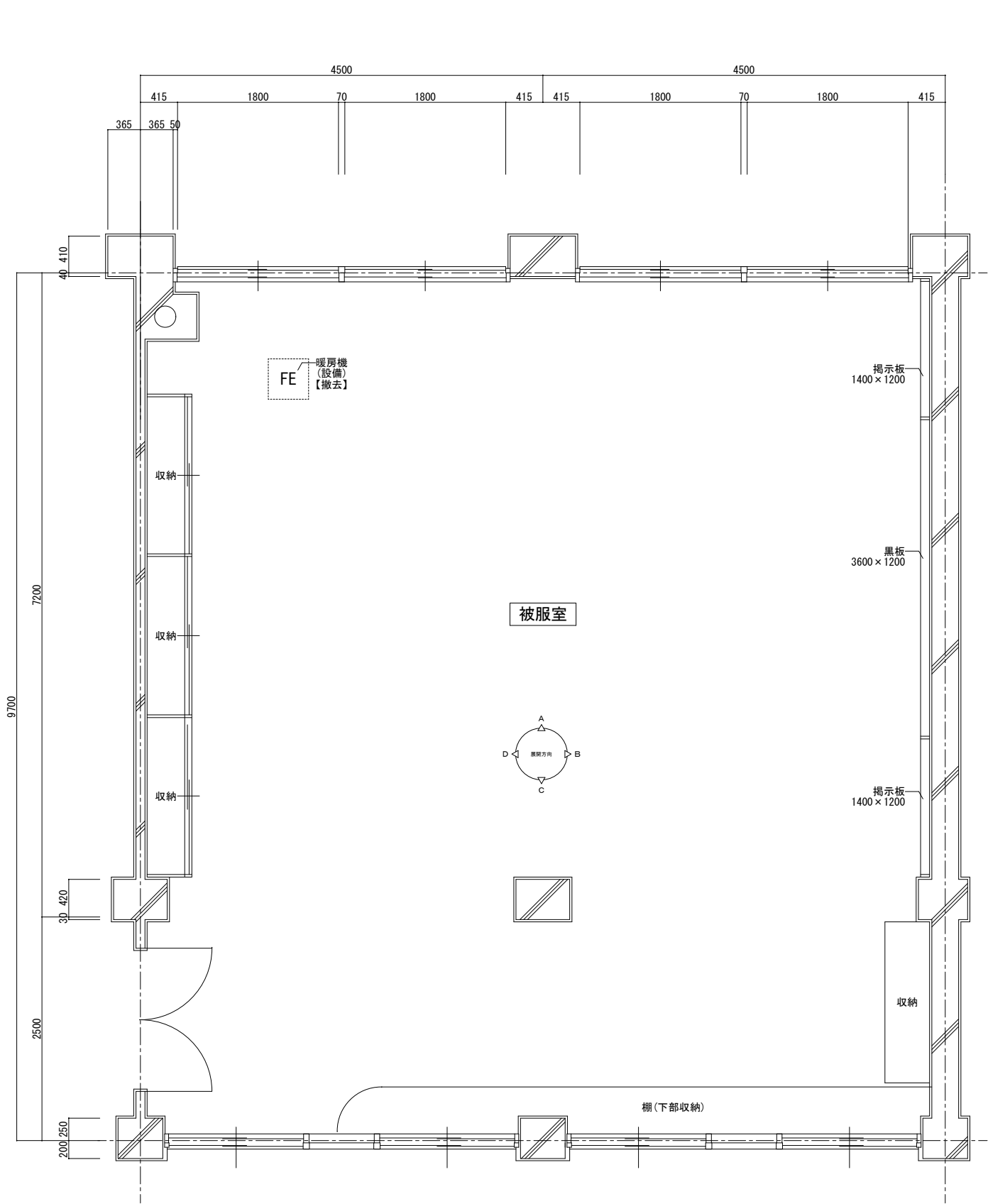


- シパニ7 6.0 VP 既存のまま
- W2 LGS65型 両面石膏ボードt12.5 EP-G
- ガオン系シーラー塗の上 EP-G【新設】

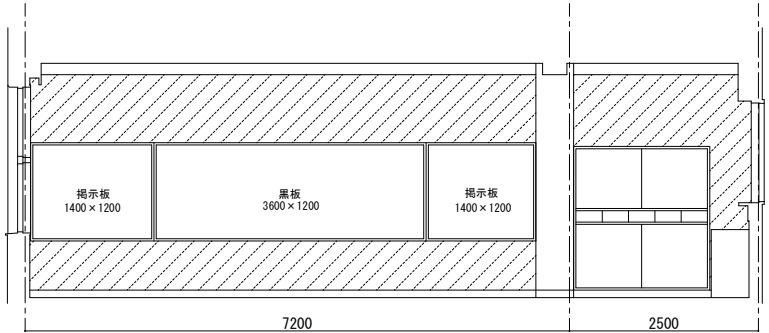


ホーロー黒板 重ね貼り	
3600×1200	1ヶ所
1400×1200	2ヶ所

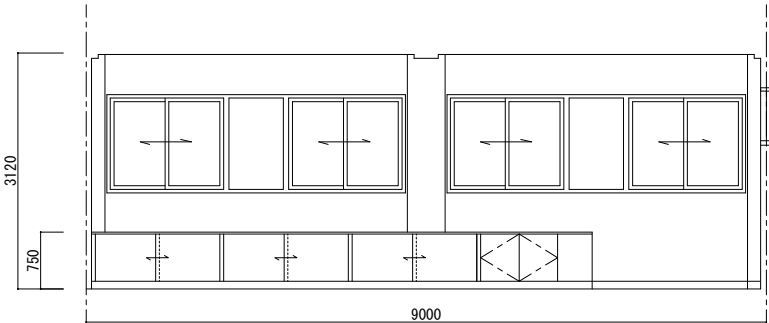
改修後	床	巾木	塗装	壁	塗装	柱型	塗装	梁型 (小梁)	塗装	天井	塗装	天井高	備考
図工室	既存のまま	既存のまま		ガオン系シーラー塗	EP-G	ガオン系シーラー塗	EP-G	ガオン系シーラー塗	EP-G	既存のまま	-	3120	F F 暖房機 1 台 (設備) 【新設】 R 項目図参照 落下防止手摺 SUSφ34 【新設】 S 項目図参照
教室	既存のまま	既存のまま		シパニ7 t 6.0 (既存のまま)									ホーロー黒板重ね貼り 【新設】
		ビニル巾木 H=60 【新設壁】		石膏ボード t12.5	EP-G	ガオン系シーラー塗	EP-G	ガオン系シーラー塗	EP-G	既存のまま	-	3120	



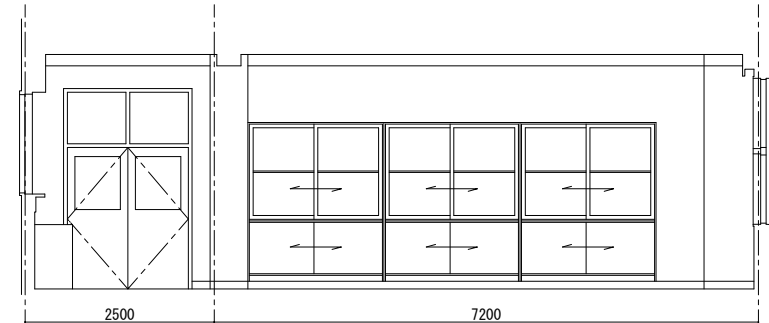
被服室 A面展開図 S= 1 /50



被服室 B面展開図 S= 1 /50



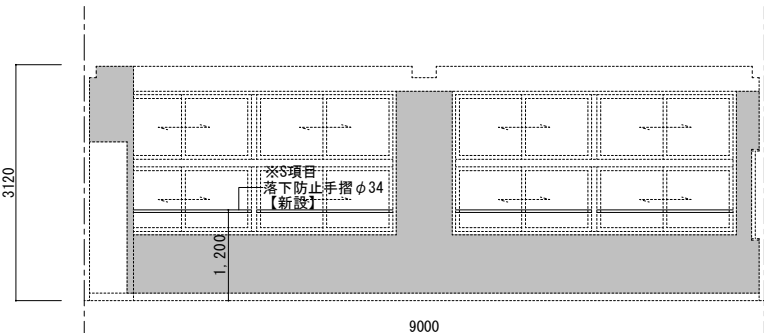
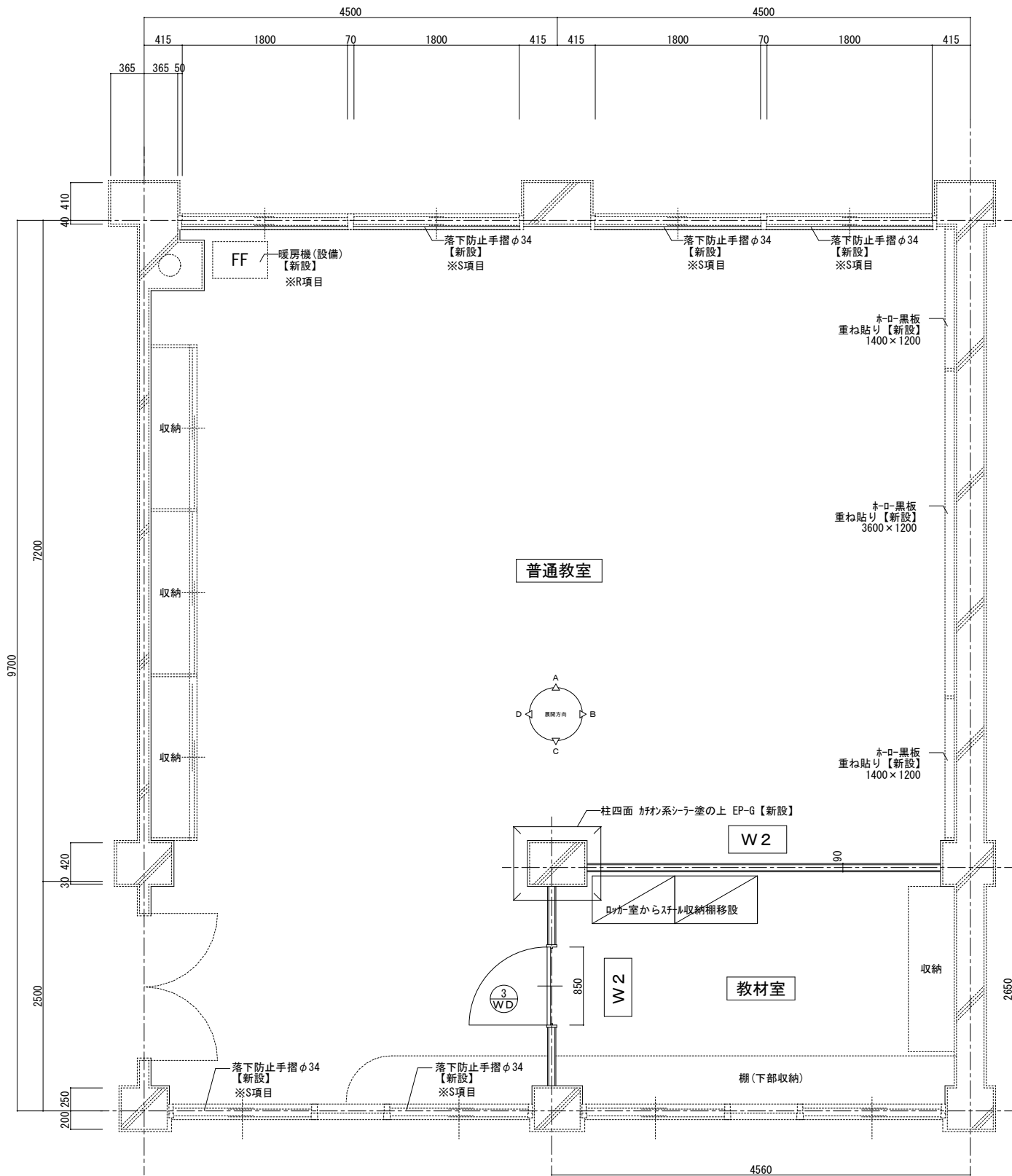
被服室 C面展開図 S= 1 /50



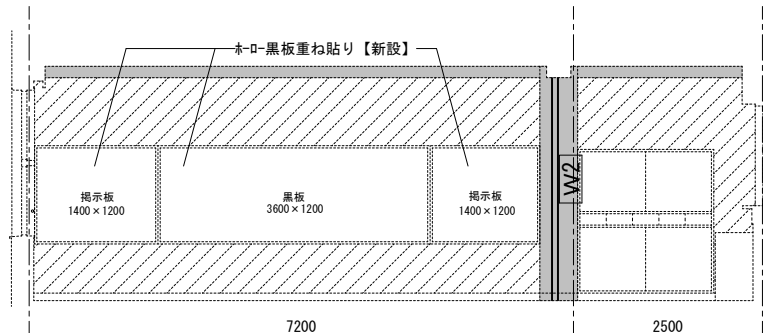
被服室 D面展開図 S= 1 /50

 : シタペニ7 6.0 VP

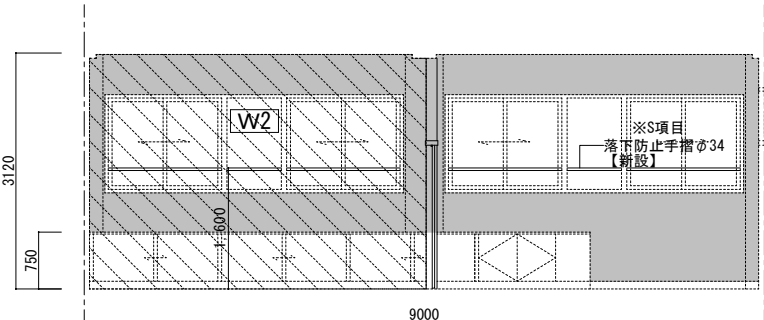
改修前	床	巾木	塗装	壁	塗装	柱型	塗装	梁型 (小梁)	塗装	天井	塗装	天井高	備考
被服室	ビニル床シート t 2.0	木製巾木 H=100		モルタル金ゴ シタペニ7 t 6.0	VP	モルタル金ゴ	VP	モルタル金ゴ	VP	化粧石膏ボード t9.5	-	3120	F E暖房機 1台 (設備) 【撤去】 R項目図参照



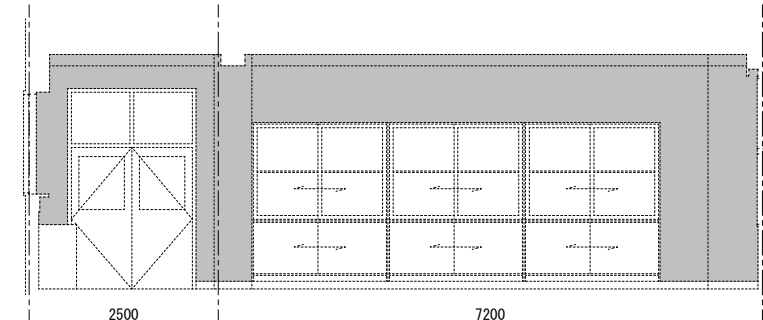
被服室 A面展開図 S= 1 / 50



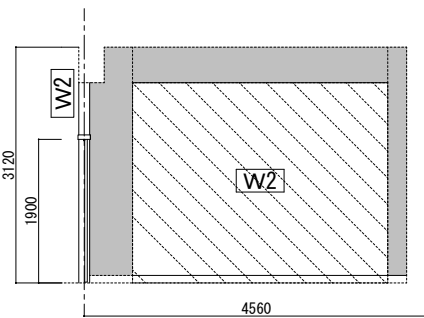
被服室 B面展開図 S= 1 / 50



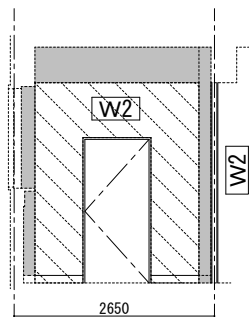
被服室 C面展開図 S= 1 / 50



被服室 D面展開図 S= 1 / 50

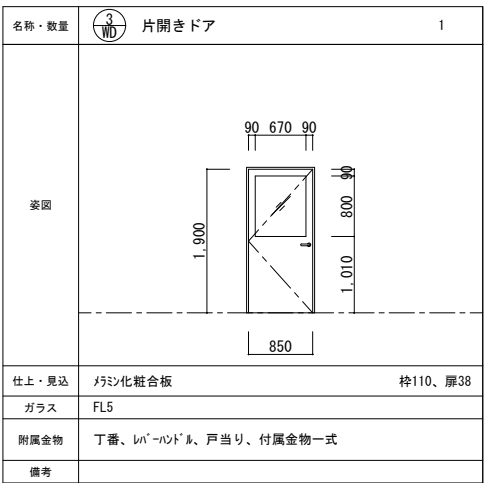


教室 A面展開図 S= 1 / 50



教室 D面展開図 S= 1 / 50

- : シベニア 6.0 VP 既存のまま
- : LGS65型 両面石膏ボードt12.5 EP-G
- : カチン系シーラー塗の上 EP-G【新設】



ホーロー黒板 重ね貼り	
3600×1200	1ヶ所
1400×1200	2ヶ所

改修後	床	巾木	塗装	壁	塗装	柱型	塗装	梁型（小梁）	塗装	天井	塗装	天井高	備考
被服室	既存のまま	既存のまま		カチン系シーラー塗	EP-G	カチン系シーラー塗	EP-G	カチン系シーラー塗	EP-G	既存のまま	-	3120	F F暖房機 1台（設備）【新設】 R項目図参照 落下防止手摺 SUSφ34【新設】 S項目図参照
教室	既存のまま	既存のまま		シベニア t6.0(既存のまま)									ホーロー黒板重ね貼り【新設】
		ビニル巾木 H=60【新設壁】		石膏ボード t12.5	EP-G	カチン系シーラー塗	EP-G	カチン系シーラー塗	EP-G	既存のまま			

暖房機 撤去・新設 数量表
● F E暖房 撤去の上 F F暖房新設

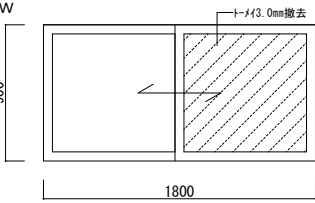
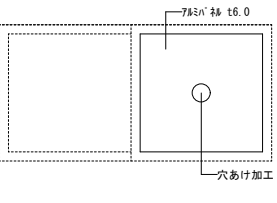
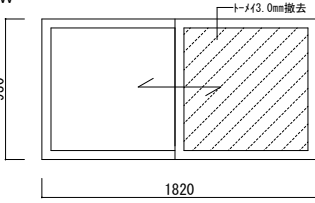
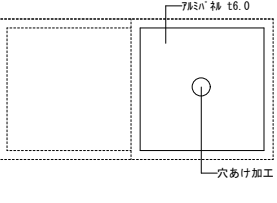
1 F	3 ヶ所
2 F	5 ヶ所
3 F	3 ヶ所
計	1 1 ヶ所

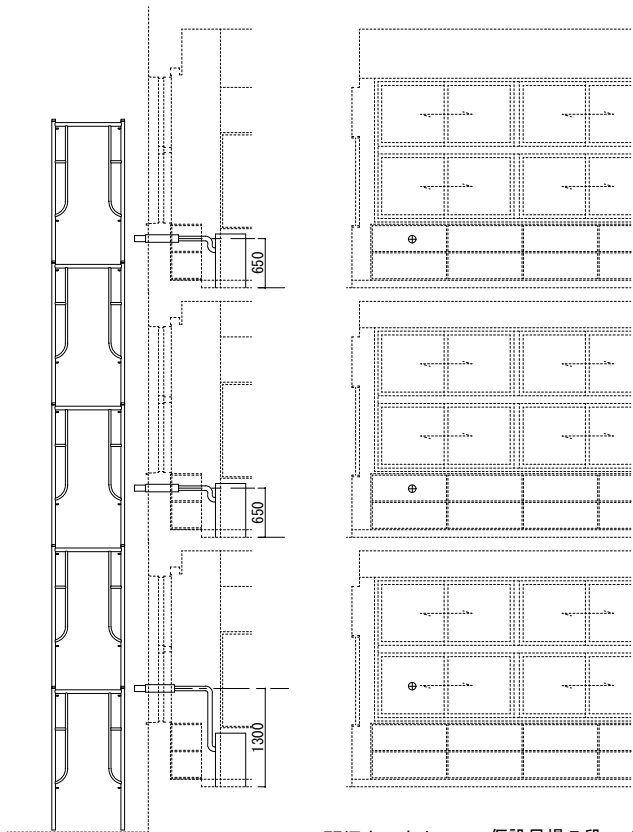
◎ F F暖房新設

1 F	3 ヶ所
2 F	1 ヶ所
3 F	0 ヶ所
計	4 ヶ所

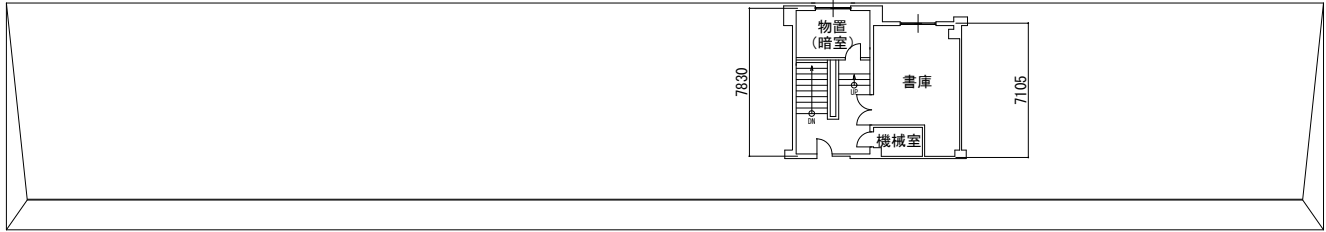
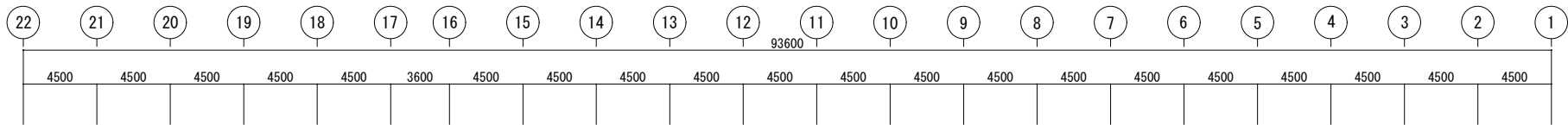
★ F F暖房 既存のまま

※ は窓を改修して F Fの煙突を取付とする 5 ヶ所

※ 改修前	※ 改修後
AW 	
WW 	

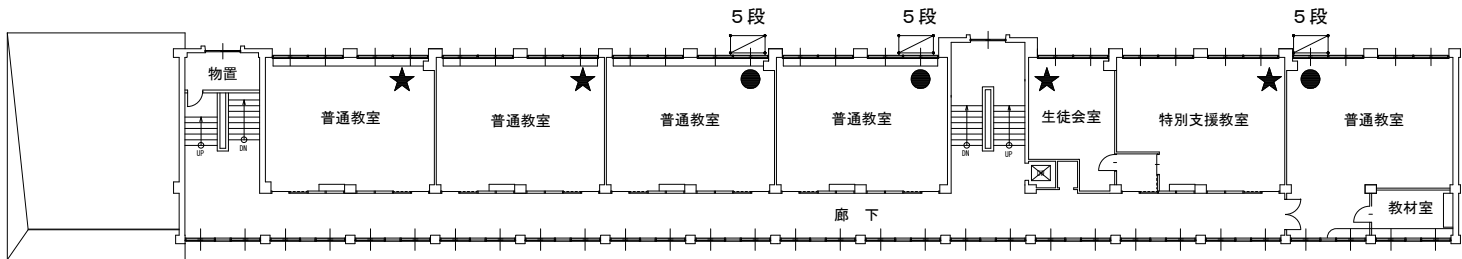


■ FF煙突 高さ 仮設足場5段 3力所
仮設足場3段 3力所



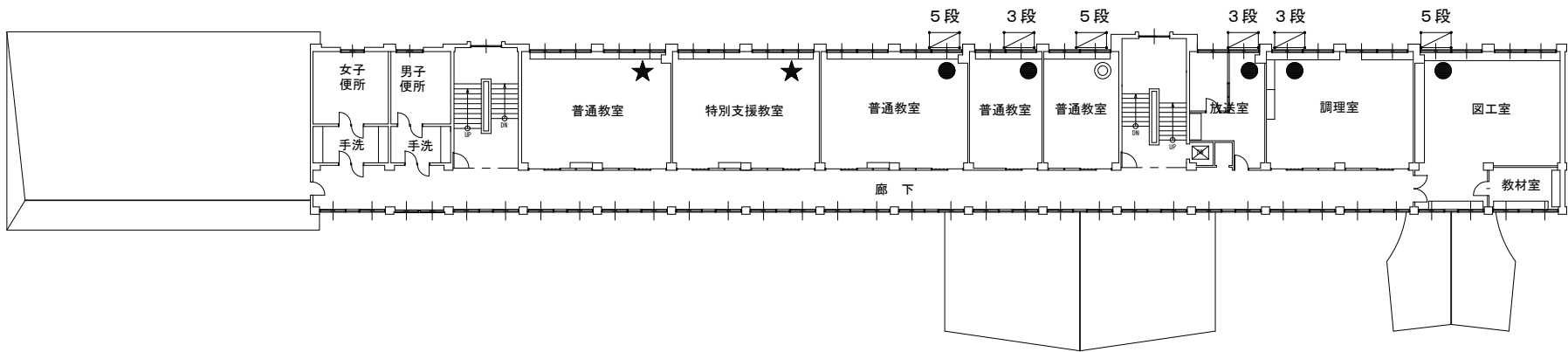
A
B
C

PH階平面図



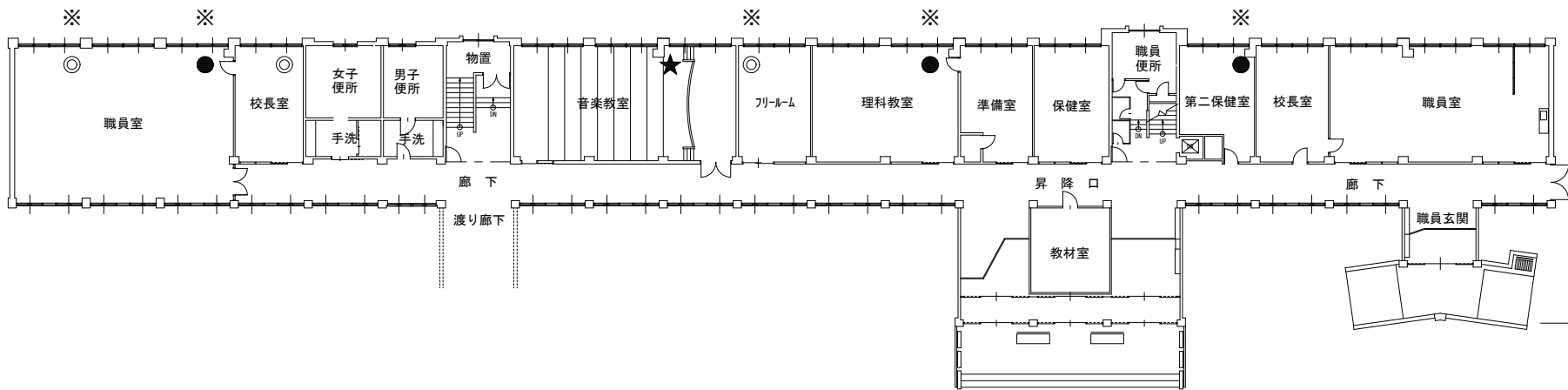
A
B
C

3階平面図



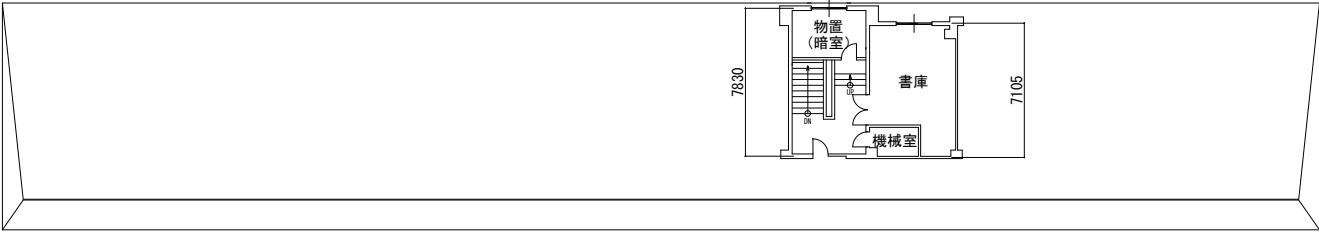
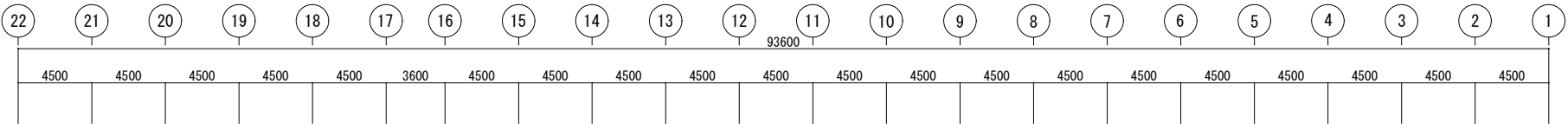
A
B
C

2階平面図



A
B
C
D
E

1階平面図

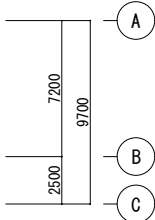
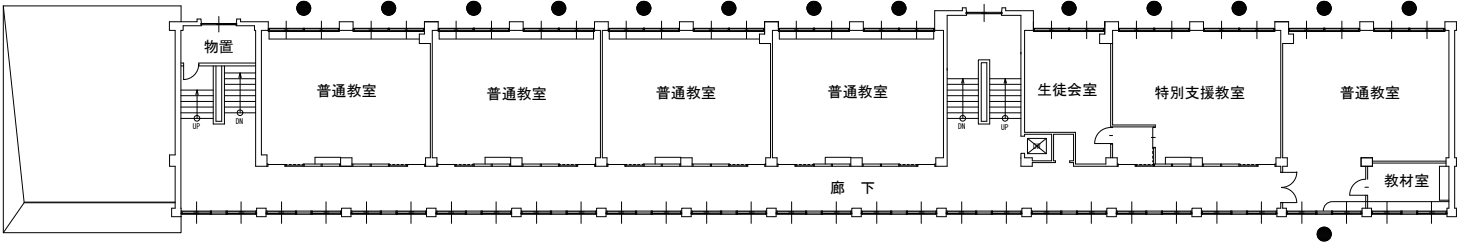


A

B

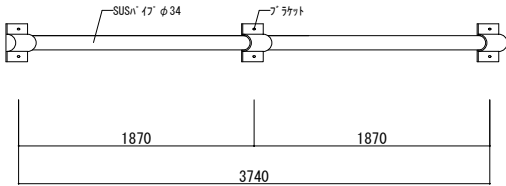
C

PH階平面図

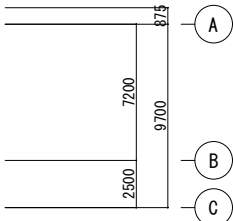
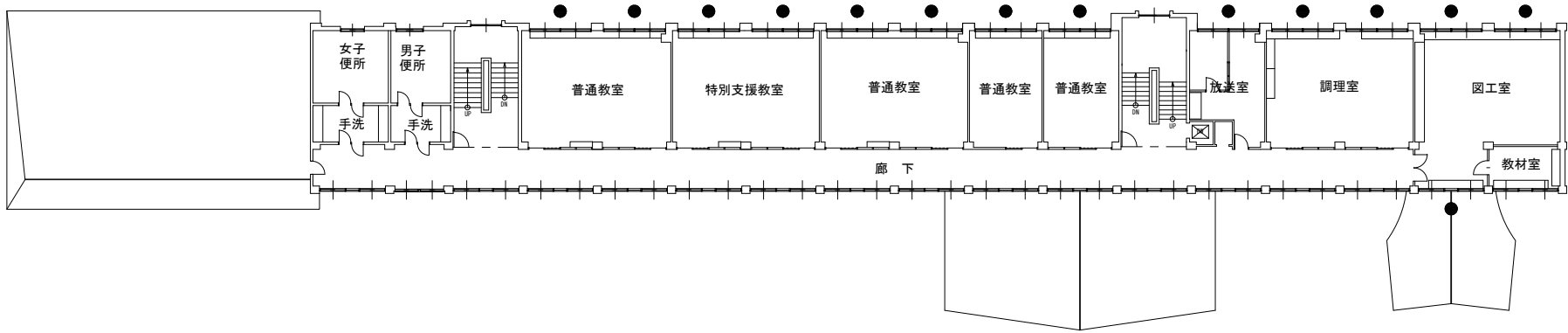


3 階平面図

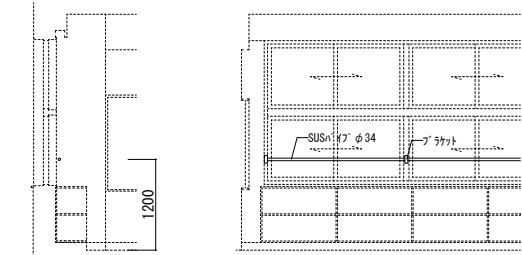
●：落下防止手摺取付位置



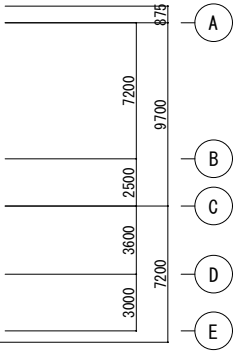
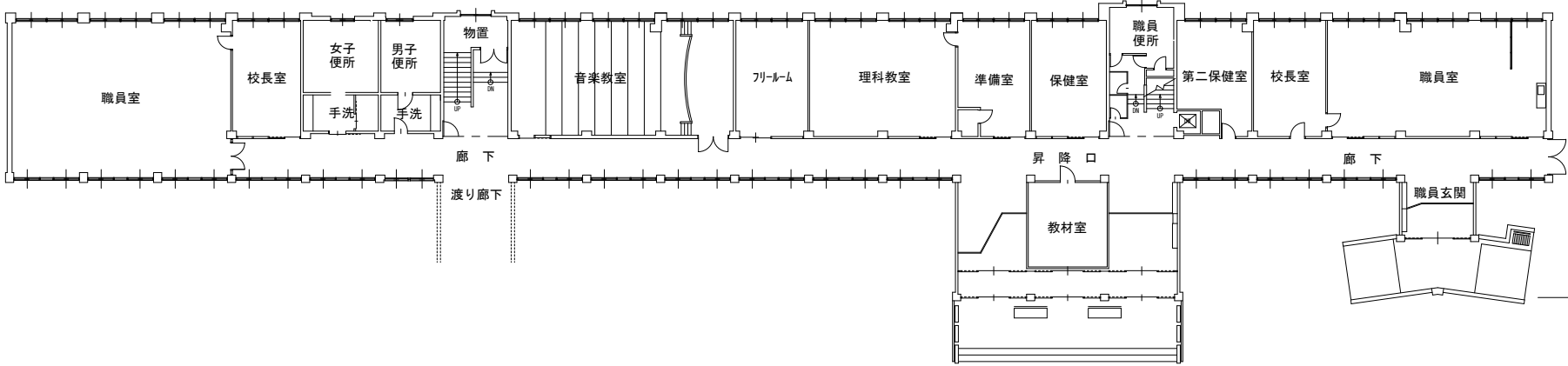
2 F	1 4ヶ所
3 F	1 4ヶ所



2 階平面図



■ 落下防止手摺 取付高さ



1 階平面図

仮校舎 教室配置案

令和6年度（1年目）

机数

	普通教室	少人数指導
小学1年	1 1	
小学2年	1 1	1
小学3年	9	1
小学4年	1 2	
小学5年	4	1
小学6年	7	1
中学1年	1 2	
中学2年	1 6	2
中学3年	5	

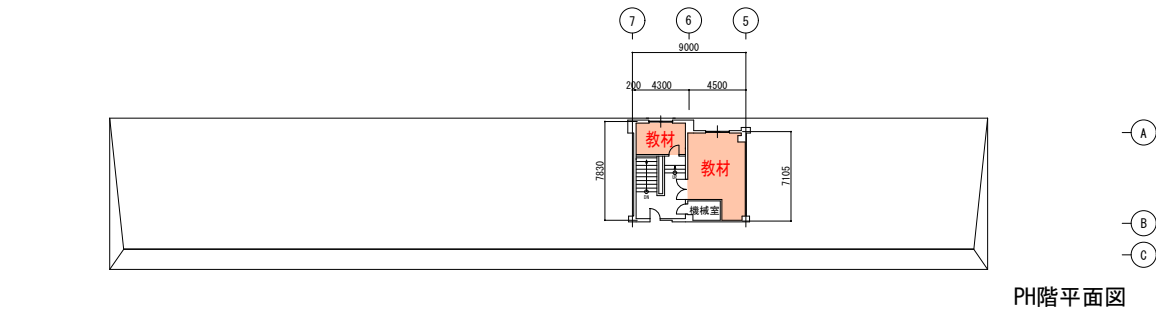
室名は、既存のまま

赤字教室は、改修後室名

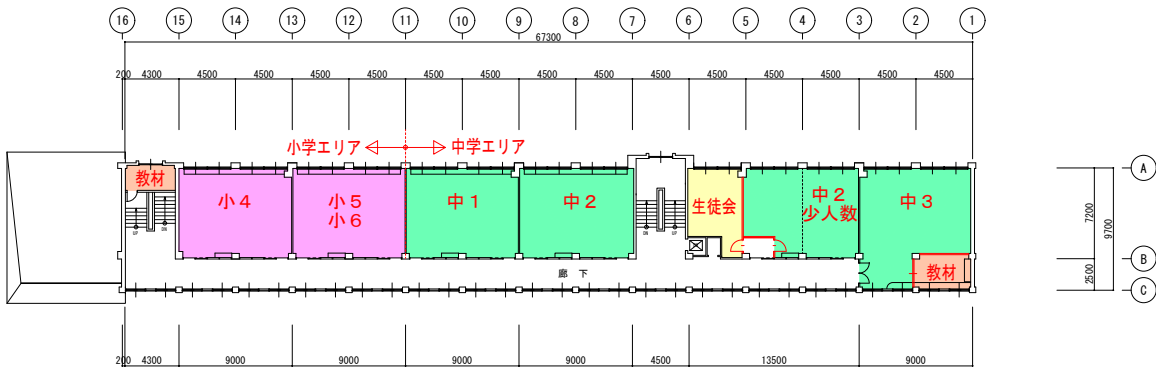
- 小学生教室
- 中学生教室
- 特別教室
- 職員
- 教材室等
- トイレ

新設間仕切り壁

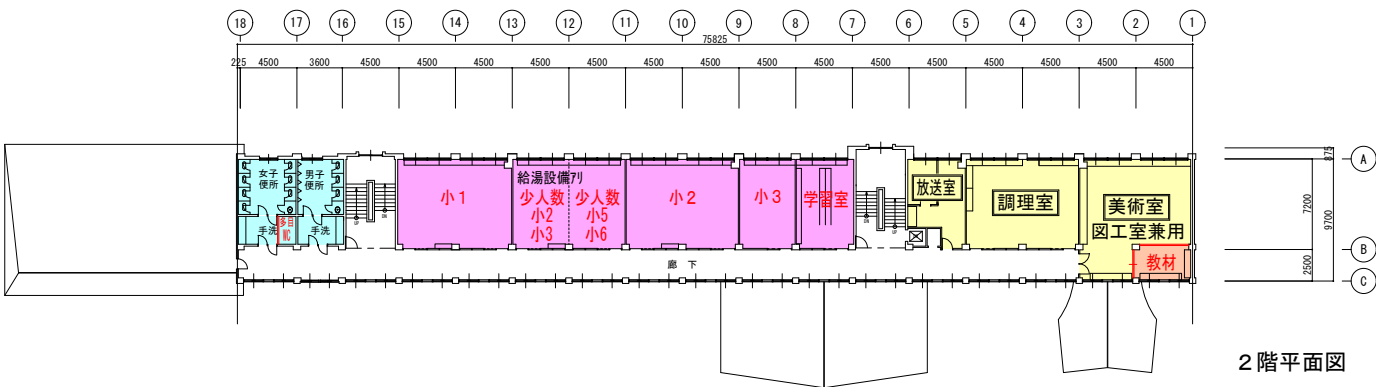
パーティション
可動間仕切り



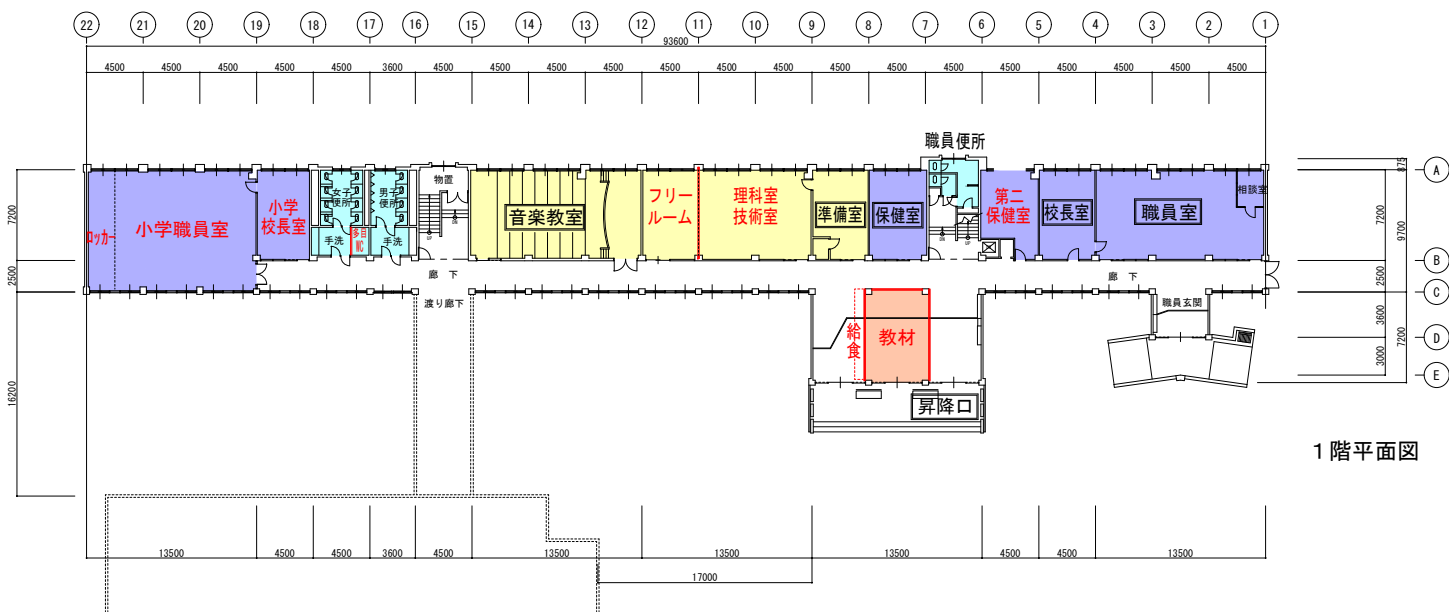
PH階平面図



3階平面図



2階平面図



1階平面図

仮校舎 教室配置案

令和7年度（2年目）

机数

	普通教室	少人数指導
小学1年	8	
小学2年	1 1	
小学3年	1 1	1
小学4年	9	1
小学5年	1 2	
小学6年	4	1
中学1年	7	1
中学2年	1 2	
中学3年	1 6	2

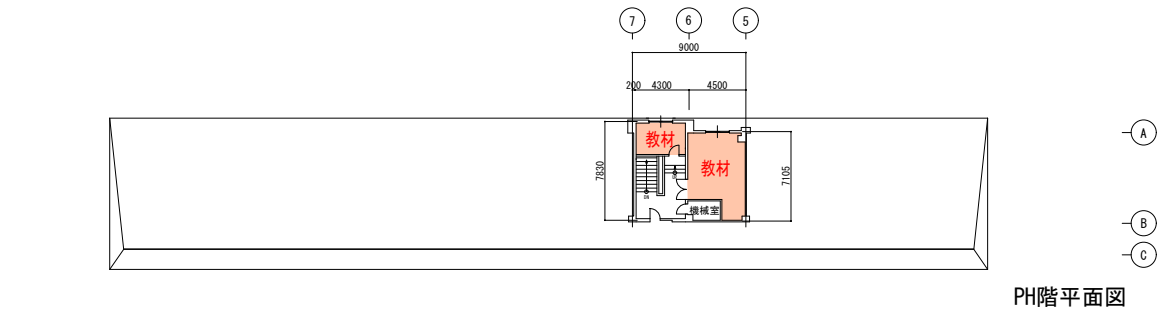
室名は、既存のまま

赤字教室は、改修後室名

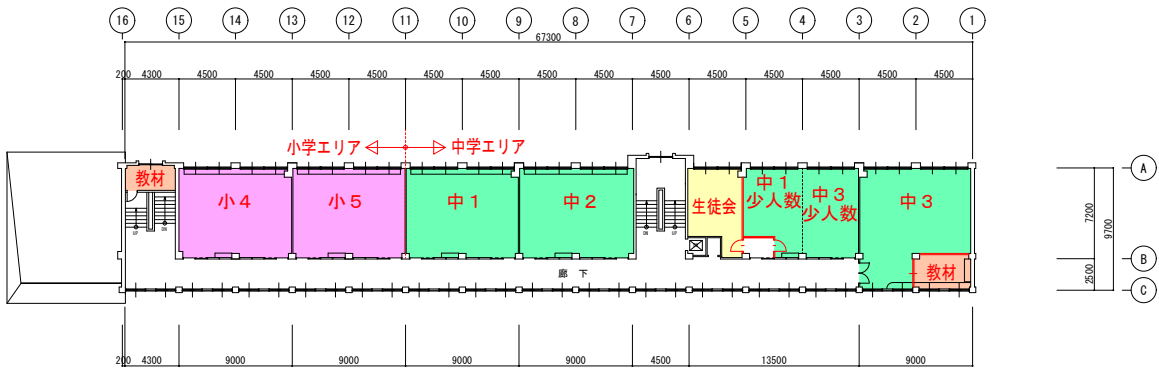
- 小学生教室
- 中学生教室
- 特別教室
- 職員
- 教材室等
- トイレ

新設間仕切り壁

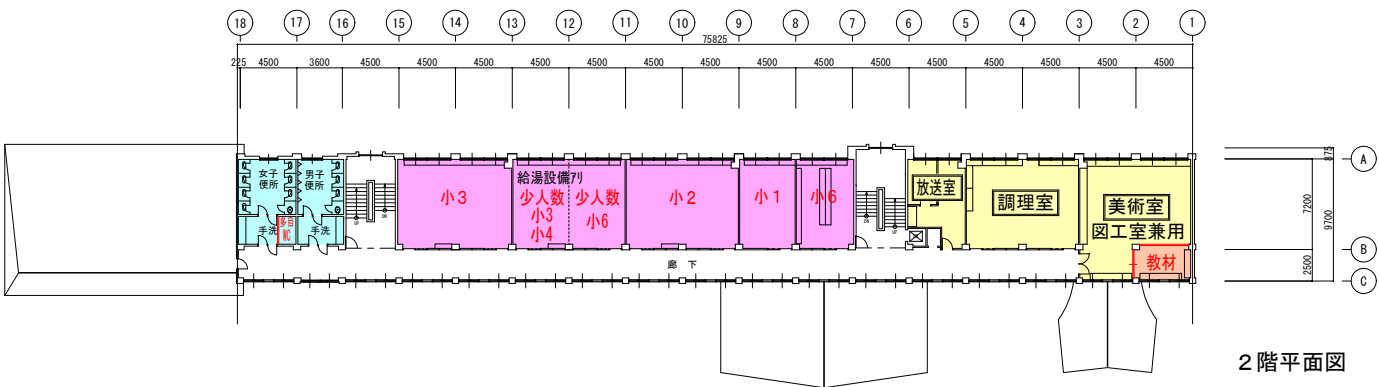
パーティション
可動間仕切り



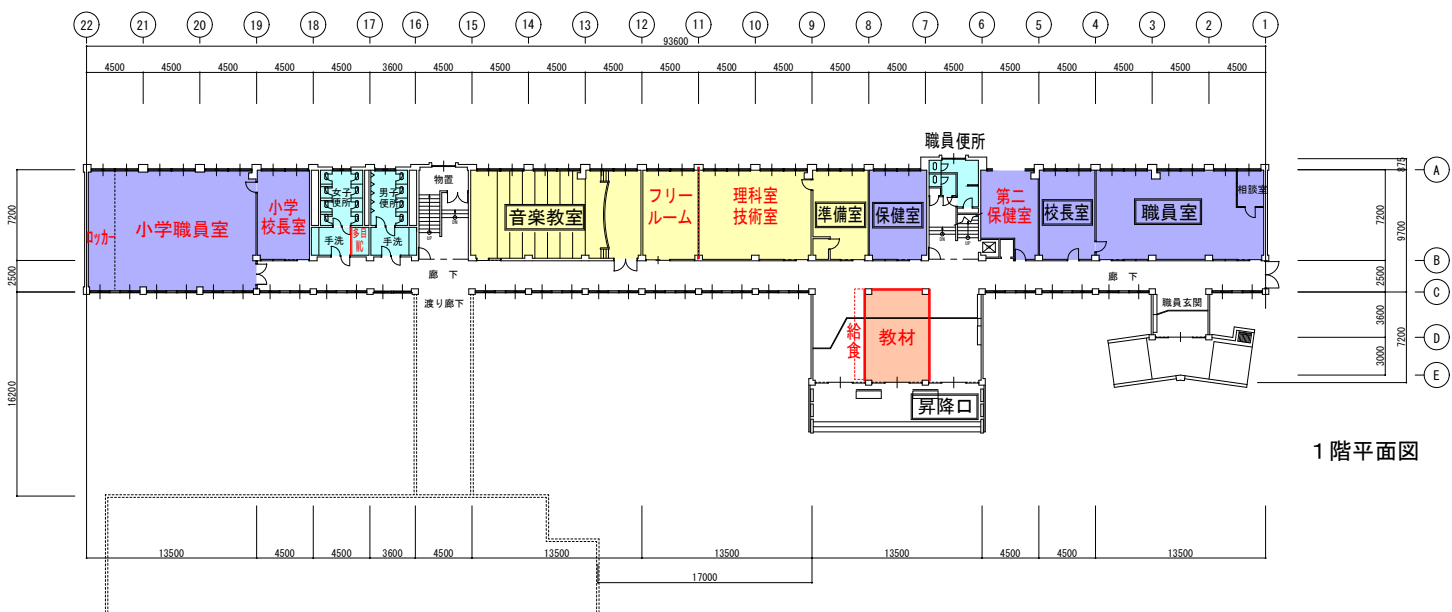
PH階平面図



3階平面図



2階平面図



1階平面図

仮校舎 教室配置案

令和8年度（3年目）

机数

	普通教室	少人数指導
小学1年	5	
小学2年	8	
小学3年	1 1	
小学4年	1 1	1
小学5年	9	1
小学6年	1 2	
中学1年	4	1
中学2年	7	1
中学3年	1 2	

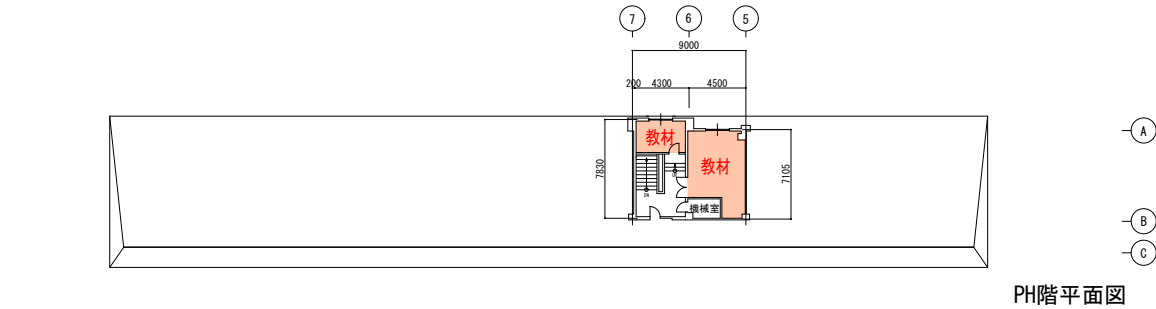
室名は、既存のまま

赤字教室は、改修後室名

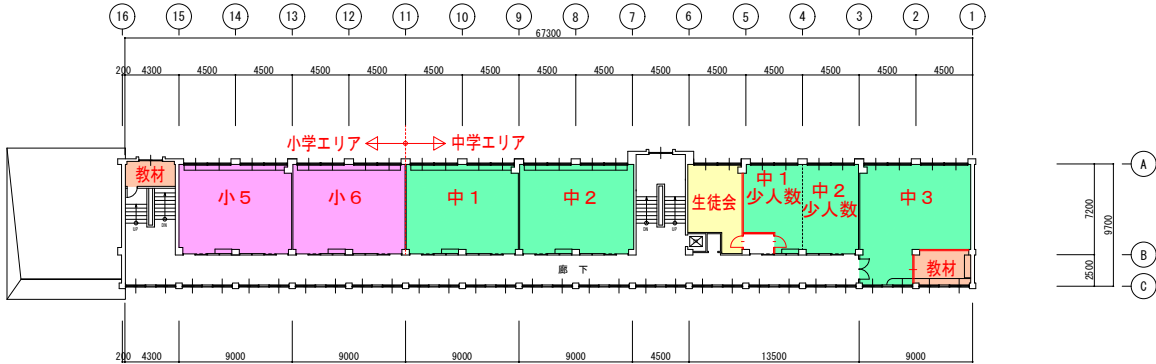
- 小学生教室
- 中学生教室
- 特別教室
- 職員
- 教材室等
- トイレ

新設間仕切り壁

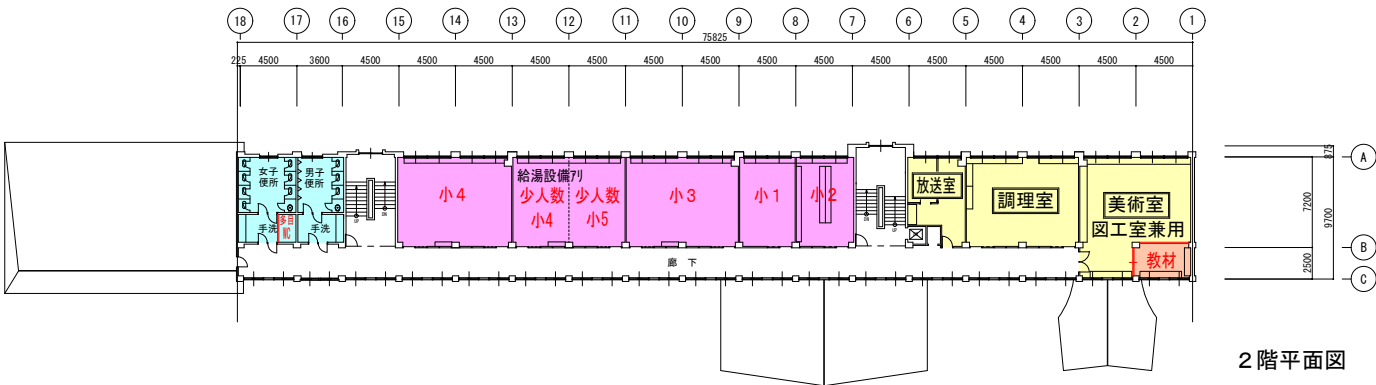
パーティション
可動間仕切り



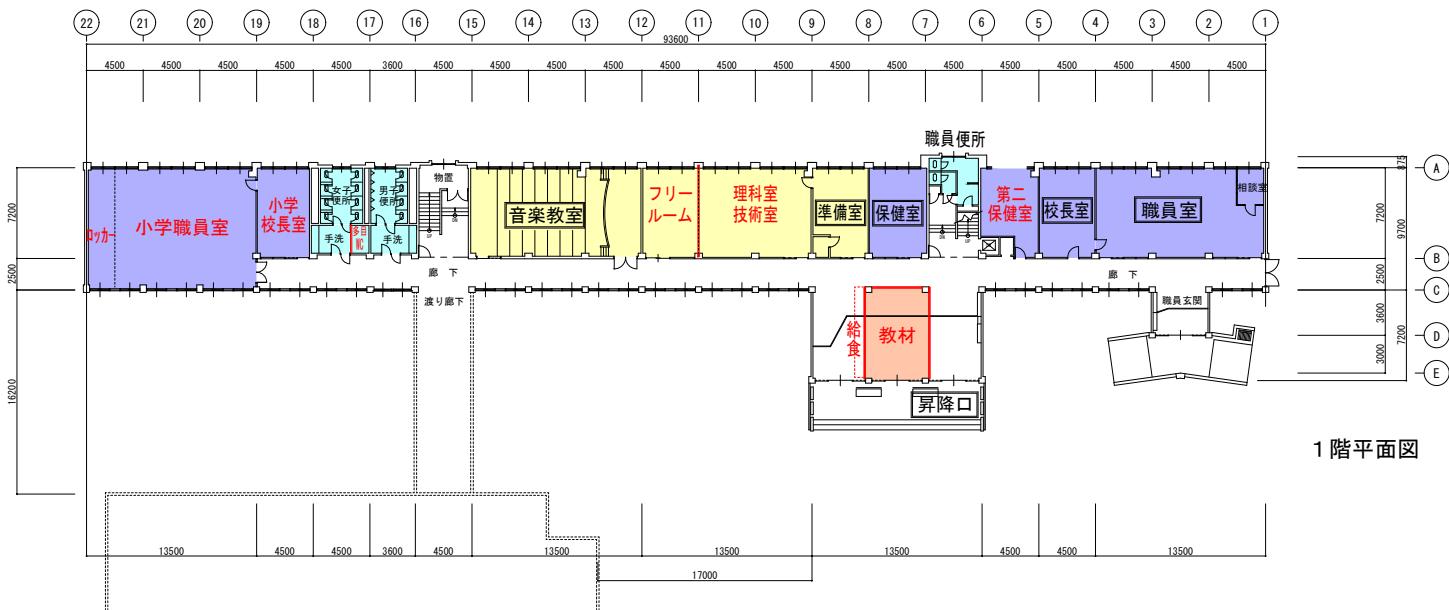
PH階平面図



3階平面図



2階平面図



1階平面図